Blood of Dragon

居反り

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

小説タイトル】

Blood of Dragon

【ヱロード】

【作者名】

居反り

【あらすじ】

ぷよです 女戦士一行を救った謎の物体、 かれと彼女たちがぷるぷるでぷよ

今のところ最初だけクライマックス

目覚めたら驚いた記憶転生モノ

癒しのエロスにグロを少々

5話あたりを書き直し予定 (2章優先します)

第1話 はじまり

おはようございます?

ないけどお腹ぽんぽんな感じのあんまりよろしくない目覚め。 なんというか、寝てる間に腹いっぱい食った感じというか、

起きたはずなのに暗いし重いしなんか刺さってる気がしたし。 (なんとなく吸っちゃった感覚がある)

妙に臭いしぬるっとしてたけどそれも腹におさまった気がするのよ

ね、食べたってのとはなんか違うけど。

で

えらくかかってやっと明かりが見えたんだけど、 薄暗い。

h

さっきまで周りにあった生臭いモノがなくなってますね? (なんかいろいろ吸収しちゃってる気がする)

斜めに刺さってるのが松明だからか。 黄色い明かりが揺れてるのは、 向こうの何とも言えないモノの

窟っぽい?? まわりが黒っぽいというか暗色系なのは岩?ということでどうも洞

ということで明かりを確保しに移動っと。

ずーり、ずーり?

ぷるぷる?

起き上がれる気がしない。

というか足どこ?

というかやたら地面が近いですね。

ずるずる

ずりっ

んむむむ

ぷよん ぷよーん

ぷるぷるっ

なんとか近くまで来れた。

感じの向こうにいるのは拷問でも食らったような惨状、 杭に突き刺され頭の上あたりの壁に固定されてる人。 なんとなくいやーんな感じで覆われてるというか、 右手の平を 拒絶したい

壁を背に足を投げ出してうなだれてるので色々不明、 茶色っぽい シ

ョートヘアに鍛えられた体

だけどなんとなく女の人っぽい、フトモモの感じからして確実。

はない。 というか、 右わき腹になんか凄い血のにじみもあるし拷問どころで

左手の松明をまだ持ってる様子だと生きてるっぽい。

少し離れたところに短剣が突き立ててある。

刃がピンクに染まるほどいろいろ切ったり突いたりしてたみたいで

ピンク?

むにょーん

ぷるぷる

あー

短剣に映ってるのは自分ですか?

なんとなく動いた気がすると向こうもうごいてますよ。

で

ピンクのぷるぷると。

自分= スライムですか?

* * *

さて、 知的生命体である以上落ち着いて現状確認をと。

自分= ニンゲン

だった様な?

スライムになったみたいですが?

どっちだっていわれると困るなー

違和感は感じてないんだ、これが。

ここは洞窟っぽいし目の前に拷問中な人がいる。

しかもほっとくと死にそうな気がする。

他に生き物の気配とかはもうないけど、 な気配が満ちてるし。 拷問中の人の周りはイヤン

いやね、 いた様子はあったけどいろいろ綺麗さっぱり吸収終了っぽ

させ、 なんとなくね。

落ちてた剣だとか盾っぽいものなんかも吸収してみたらできました 肉っぽいモノもそのまま全部、 咀嚼とか食事とは違う感じだね。

排泄とかどうなってるんだろ。 とりあえず鉄とかいらんでしょ。 んーとりあえずいろいろ取り込みすぎですよね。

h

んっむー

うひょ

なんか出た。

らいいのか悩んだけど意識したら体の中にあった鉄っぽいものとか 不要分が集まって固まった? スライムに排泄口らしきものがないっぽい、 というかどうきばった

熱くなったりとかなしで鉄の塊になるとかイロイロ無視しすぎだわ、 というかまだもうちょっとあるっぽいので、 今度は形を意識してみ

排泄物なので一本糞。

型も思いどうりですか。

どんな錬金術よ。

見えなくもないけどこの世界にそういうブツあるんでしょ 握った先が20cmなさそうだし微妙にまるっこいしで他のナニに ちょっと短めだけど程よい握り具合なこと請け合いっ。 スライム特製片手棍《一本糞》とでも銘を切りましょうか。 とりあえず転がってる鉄製一本糞、 というか棍棒デスネ。

おばかは置いておくとして。

吸収したはずのモノも意識するとなんとなく元がわかるようなわか らないような

となく。 肉もまだなんとなく判別可能ですね、 というか毛とか歯とかもなん

粗雑な感じの剣とかぼろっちい革よろいっぽいものとかも吸収して そうではあるけど、 るっぽいのよね。 とりあえず出せそうな気はするし、 なんかイヤな予感がするのでやめておこう。 いろいろ変化させることもで

ライムだけど。 ふぁんたじー なトコに転生したらしい れるっぽいと、 とりあえず自分= スライムでい なんというか諦めるっ開き直るっぶっちゃけるっ! いけや、 のでハー 吸収して排出できて型も変え レムめざすよっ、

妄想はおいておこう。

目の前の人をどうするかだよなぁ。

せしめなのか、 なんというか禍々しい結界のなかに留置かれてたのはワナなのか見 それとも人質?

殺す意図はなさそうだけど生かしておくようなかんじじゃなさそう なんだよね。

嬲り殺すというわけでもなさそうだし。

ような。 金属音っぽいものとか重低音で爆発だとか咆哮だとかもまざってた 時々奥の方から聞こえてる音にも関係あるのかなぁ

ということで、ここからさきどうするか?洞窟全体もビリビリ震えたりしてるし。

金属ひりだせるのが判明後にとりあえず杭を吸収してみたり。 一応おばか妄想炸裂させてたけどやることはやってるのよ。

なんというか呪いごと?

うん、 さでやってみたらできました。 なので杭の結界は全部取り込み済み、 吸収の過程で解除されるんじゃ?されるといいなーといういい加減 あばれられると困るし。 手のひらの杭はまだだけどね。

ただ、 はしてるっぽいけど色々限界っぽい感じ。 まわりでずりずりぷよっぷよしてても反応ないというか、 息

なので

手と腹だと腹からですよね?

ぷよん

ついでに左手にもかぶさって押さえ込んでみる。

ぷるぷる

スライムに仲間があらわれた×2

女の人確定つ。

いやいやいや、煩悩は後つ。

ケガの確認がだいじー。

服めくるのめんどくさいというか部分吸収、 乗っかってる部分全部

取り込みっ。

けっこうざっくりいってませんかね?

おへその上から右アバラ骨の方にわりと綺麗に口あいちゃってる。

内臓っぽいものもみえてるような見えてないような?

腹膜は無事?よくわからんなぁ。

とりあず腸とかとびだしてはいないけどなんとなく見えてるのよね。

観察しつつ傷口にそっと手(体?)をあてがって見る。

あてがいつつ意識集中して把握。

雑菌とかわからんので血と肉っぽいものいがい全吸収

ゆっくり傷口覆いつつ内臓の方に薄く延ばしたからだを入れる。

挿入?

ナニかかなりアブノー マルなぷれいがあたまをよぎりましたがなか

ったことにして。

傷口から入れるだけ全部入ってみて余計なものをてきとうに吸収。

結構血もたまってたっぽいのでそれも意識して吸収。

ついでに止血。

|血というか全部覆って塞いだだけというか、 大きめの血管ならわ

かりやすいみたいなので念入りに、 あとでつないだりできるかな?

地面の血はとりあえず置いとこう。

腹腔内の血がおもったより多いのでこれを戻すことを考える。

吸収した血を血管に排出でいいよね?

不純物とか無いと思いたい、

というかそういうことにする。

輸血っていっきにいれるとまずかったよね? 大怪我だったし時間無いし。

なので慎重にゆっくり戻す。

周囲警戒どころかこの人の様子うかがう余裕も無いですよ。

第1話 はじまり (後書き)

順次変更していきますが、修正前のものは勢いだけの文章になりま 文章修正中、句読点と改行、 キャラ視点整理中心です。

वृ

さないようにしているつもりです。 世界観はいわゆるファンタジー で馴染みのあるところから大きく外

独自解釈などは文中でうまく書き切れればいいのですが、場合によ

ってあとがきに解説入れます。

第2話 私たちは騙された (女戦士回想)

で仕事探し。 手持ち資金が底になりつつあるので、 そろそろ次の仕事をとギル ド

ないけど、お宝はあれば分配 洞窟探査で回復役複数募集というのがあっ た 金額はそれほどでも

入り口付近にはスライム程度は確認済み。

さがしもできそうな面子。 剣士のリーダー にガーディアン (回復兼務) x2、スカウトx2 募集している依頼主はこの金額の依頼にしては十分以上のパー 魔法系が手薄なこと以外だと無理しなければそこそこの迷宮でお宝 ティ、

ポーションとか持ち込んでおけば堅牢なことこの上なさそう、 の回復役と補助役の余裕がほしいという依頼なのは安全策らし

なので説明がめんどうな時はそう言ってる、 神官なんていうと怒られるが、かなりそれっ 私たちのパーティは戦士である自分と魔法使いに神官 の違いがわかる人なんてそういないし。 ぽい系統の魔法が得意 神の御恵と精霊の助け

渋られるかと思ったが簡単に実技チェックのあと一人分上乗せ、 三人雇用を交渉してみた、 イン、 私たちのパーティ は全員女性で普段はフィー っぷりだったのでイヤな気はしなかった。 スカウトとガーディアンが付き添いで付いてきたけどかなりの紳士 かも半額先払いで装備充当しておいでというなかなかの高待遇。 魔法使いも回復はけっこう得意分野なので二人の護衛ということで たまに討伐任務の末端に組み入れてもらったりもする。 回復や補助の魔法使いは希少だしね。 ルドで の狩や採取 がメ

道中はスカウトが先行、 女だからというあつかい でなく、 魔法使いと神官以外で夜の見張りを交代。 回復役がなるべく ベストの状態を

保つためとのこと。

討伐軍でありがちなセクハラもいっさいなく簡易天幕でザコ寝も気 にならなくなるぐらい。

ただ、 ディ 剣士の装備は絶対触れるなっ アンふたりの盾がかなりのモノだというのが気がかりではあ てのだけは厳しかったのと、 ガ

なんてこっそり話してたけど。 もっともあまりの紳士っぷりに 「どこかの元騎士と従士なのかな?」

問題の洞窟はかなり深い森奥、 街から1週間ほど。

る静かな山。 樹海を深く入り込んだ先の山の中腹、 ちょっと神秘的な感じさえす

ゴハンにとって来るぐらいはいたけど。

ここまでくるのに獣には出くわす、というかスカウトが本領発揮で

魔獣の類はまったく、気配さえなかった。

だった。 ずいぶん奥まで来ても一向にそういった気配がなかったのが不思議 街の付近は何か出れば即討伐軍がでるのでおかしくはないんだけど、

ただ、 カウトが二人ですこし先行偵察、 かった重装鎧を出してつけたり、 付近に馬を繋ぎ簡易結界を張ったりして拠点化、 入り口周辺にすこし争った後とちょっとヤな感じが。 ものすごく段取りの 装備を整えなおしてるあいだにス 移動中にはつけな パーティ

戻ってきた二人によると、 してるようだとのこと。 別ルートからきたゴブリンの一隊が先行

周囲には残りの気配はない つぎに私たち3人、 スカウトー人が先行、 殿にガーディアンとスカウト、 ので、 そのすぐ後ろにガーディアンと剣士、 食事と休憩の後さっそくア 基本的に私たち タ ク

を真ん中において、先行と殿は適時交代。

衛の護衛ということに。 ゴブリンに追いついたらガーディアンは前に出てスカウトと私で後

途中、 さ、元の生物とかはコウモリにスライムぐらいなのかな? けどあっという間におわってたようで呼ばれることも無かった。 洞窟というよ 何にせよほとんどいなかったみたい、 山にしたゴブリンの死体があったけど邪魔にすらならない り何 かの坑道のよう、 自然にしては広 前衛の戦闘も2~3度あっ 11 し歩きやす 広 た

最後が一番大きな音だったがそれも一蹴だった。

さらに広い空間、というか空洞?

その奥に山になったゴブリンの死体。

蹴り上げ血のりを拭き、 装備の確認を淡々とするガーディアンと剣

更に、 手を貫きさらに岩盤があるというのに、 土がナニか呟きながら私の手のひらに杭を打ち込んだ。 の反対側の壁際に座らされ、 ちょっと異様な雰囲気に飲まれていると、 壁に2本、 床に4本打ち込んだ後、 右手だけ掴みあげられ、そこにきた剣 何の抵抗もなさげに。 私のお腹に剣を突き立て。 後ろから肩を押され 死体

あっさり切り裂かれた。

る 血の た剣で杭の頭を呟きながら叩き、 禍々 い結界が出来上が

それでも私を案じてくれて。 大きく開 魔法使いと神官は後ろ手に拘束されていたが、 いた口が何か叫 んでいるようで、 きっ と全部見せ付けられ、 その見開かれた目と

たぶん私は人質なのだろう。

この先にいるモノとの戦いから逃げ出さないための。

全力で支援させるために。

逃げ出したくなるような何か。

二人が連れられた後から聞こえる雄たけびに咆哮。

地響きだって凄い。

天井部分から小石だって降ってきてる。

本当にイヤになる。

きっとここはドラゴンの巣だったのだろう。

それも地脈に根ざす善とはいはないが決して悪ではない。

この周囲の雰囲気もそう、凄くキレイだった。

清らかだった。

それは、この地を統べる龍が善きものであったから。

きっとそう。

悪龍ではけっしてない、 たぶんお宝を溜め込んだりはしていない。

欲 ?

名誉?

龍殺しの称号でも欲した?

鱗をはぎ牙を抜き骨を採り肝を血を肉を奪い。

金に換える?

龍を食らって力とでもする?

何にせよ、よからぬ思いだろう。

でなければこんな禍々しい結界など使うはずが無い。

人質にとって見せ付けたりなんてするはずが無い。

たまたま私たち3人が応じたから。

もしソロの回復技能持ちたちが参加していたらどうだったろう?

欲がつよそうならエサで釣るだけだろうか?

ガーディアンの盾もやけに重厚で、なんらかの魔法陣が仕込んであ

る風だったな、そういえばスカウトの装備も普通じゃなかったな。

ふたりに首輪つけて引っ張っていたようだったし。

みな、 ああいう呪いの扱いにたけていたのだろうか?

ああやって縛り付けるつもりだったのだろうか?

酷いことになってるんだろうな。

私みたいに地面に縫いとめられてるのかな。

首輪と鎖でつながれてたら逃げられないよね。

助かりたければ。

全力で前衛の回復を、補助を。

そして剣士を死なせないこと。

だけだから。 呪いの杭や首輪をどうやって外すか。 たぶん、 しっているのは剣士

私にかけられた結界もそう、足手まといだと判断されて、でも人質 にはなるからということだったんだろう。

ずいぶん長い間続いた音と振動が、 二人は無事だったろうか。 気が付いたら無くなってた。

ちゃんと外してもらえただろうか。

気配はある。それなのに、何の音もしなくなってる。

大きなモノの気配。

それと、これはなんだろう?相変わらず右手は縫い付けられているけれど。そういえば禍々しい結界は消えうせてた。

第2話(私たちは騙された(女戦士回想)(後書き)

街から2週間を街から1週間に変更(15話にあわせます)

第3話 回復? いいえ、再生です

結構余裕ないです。

って傷口を塞ぐか思案中。 腹腔内に入れた体の大半を戻し、 止血と輸血に集中しつつ、どうや

元の世界だと完全に針と糸で縫合コー スですよ?

どっちも無い、というかそもそも道具を使えると思えな 縫合に使えるぐらいの物をつくる自信なんてないです。 取り込んである剣やら革鎧やらでどうにか作れそうではあるけど、 いので却下。

残る手段は、 取り込んで排出するときに元に戻せるか?

ر ا

できるかなー

できるといいなー

というかできなきゃずっと張り付いたままになるよな!

張り付いたままってのは色々まずいよな。

もう一人ぷるぷる仲間を増えても。 もうすでに二人もぷるぷるを仲間にしてることだし、

妄想はおいとかねば。

傷口を引っ張りつつちょっと吸収しつつ、 端っこから排出して再生。

再生つ。

ω

怖いからほん のちょっと、 たぶん顕微鏡レベル?

そんなコントロールできてたか知らないけど、 っと過ぎてよく わからん とにかくほんんおち

m c いや5mmぐらいからがんばってみないと。

んーと引っ張 りつつ吸収しつつ再生かける。

皮膚とかは しし いけど、 腹膜はよくわからんからがんばって引っ張っ

て強引にくっ つける。

たぶん大丈夫なはず、きっと。

腹筋とかどうなってんだろ?

変にくっつけてい いものかなぁ ?

さっくり切れてるし筋やら距離やらはかりつつ慎重にいきますか。

引っ 張 ij 吸収、 再生

引っ 張り、 吸収、 再生

引っ張り、 吸収、 再生

皮膚はな んとなくコツつかんだっ、 傷跡だって残しませんよ。

肉 というか筋肉はい けるか?

筋が切れてたら縮んでるはずだからそのあたりも考えて。

切り口全面おおってい るんだから全体把握をがんばって引き攣れが

* *

ようにしないと。

相変わらず右手は壁に杭でとめられたままのようだ。

そして切り裂かれた腹の上にぴんくのぷるぷるした物体、 ては無駄にデカイ胸肉ごしでも、 その盛り上がったぷるぷるしたも 戦士とし

のは見える。

いうか結構でかいな。

光は、 っているのがやっとだったけど、 松明はまだ左手に持ってるが、 なんとかまだ持ったままでいられ あの結界かけられたときは持

えらいぞ私。

少し動かしてよく見えるようにする。 左手から腹全体に乗っかられてるけど、 スライムにしてはなんというか。 手首は動くようだ。

なんだろう?

な厄介者だったはず。 もその粘液で溶かして、 あいつらって全体がもっとこう粘液まみれで、張り付いたらどこで さらに包んでとかして吸収してしまうよう

は魔法や焼却というめんどくささ。 オマケに切ったら増えるし叩いても包んで溶かすしで、 効果的なの

ろう、スライムみたいにべちゃーとぐでーっとひろがってないはず、 それと比べると、ピンクで透明っぽくてツヤツヤでぷるぷるで。 きっとそう。 一生懸命おおいかぶさってるけど、きっとふだんはまんまるなんだ

それにさっきから頭に響いてるのはなんだろう?

今はひたすら、 『ぷるぷる仲間』だとか『もう一人ぷるぷる仲間を』とか。 『引っ張り、 吸収、 再生』を繰り返している。

腹の切り口の感覚は無い。

ゆっ 右手も感覚がなくなっているけどこれはきっと別だ。 くり捕食する生物は麻痺毒でおとなしくさせるとか聞いたこと

でも食べるつもりなら、 この子(スライム?)がやっているのも似たことなのかもしれない、 『引っ張り、 吸収、 再生』 の再生はないは

どっちみち動けないし終わるまでじっと見ている。

* * *

目が合いました。

時間なさそうだったしね。 縫合というか吸収再生も後半はずいぶんスピードアップ、 そもそも

で、おわって一息ついて顔?あげたらそれはもうばっちりと。 おはようございます?」挨拶はだいじよね、 疑問文だけど。

『つぶらな目に猫みたいな口ついてるししゃべったぁぁぁぁぁっ』

いや、ちょっと待て。

こんなスライム見たこと無い、 というかスライムじゃない。

何だこれ、というかこの子。

うん。

あいかわらずがんばって左手もおさえてるけど、 ぷるぷるしてるし

そんなに強くないし、なんとなくかわいい。

おはよう、 そしてありがとう?」とりあえず返してみる、 疑問文

コミュニケーションか? えー、ファーストコンタクト成功?

いやまぁどうでもいいか、 つ。 このまま続けてい い方向に持っ ていきた

ぷるぷる二つの持ち主とは特に友好関係をっ。

まじまじと見詰め合ってるけど結構キレイさんですしっ。

よ? 少し抜けた感じの茶黒?っぽい髪色でショー トだけど美人さんです

だけど、 お腹の中がっ るですよ? ムキムキじゃなくて案外ふにっと肉のってるうえにぷるぷ つリまさぐったからわかるけど体脂肪率低めで筋肉質

妄想は置いといて。

゙ えー、現状認識大丈夫ですか?

邪魔だったので周りの杭処理して、 お腹の傷塞いで見たけど変な感

じとかないですか?」

右手がまだなのとか左手込みでマウントポジションとってるつも 1)

だとかそんなのはおいといて

「どうみても誰かに何かされちゃってるっぽいのでがんばって助け

て見てる途中です

一生懸命すぎて時間がどれだけ過ぎたかよくわからんのですよ?」

と、行動と懸念を表明してみる。

音がしなくなってるのでその誰か、 あるいは何かをいそい で確認

しなきゃダメだとおもいます」

そして肝心の確認を「 おねーさんはボクと敵対しますか?」

いきなりだけどそれなりに筋は通ってるかな?

この子はそもそも何?何者?というのはあるけど、 た傷をふさいでくれたらしいこと、 それ以上に驚く どうやら切られ のはあの結界を

理解してる様子。 さらに、 解除しちゃってること(こっちのほうが軽くあつかってるのも驚き) 音がしなくなったので何かしら準備せねばならないことも

かなり賢くないか?

そこでどうやらドラゴンとやりあってたらしい、仲間は逃げられな なので「敵対はしない、 ようにして無理やり補助させられてる」端的に返してみる。 仲間が二人奥に連れて行かれ てる

ドラゴンですと?

おねーさんの発言にピンポイントで反応せざる得ませんよ、 いきな

りラスボス?

というかドラゴンも厄介だけど仲間の二人もどうにかしないとダメ

なんだろうな、おねー さんげっとの為には。

「敵対しない、 ということでじかんもないので右手の処理がんば 1)

ますよ

手短に仲間のこととかの情報おしえて?」

うん、 そういうのがまったくない あるしね、 逃げられる気がしないというか抱えて逃げてもらいた さっき移動したのもしんどかったし、 から勝手がわからないのよね。 なんというか慣れっ 61 の も

この子ってばほんと賢いし話が早い。

時間無いけど右手を処置しないとどうにもできないしね、 なので私

たちのこと、私たちが騙されたことを簡単に。

そして助けたいのは女二人、 魔法使いと神官だと、 他の男はどうで

もい というか厄介なので死んでてほしいこと。

それぞれの特徴、 得意そうなことなども含めて話す。

うで黙ってるけど。 るというありえなさ、この子は手のひらに空いた穴に集中してるよ 右手首ごとくるんで気が付いたら抜けてたというか杭がなくなって 実際やることみて驚いたけど、杭の処理は一瞬だった。

よさそうな。 と生産しちゃってもいけるかな』とか、 またなんとなく頭の中に『引っ張っても骨が』 とりあえず意識しない方が とか『骨そのものだ

コホン

だしお腹で押さえてたら動かないと思うし」あと、これは言うかど うか迷ったけど「引っ張っても骨が、 「えーっと、治療してもらいながら動いても大丈夫かな、 とかは声にだしてない 手の ひら

ますね。 おねーさんの発言はいろいろ驚きすぎでどうでもよくなりつつあり

とおねーさんに言って、 シウムだしOKかな』 「だしてないですよー、 骨の変わりに鉄はまずいよねー、 こっそり思ってみた。 いろいろかんがえてますよー だとするとアレつかうけどカル

アレってのも何?かわかんないけど時間ない 心の中?思考?なんかつながってる気がする」 鉄はさすがに、 いやだいじょうぶかも知れないけどなんかヤダ。 しなんとかして。

『賢いしカワイイしお役立ちじゃない!』

じたかな? なんか二重で伝わってるのって変だけど真似してみた、 この子に通

よくわからないけど心の中で繋がった?

傷口で接触してるから、というか神経っぽいもの覆って痛み止めと

かして見てるのの影響?

こっそり確認して考える』 いやもうわからんし、今それはどうでもいいので『とにかくなおす、

と意識しておねーさんに思考を送ってみる。

『治療任せた、移動は任せて』

この子とは意外と息あうかもね?

極限状態だからかしら、 洞窟の奥に目をやると、 そっちのほうがは

るかに明るい

というか外から日がさしてるような感じ。

音とか立てないように。 なので松明は持ったまま、 右手でこのこを抱え込んで急いで、 でも

たので火を消して棍棒がわりに持ったまま、 洞窟の出口、ずいぶん手前から松明なんていらないぐらい明るかっ っとうかがってみる。 出口付近でかがんでそ

通るような緑の輝くドラゴン 周りを山に囲まれた空間。その中央に首を地面につけている深く透

予想したとおり、 怒りそして死にかけているようだけどとても美し

どころではない。 きっとここも美しい巣であったのだろうけど、 地面が抉れ山の裾に巨木が倒れ積み重なり。 今はずいぶん荒 れた

そして禍々しさも。

サポートさせるのにギリギリの距離なのだろうか、けっして二人の 手が届かないように鎖でつながれているのも見える。 入り口からドラゴンまでの中間あたりに倒れている二人が見える。

ドラゴンのものだけ。 見回すが立っている人影は見当たらない。 あれだけの戦い(音)だったのだ、 カウト二人は本気で隠れられたらわからないだろうけど 剣士やガーディアン二人はみあたらない。 きっと無事ではないはず。 気配も、 感じ取れるのは

さらによく見るとドラゴンの足の下に血のシミ?

左右の山肌にも血と鎧の一部?

ドラゴンとも目が合いました。

ふんつ

そんな感じでしっぽがはたかれると何やら肉塊が二つほど。

数は合う

れぬがな」 の杭を掘り出したところで呪いの首輪に鎖だどうにもならぬかも知 「そこの者どもを連れて去ね、まだ死んではおらん。 もっとも、 そ

低音の渋い声、ドラゴンだけになんかこう思念波がどーたらとかで 来るかと思ったら普通にしゃべりますか。 ないんですが。 おねーさんは硬直してるし。 いやまぁそれどころじゃ

目をそらすことも、動くこともできない。威圧が半端じゃない。

言われたことはわかる。 動くべきなのもわかる。

けど私は硬直したまま。

ふっ

そんな感じで顔をすこしそむけ、 目を閉じてくれた。

『ドラゴンに気遣われた?』

威圧感から開放された私は彼女らの元に近づいていく。

そのはんぱない存在感に意識を向けてしまう。 本当は駆けて行きたいところだけど。 目を閉じてくれたとはいえ、 足だってもつれそう

圧とか感じてなかったのだろうか。 お腹の辺りでなにやら騒いでる、 心の中でだけどのんきな物だ、 威

えたので、 私の目はいまだドラゴンに釘付けだ。 その左目がよりはっきり見える。 彼 (彼女?)が顔の向きを変

左貝、 中にある一点の闇、そんな感じで凄く目立つ。 ラゴンを押さえ込んでしまってるのだろうか。 むしろ、キズらしきものは左目に刺さった槍だけだ。 とかぜんぜん見えない、まだ距離があるからかもだけど 閉じるとか以前に潰され、禍々しい槍が刺さって ドラゴンに他のキズ それだけでド いる。 白の

呪い?

何にせよ相当やっかいなシロモノのはずだ。

うか?』 するのと、 右手の治療終わった?終わったならあの娘たちの首輪をどうにか 治療もお願い したい。 それに、 アレもどうにかなるだろ

気がして聞いてみた。 厄介な物、 だと思うけどこの子ならあっさり処理してしまいそうな

っとですねえ。 骨とか肉とかぐちゃぐちゃで元がよくわから

ない 肉と骨が粉 るブツで代替しちゃえばいけるとおもうんだけどね。 このサイズのものは元に戻して、スキマはてきとうに取り込んであ おねーさんの右手の平は人差し指から薬指の部分がぐちゃぐちゃ してるし神経くるんでるから時間もらえればだいじょーぶ』 の で困っ 砕されてて3Dパズル状態ですね。 てますよ?傷口ぜんぶ覆って余計な物吸収 時間かければそこそ じて

ると思うのですよ、 かできそうな気がするんだけど近づいてだいじょーぶ?』 『おね― さんの仲間の首輪とかはこっちの処理中でもどうにかで このままつれてってみて?あと、 アレもどうに

ಕ್ಕ 覆うとほぼ同時にあっさりと消えうせる。 彼女らのそばまでいって包み込まれたままの右手で首輪に触れ 実際触れるのはこの子だけだけれど、 杭の時と同じように首を 7

鎖と杭もなぞるように触れていくだけで消えていくのでたい 荷ではないのだろう。

の気絶といったところだろう 二人の様子に は正直心配なところは無い。 おそらく魔力切れのため

それ以外のケガとかはたぶん無い。 と首輪、 それに人質の私 彼女らを縛り付けたのは杭と鎖

それだけだったろう。 りがあってはまずいだろうし 回復と補助に専念させるのに、 それ以外の

だとかそん なによりあれだけ なにしろ草をベッ な惨状 の中で、 トに寝ているようなものだったから。 の戦闘の)跡地、 彼女らの横たわるところだけ 地 面 のあれ具合だとか岩肌 が元 つまま。 の

血が滲んでたりとかもなさそうだし! たら何かわかるかもしれないけど、 『こっちのおねーさんたちは気絶してるだけかなー、 脈とか呼吸とかも安定してるし ちゃ んと調べ

首輪や鎖の処理中に調べたのだろうか?

とか見てきたので疑わずに受け入れることにした。 この子がそう思うなら大丈夫なんだろう、 ここまでの治療とか解呪

りに濃くなってるの』 そういのがだんだん薄くなってる気がする。 あとはあっちかな?なんていうかね、 ドラゴン?の気配というか んでイヤな感じが変わ

ほんと、なんとなくなんだけど。

なんていうかね、 槍はやっぱり呪い付きなのかな、 それがドラゴン

食らって大きくなってるというかなんというか。

『急いだ方がよさそうなのでつれてって?』

とお願

いしてみる。

確かに、そうなのだろう。

最初に感じた威圧感、 ドラゴンの威厳というかそういう感じ。

プレッシャーが薄くなっている。

それに、 ような感じがする。 ているような、 槍そのものより槍の刺さった周辺から禍々しさが溢れ始め 刺さった槍を中心に、 なにか黒い物が渦巻いている

近づくまでの間にも膨れ上がっているようだ。

どのみちこうするしかないかな? 包まれたままの右手を黒の渦の中心へむけてかざす。

ぶるぷるぷるぷる

ぷるっ

ぷにょーん

と槍に触れ、 いやもう何がなんだか。 刺さったままの目に覆いかぶさって。 とにかくこの子の体?手?が伸びてぴとっ

kじゃ jつぇ f んかsdl

Wdじょ jf qk

q w k

おを1gwrうえ

えんがえ

えwくぇf

おおkをふえkぇfmぇえ

吹っ飛ばされました。

人間...ではないな、槍ごと我を食らったか」

とドラゴンの左目を繋いでいる。そう、つながってる。 吹っ飛ばされてはいるもののうにょーんと伸びたこの子は私の右手 ら先が作りかえられているような? か右手のひらの穴が急速に塞がっていくというか包まれた右手首か そのおかげ

治そうとでも言うのか。 い取った目玉も肉も骨もくれてやるわ」 かまわぬ、 槍が食らった力ごと、

とか言ってますよ?

生するときに汚染原は切り離せると思うから問題ないと思ったけど。 染されてる感じの周辺もごっそり吸収してみましたけど吸収して再 いやいや、吸収して再生するつもり。 刺さった槍ごとなんとなく汚

ドラゴンの肉やら骨やらが流れてってるような? というかおねーさんに繋がったままで、 そっちも治療中だったので

というか再生力すげ

勝手にケガのほうに食らいついて無理やり治してる気がしなくもな なんかそんな感じでごっそり強化してるというかされてるというか。 『ていうかコントロー 人間の体は不完全?ドラゴンからすれば脆すぎる? というか包んでる右手首全体に食らいついて作り変えてる? ルできない力とかこまるー、 かえすー 戻すか

り回さないでー』

思いますよっ 血 |肉でつくられた華のようなシミを見ながらいうセリフではないと

留中なんだけど。 ドラゴンの力はしゃれにならんですよ? きるというか、とりあえず取り込むと発動してないみたいなので保 というか呪いの武器だとか呪いだとかは分離できるというか分解で

とわからんか。 マッチの火でいいのにナパーム弾ぶちまかれてる感じ、 り離されたら破裂するんじゃない?ていうかとにかく強すぎ。 まだ繋がってるから、流れ込んでも戻せばどうにかなってるけど切 『過ぎたるは及ばざるが如し、 とにかく過剰すぎてしゃれになりません。 どころじゃないー もらったら破裂 いやこれだ

しそうなのでむり

その辺のウロコとか全部もっていけ。 も掃除していけ。 槍のように収納できるのであろう?ついでにその辺のシミと付随物 何やら偉そううな物言い、 シミはともかく付随物はそれなりの物であろうし だが真理ではあるな。 どこに入ったかわからぬが、 力が要らぬなら

交涉成立

なんとか返せるだけ返しますよ。 じっさいそう意識しているだけで

勝手に帰って行ってるような?

少し残った気がする肉と骨はおねー さんのほうにぜんぶ行っちゃっ わてて離れましたよ、なので解析とかさっぱりです。がどうなったかとかわかんないけど。逆に食い取られそうなのであ 治そうとかもうそういうの関係無しに傷とか塞がってるし潰れた目

外見はそのままっぽいので問題なさそうなんだけど。

てるし、どうなのかな?

話 後片付け? お宝回収?

そこいら撫でまくってもらう あんまり直視したくない物もけっこうあるけど、 拭き掃除の要領で

正真 吸収するのにいちいちより分けるのめ んどくさい

山肌の血肉の華になっちゃってるのとかその岩盤ごと

ドラゴンの足の下とかはさすがにどいてもらって地面ごとイタダキ

おねー さんは かなりおつかれの様子

マシタ

なにしろかなりの広範囲を拭き掃除だし、 最後はドラゴンの体もふ

きまくりなので無理もないか

肉体的にはともかく精神的に座り込みたいだろうと思うけど

力は大半返したとは言うが、それでもそれなりに残っておるだろう 一度に担いでいくことも造作ないはず 終わったなら早々に気絶してるモノどもかついで立ち去るがい 61

それに、 その方らがきた穴を塞いで眠りたいのでな」

おねー さんを励まして二人いっぺんに担ぎ上げてもらう

パワー アップ?

繋がっ てた時にドラゴンの血というか気というかが一旦体内に流れ

たからかな?

ほとんど返したつもりだけどそれでも結構な 力 " が残ってるみたい

おねー さんは主に右手首に集中してるけどボクの場合はなんとなく

光ってるそうですよ?

この体に部位なんてなかったってことか

飛び跳ねる距離とか伸びたので自分で移動とか結構できるよう

になってるし

がらついていく 彼女らの装備もきっちり回収(吸収)してぷよんぷよー んと跳ねな

ついでに、 いよね? 着地点のヒカリモノもちゃっ かり吸収してみたけど問題

洞窟の進行も問題なり

そもそもあるのは死体とか装備品とか

ゴブリン以外の蟲?とかあってあんまり気が進まないけどぜんぶ吸

収していきますよ

ちなみに明かりのほうはさらに問題なし、 ぶっちゃけ自分輝い

ということで今度はボクが先導しつつぷよー 一本道なので迷うこともないしね んぷよんと跳ねてます

結構長いというか何km?

ずいぶん移動してると思うのよね

な感じ無し) で、外に出て馬のいる結界 (こっちのは普通な感じ、 さっぱり邪悪

その中にはいって二人をおろしたところで

どごーんずががががっがが

てなぐあいに揺れまくり崩れまくり

おねーさんと見詰め合って

「「ブレス?」」

二人同時につぶやいてみたり

ドラゴンと繋がった分敏感になってるみたいでなんとなく何やった

かわかる

というか、 剣士一行に一発かましたら終わりじゃないっていうぐら

いの 撃

呪いの結界だろうが魔法的に強化された重装盾だろうが

お構い無しだったんじゃなかろうか

たぶんね、 まだ気絶してる彼女たちを巻き込まないようにあしらっ

てくれてたのかな

気遣いすぎて隙つかれたのがあの結果、 でちょっと本気だしてみん

なぺたんこにしたんだろうし

わかんないけど、そういうことにしておこうと思う

というか洞窟ふさぐのに山沈めますか?

やっぱりドラゴンは規格外すぎる、ラスボスつえ

へたりこんだおねー さんとその膝に思わずとびのるボク

しばらくむぎゅーってしてもらった

「あらためて、よろしくお願いします?

おねがいしても大丈夫です?」

やっぱりあれだ、挨拶は大事なにがよろしくなんだかよくわかんない

けど

でもなんかもどかしい感じもする

いまさらだからというかもうずいぶ ん協力関係にあっ たというか

ずいぶん繋がったままだったからかなー

おう

あれだ

挨拶は大事だけど抜けすぎてやしませんか

名乗ってないし名前聞いてませんよ

「えーっと、ハガネともうしますよ

おねーさんとはいっしんどー じゃないや

お友達になりたい のですが、 よろしくお願い てい いですか?

膝 の上でぷるぷるしつつとっさに考えて名なのってみる

元の名前はあるけど漢字とかどうかんがえてもなさそうだし意味不

明だしね

なんか違うとも感じてるし

ダメ押しにむにゅっと体の右側から手みたい に伸ば て握手求めて

みたり

握手の習慣ってあるのかな?

ずいぶん助けてもらったけど

そういえばお互い名乗る余裕とかなかったよね

私の名前はアルキオネ・ミケナイ、 アルケとでも呼ん だくれ

いろいろ治してもらう時に繋がってたからわかったかもしれないけど

クウォーター・オーガだ、 戦士というのがわかりやすい か

三人の中で前衛を勤めてたよ」

膝の上のぷるぷるが伸ばした手?手でい 61 のかな?

を両手で包んでしゃべりかける

ちょっ と見えにくくなっ たのですぐ離 して両手で体をはさんでみた

けど

ぷるぷるだわ

このぷるぷるの手触りはすばらしすぎよっ

私だって女、 いや女の子としてカワイ イ物好きの血が騒ぎまくって

ます

ぷるぷる、ぷにぷに

いやされる―

ぷるぷ かないので るぷ にぷにされてましたがいつまでもそうしている訳にもい

ルケおねーさんには荷物の確認とか整理をお願い してみた

その代わり倒れてる二人の看病を任されてみた

魔力切れで意識がないだけ、 二人にはいい森だからすぐにでも起き

7

だそうで、 荷物整理というよりお茶と軽食の準備してるみたい

こぅわぁー

一瞬で巨大火柱がっ

馬びびって逃げそうですよ、 まだつながれてるから距離とってるだ

けだけれど

ていうか熱い、あついー

アルケさん茫然自失してるのね

「消してーけしてー」

ハガネに二人の看病、 というか起きたら知らせてもらうよう頼んで

私は荷物のチェックを開始した

元々の人数からずいぶん減っているので食料他帰るだけなら余裕過

ぎるのはすぐわかった

4のでお茶の準備でもしておこう

もうしばらくここにいるぐらいはたぶん大丈夫だろう 本格的な休憩は川沿いまで下った方がいいのだろうけど

ちょっとお湯沸かすだけなのでそんなにいらない 石で簡単にかまどを組んでその辺の木切れ、 枯れ枝を積み重ねる

「トーチ」と呟いて右手人差し指で組んだ木を指す

実際、 簡単な魔法なんだけど 魔法の名は意識するため、 ちょっとした火を灯す魔法なのでややこしい手順は必要ない 指でさすのは位置を確定しやすくするため

轟音とともに立ち上る火柱

サイズこそかまどに収まってるので直径3 0 0 C mほど?

ただ、高さが見上げるぐらいにはなってる

5mはあるかなー

もうなんだ、あきれて見上げるしかなかったんだけどハガネが注意 してくれなきゃ山火事になってたか

魔法の火なので意識すれば消すのは簡単

かまどの中の木切れとかは一気に炭になってたけど、 火種としては

これで十分

かまど全体が焼けて熱いし種もあるので小枝とか放り込むだけで簡

単に火がつく

ていうかかまどの石がかなり高温になってるみたい ね

水を入れたポットを吊るしてお茶の準備再開

お茶はほわほわ した魔法使いが入れてくれるの がお 61 んだけどな

まだ起きてない すぐ何か飲めた方が落ち着くか

いろいろありすぎたしね

軽食は固焼きのビスケットでいいかな?

木の実いりのこれは神官のお気に入りだし

なんて現実逃避もちょっと限度が

でしょ ハガネはマジマジとこっち見てるし、 あんたは二人見てないとダメ

なにかさ、 ものすごく魔法の力もあがっ たっぽい」

だそう アルケさん曰く、 火おこしに小さいけど高温の炎の魔法を使っ たん

使わな 明かりの継続魔法の「ライト」、 なんだそうだ 魔法とかよくわか い人は使わないけどギルドの講習で野外活動に便利ってことで h ないけど入門クラスの便利魔法らしい 火付けの「トーチ」なんかは必須 のね

もっとも「ライト」 いそうだが 回復魔法や毒消しなんかは実習が難しいので現場で覚えるんだそう は魔力を消費し続けるので雨でもないと使わな

昔の軍だと促成教育するのに傷つけた家畜を連れてきて練習したそ うだけど

もできなくなってしまったそうだ ちょっとした止血とかはできるようになってもそれ以上はどうして

なんでも無理やりケガさせたのを治そうということが引っ しい かかるら

結局、 個人の実力に関係ない神官たちの神への祈りか、 られるものに限られるそうだ 回復魔法に長けるのは余程の場数を踏んだベテラン 精霊の助けを受け か

話がそれ 茶することはないから違うらしい というかドラゴンと繋がっただけでなくほんの少しもらってるから ああなるには余程の魔力か精霊の影響がないと無理だけど精霊が無 たけど、「 トーチ」 の魔法であの威力はありえない

右手首から先はドラゴンの一部が特に混ざってるとかも言ってたっけ そういえばドラゴンと繋がってた時そんなこと言ってたよね 強すぎて困るのがこんなことだとは思わなかったわ

環してたからね アルケさんもボクも、 ドラゴンにつながったとき無理なく血が循

ドラゴンにもボクたちの血なんかが流れたはずだけどあっちへの影

響はないんじゃないかな?

比べるにも値しないぐらいの力だしね」

ったんだ それに ね ドラゴンと繋がった時はアルケさんの右手の治療中だ

どうやったら て骨とか肉とか包み込んでたときだから しし いのかわかんなかったから、 とにかく手の中に入っ

うけど そういうのを含め全部ドラゴンの治癒力、 たぶん自然治癒なんだろ

そういうので一気に治されちゃったから、 のままだけど 見た目アルケさんのもと

実際は右手首はドラゴンの一部みたいなものになってたりするのか もしれないようなしないような?」

そのドラゴンに繋がること自体ありえないのに、 やまぁドラゴンのことなんて誰がわかるだろうか? ろいろ語ってくれてるけど結局お互いわからない ドラゴンの自然治 の ね

力もやたら強くなってるっぽい上に魔力もあがるって何その反則血が流れたとかどうなのよそれ ひょっとすると回復力も跳ね上がってるかもね?

第6話 二人が起きました

アルケさんとボクとでちょっと大騒ぎしたからかな?

その後の会話中に火のそばに座ってるアルケさんの膝の上に乗って

いろいろお話ししてたけど

ひと段落してたら起き上がってました

最初は呆然としてたけど

アルケさんがにっこり笑うと (ボクの後ろなんだけどなんとなくわ

かった)

二人とも飛び込んで、だきついて来た

しばらく泣きながら抱きついてる二人のあたまをただ撫でてあげて

たみたい

ボクの方はアルケさんの膝の上、 二つのぷるぷる仲間の直下

さらに二つのふよんふよんにぷにぷにが加わりました、 ここは天国

ですか?

ひとしきり泣 いた後、 アルケさんのぷるぷるに顔埋めてるつもりが

ナニか違うものがあるのに気づいた二人

そろそろご挨拶の時間のようですよ?

ということでがんばって顔を上に向けようと思います

相変わらず三人抱き合ってる真ん中に挟まれてるので

ぷるぷるふよんふよんぷにぷにのヘブンなトライアングルっ

やばいです、何かいきりたちそうです

というかいきり立つモノがありませんよ、 真実とは残酷ですね

くにいけない天国なのに地獄というのはこのことですか?

快楽に負けぬようがんばって顔を出しまして

おはようございます、ハガネと申しますよ?

ろあってあの中でアルケさんのお友達になりましたので

「ハガネの挨拶の最初は全部おはようなのね

けど あー二人ともちゃんと説明はするから、 できるかどうかわかんない

とりあえずいい子だから大丈夫だよ」

とかいいながら二人を見る、うん年上からよね

ということで魔法使いに目で合図っ

アルケさんに見つめられましたわ

反則です、反則過ぎます

ただでさえ美人なのに背が高くてスタイル抜群なのに気さくでお姉

さん気質で

いえ、もっと言えば姉御肌というかとにかくカッコイ イ美人なうえ

に爆なぷるぷる持ちだなんてっ

こほん

「ちょっと見とれてました、ごめんなさい

サマー サ・ネレイウスと申しますわ

三人の中では一番魔法が得意なので魔法使いと名乗ることにしてい

ますよ

こういった少数で野外のお仕事が主ですのでそれなりにいろい ろで

きますけれど

無理しない限りおふたりに任せていたら出番がないのでやっぱり魔

法使い、でいいようですわ」

なにかこう皆さんに挟まれてますけどつぶらな瞳にネコさんみたい

きゅーとな口とかもうたまりませんわ

ピンクでぷるぷるなのもポイント高すぎですっ

サマーサさんは

銀髪の長い髪の毛の先を下の方で留めてます

運ぶ時に見た限りだと一番背が低いですね

薄いブルー ゆったりした服にケープも羽織っててわかりにくいけど の瞳とかでちょっと神秘的だけどぽわっともしてます

アルケさんが爆だとサマーサさんは超です、 間違いない

もう一人のかたはは細身で幼い感じ

髪の毛は色の薄い金髪で肩ぐらいかな?ポニテにしてますね

北 だとか 欧だとかの美少女風

瞳はグリーン

なんだろ、 キリッっとしてるというか背筋が伸びてると言うか

軍人さん?

「次は私だね

クルセイス・クレテ、んー 神官?

いろいろ説明 め んどくさい けどわけあって回復とか補助の魔法だけ

大の得意だし

そういうのって神官とかぶるからそういうことにしてるよ

腕力ではアルケにかなわないけど剣技のほうでその分埋めてる感じ

かな?」

とりあえず名前と技能がわかればいいかな?

少数パーティだとそのへんの把握が大事だしね

サマサもその辺わかってるから得意なことはちゃんと言ってたみた

いだし

実は耳が短いけど先祖がえり的にエルフの血が濃いだとか

年齢のこととかはいいよね、 二人にも正確には言ってない

命体だとかは ある意味いつもどうり、 新し 仲間が正体不明というか謎の知的生

大問題だ

どーすんのこれ?

こんなの見たことないよ

友達だとか言ってるけど、 見たことも聞いたこともないよ?

害はないみたいだけど

なんかぷるぷるしてるけど

三人に囲まれて、 というかぷるぷるふにふにに挟まれてるからよく

見えないな

さすがに挟まれっぱなしってのも何ですね

「お湯も沸いてるからお茶にしたほうがよくないかな?

みんないろいろありすぎて疲れてるはずだし

落ち着いたほうが話もしやすいと思うんだ」

天国いや地獄から開放されてぷよんと着地、 ついでに膝からもおり

てお茶くみのじゃまにならないとこに

ぷよんぷよんと跳ねてますけどガッツリ見られてます

視線刺さりまくり

やっぱり珍しい?」

マジマジと見つめすぎたかっ

いやもうまったく未知の存在、 それも知的生命体で会話可能

何故かカワイイとかどういうことよこれ?

「うん、私のまったく知らない存在

生き物、よね?

「ボク自身も何なのかわからないよ

出できるとかも」 なんでしゃべれてるとか、 なんでも取り込めて好きに変化させて排

世界の記憶 元人間だとかの記憶はちゃんとあるけど、そもそも魔法なんてない そもそもここがどういうとこかもわかってないんですけどね

科学技術的なことだとか広めて大戦争が!とかありえるよね 何がどうなるかわからない以上ぶっちゃけたらまずそうだ

魔法がどの程度なのかもわからんけどなんでも公開すりゃいいって

もんではないはず

きちんと説明できないってのもあるけどおいとこう ごく人にとって何かのきっかけになるだけで危険かも知れない

どこかの魔法使いが作り出した魔法生物でも逃亡してきたのかしら? 文献もかなり読み漁ってるけど見覚えないですわよ? あっさり言うので聞き流しそうだけど、これって錬金術師っ 何でも取り込めて変化させられて排出できるですって? いろいろ聞き知ってるつもりだけどそういう噂は聞 いたことがないし てこと?

そもそも錬金術じたいかなり秘匿されてるものですけれど

たことも含めて話す方がい そうだな、 何でも取り込めるとか何でも作れるとかは実際体験し いか

改めて、右手のひらを見つめながら

とりあえず落ち着こうか、 お茶も入れたし固焼きクッキー も配る

どっ したほうがい ちから先に話すか考えたけど、 いだろうし 目の前 のハガネについても説明

というかなんなのかまっ たく不明だけど

どういうもの がいいだろう で何故害がない友達だと言い切ってるのか伝えたほう

うまく言えるかわからないけど、 たのかから語 り始めた 洞窟に取り残された私がどうなっ

ところどころハガネも補足してくれたけど、 まず驚い たのが呪 の

杭をあっさり処理したらしいこと

ついでにそのまま取り込んでるらしく 一本出してく れた

なんか禍々しくて気持ち悪いっていったらすぐ覆いかぶさって、 そ

ままあっさり取り込んでたけど

まー なんだ回復魔法とか自然治癒力強化とはまったく違う手法だと ハラワタの話しとか聞きなれない単語が連発だったけど ハガネ補足のばっさり切られた腹の治療、 というか聞く限り修復だわ

いうことはわかった

さらに傷口に張り付いてると心で意思疎通できたとか

右手治療中にドラゴンとも繋がっただとか改めて説明しなおすと異

常すぎよね

ドラゴンを死にかけさせた呪い の槍の処置とか霞んでる

話し始め ドラゴンの恩人でもあるからいろいろもらって来ちゃ ら締め この子が私たちの恩人であることは間違いない てからい 八ガネはなんなのかわよくわからない つの間にか膝に乗ってるハガネをぷにぷにしなが ょ んだけど ってるし

そういやいろいろもらったというけど最後のほうなんて岩盤ごと削

ってたよね?

ドコに収まってるのかさっぱり不明すぎる倒れて積み重なってた巨木もあっさり取り込んでたし

第7話 サマサとクルスの話

どうなっていた事か 聞く話題全てが規格外、 そもそも何な アルケとハガネの話を一通り聞いたけど驚愕の連続だった いろんな意味で恩人だわ、 ハガネがいなかったら助かってない、 のかさっぱり不明なハガネが原因ではあるのけれど ありえない解決策ばかり もし かわいいのにぷるぷるなのになんて いえそれどころかこの周辺が

思う さて、 クルスなら言うべきことは突っ込んでくれるから私から始めようと 私たちのことも話すべきよね

凄いんでしょう

手を絞りあげるスカウトや首輪の呪いを発動させるガーディアンの 後ろ手に拘束され呪い付きの首輪を嵌められるところだった クルスのほうも似たものだったはず 私達がアルケから離され イヤな笑い方をはっきり覚えてる た、 彼女が杭で縫い 止められていた時は

もね」 ガー ディ そう、 アンというより僧兵?何らかの宗教性の濃い戦士だっ でも彼らはスカウトというよりアサシン

クルスの呟き

彼らの突然の豹変に驚い 7

アルケが貼り付けられた時に絶叫し

更に禍々しい結界がはられるのを見て絶望した

たけど いろいろな魔法知識を読み漁り、 普通以上に行使できる自信はあっ

あんな禍々しくて凄い結界をどうにかすることはできそうになかっ

たから

それ以降、 ただ轢きずられるまま歩いたんだろう 鎖の端を地面に縫いとめられるまでは覚えていない

気がつくと山に囲まれた盆地

中央にドラゴン

月明かりに照らされて、 深く碧いウロコが輝いて

周囲の草原にも光の粒がきらめいて

山裾にある木々もキラキラしてる

深夜だというのに

ここは

精霊が濃い

させ、 龍脈の大元?

ドラゴン自体が龍脈そのもの?

私の魔法使いたるゆえん

水の精霊との対話

ここにいるのはおそらく木々と大地の精霊

だけど、 これだけ濃ければ

水の精霊とも親和性が高いのでなおさら

私たちの周りにずいぶん集まってたのは気づいてたかもね」 あいつらに見えていたかどうかわわからない あれだけ濃い気配の地なんて初め けど

そうね、 私のほうにもずいぶん来てくれてた 初めて見たわ ここの、 外の森でも他の地より濃いんだけど光るほどあつまるのは クルスは眩 しいぐらいだったし

めたの 剣士が杭を取り出してドラゴンからずいぶん離れた所に鎖を繋ぎと それでかどうかわからないけど

るつもりだっ たんじゃ ないかな 元々は最前線まで引きずって、 ガーディアンはびっくりしてたけど んまり離れると魔法かけにくいと考えるのが普通だし 鎖で繋いだまますぐ後ろで補助させ

それも即死でもされない限り何十人でも対応できたでしょう」 あれだけの地なら、 あの盆地ぜんぶカバー できたでしょうね

私たちの仲間であったなら、 あの人たちが善き人で、 剣士が杭を打つ間、 不死身といって言いぐらい精霊が助けてくれたんじゃ 助かりたければ全力を尽くせだとかいっ 相手がドラゴンでさえなかったら ちょっとお願いするだけ で ないかな てたわね

もちろん、 「私たちの周りに一切被害なかったのは、 ドラゴンがこっちに攻撃しなかったというのが大きいけ たぶんそういうこと

結局、 死なれると助けられないし 彼らに対しては私たちの魔力で対応しなきゃならなかっ たわ

がなかったけど 私たちは精霊が助けてくれてたみたいでいつもより魔力切れの心配

ドラゴンの攻撃がだんだんきつくなって、 中するようになってたし」 なんていうか、見透かされてた? いろいろ思うことはあったけど、 私のほうはいつもの倍は凄かっ たかもしれない すぐに全力で支援かけ続けてたわ 剣士たちは耐えるのに集

ずいぶ ん長かったわ

普通なら魔力切れおこすところなんてとうに過ぎてた 魔力は精霊からもらえてたような感じなのかな、 てたのかわからない もうなにがどうな

ずっとアルケのこととかドラゴンのこととかぐるぐるしてたし

なんていうかな

ただひたすら魔法かけ続けてたからかな

私自身が魔法の、 りえない量と強さの魔力が、 魔力の流れの ただひたすら流れてるような 一部になっ たような

「そうね、私のほうも似たような物

回復魔法、強化魔法、障壁魔法

最後のほうはそれぞれ全部に魔力が流れ続けてるような感じ」

常に高濃度の魔力が流れてたからだと思う 結局、 自分も強化してたし精霊も助けてくれてたけど 自分が切れた瞬間はなんとなく覚えてる その流れに体が耐え切れなくなった

先に倒れちゃったのねゴメン

はず」 適性は私のほうがあったんだから負荷はサマサのほうがきつかった あの状態じゃどっちが先かってのはわかってたし 気配というか流れが私のほうに全部来たから サマサが倒れたのはわかった 謝らなくて りわ

一時的に障壁も強化も強くなったのね」「全部の流れが展開してた魔法に乗っったから

ガーディアンも盾の障壁を暴走させて吶喊 罠みたいなも そういえばいろんな所から薬ポットとかも飛んでたかな? 隠形していたアサシンが背後から 「それを機と見たのでしょう のも仕掛けてたみたいだし

剣士が槍を構えて続いてたわ」

「結論から言うとね

アサシンは尾の一振りで

最後の剣士は噛み千切られてたわね」 ガーディアンは頭で跳ね飛ばされとのと踏み潰されたのと

最後の食士に喧みコ七ミオでたれれ」

もっともそのまま投げ捨てられてたけど」 あのドラゴンに槍を突き入れるのだからかなりの者 「食われた瞬間か食われた後かわからないけど

私のほうも切れちゃったから はっきり見てはいないけど、槍の呪いが発動したのかしら ものすごい咆哮でたぶん気を失ったと思う」 剣士が死んだのを見て

お茶はすっかり冷めてるし固焼きビスケットもあんまり手がついて ないけど 重い部分もあったけど、 互いのことを話しきったと思う

やっぱり重いわよね、限度超えてるわ

るわけだし大丈夫よね? できるだけ早めに離れた方がい 今日はここで一泊した方がいい 二人が起きる頃はまだ明るかったけど、 かしら いとは思うけど山ひとつははなれて もう日が傾いてる

黒パンも十分以上残ってるし 私たち1日半はまともに食事とかしてないし」 それともちゃんと食事とってみる? お酒も残ってるわよ」 「それとも寝ちゃう? 二日は前の水だけど沸かせば大丈夫でしょ、干し肉はあったし

お茶、

温めなおそうか

とサマーサあんなに凄いことがあっても」「おなか、減るのね

こちらはクルセイス 水に余裕があるなら朝の分のこして馬に与えた方がい 生き残った、 ならばちゃ んと帰れるよう食事はとるべき いね

「さて、二人とも動けるかしら?

動けるなら何かした方がいいわよ そうねぇサマサには食事の準備お願いしようかしら、 簡単でい わよ

クルスは馬見てきて?そのあと荷物チェッ クたのめるかしら

簡単にはやってたとこなんだけど、 まとめなおした方がいいと思う

Ĺ

一人とも頷くと、立ち上がって動いてくれた

思ったより大丈夫そうね

では、私の方も厄介な問題の解決を考えますか

さっきまでのことからするとどうでもいいことなのだけど

レディとしてはこだわらなきゃダメな問題

下半身の装備は大丈夫なんだけど上半身がね

下着、それもおなか周辺に大穴あいちゃってて膨らみの下半分見え

てんじゃない?

もー なんというかまずいわ、まずすぎるわ

ということで荷物整理という名の服探し

ぶちまけてるだけともいうかも

ハガネは話の途中からかなり真剣な顔?で固まってたから置い

く事に

話は聞いてたみたいだけどなんか考え事かな

のほうは大丈夫そう、 サマサと相談して水はあげておい たから

川までここから半日かからなかったはずだし朝の移動後そこでもう 一泊すればいいと思う」

て報告 カバンというカバンをひっくり返して並べてるアルケの後ろに立っ

帰りに必要な荷物まとめるとかではないの?」「さすがにこれはぶちまけすぎ

上着、 振りかえって上着の大穴ぱたぱたさせてアピール 「女の子の危機なの、 というかリネンのタンクトップなのでそもそも露出過多 非常事態なのよ」

水と食料が大半、それに天幕とか薬品とかでかなりの量になる もっとも5人へったので余裕できてるけど 食料だって狩で補ってるぐらいだ さらに今回は重装備が三人分はあったからいろいろギリギリ 屋外任務で長距離移動だと換えの服の優先度は非常に低

ぷにぷにの下半分丸見え、トップもくっきり丸わかり そのままだとい 街に入る前に毛布でも巻きつけるしかないでしょ しかも穴ギリギリなので注目度ばつぐんですね わかるけど着替えとかあるわけないじゃな い晒し者すぎる」

じし

見つめてもないものはない

まぁどっちみちまとめなおして不要物は埋めるとかしないと だいたい ので、 ぶちまけるのはいいんだけど 一番でかい んだから私たちの服とかも無理でしょ

ことだし たどり着かれても困るしね、 獣道というより元街道、もっとも木が茂り下草生え放題で大変だった 街からは竜 (大型爬虫類) をさけて樹海の中を縦断してきたけど 少なくとも森から抜けるまで、できるだけ跡 いろいろ考えられるけど、とにかく辿れるのはまずい そうそう、 荷物はぜんぶ持ち出すわよ なんせ別ルートで来たゴブリンもいた のこさな

洞窟埋まってるとはいえ用心はしておいた方がい l1

ぼろっちい革鎧とか欠けた剣だとか棍棒だとか、 応 これは巣の中だけかもしれないんだけれど念のため てもらってる あと、 ハガネに全部任せたけど洞窟内のイロイロなもの全部吸収し ゴミは残すなって言われてる 生々しいナニカと

その辺はあきらめてくれてたみたいで助かったけど かも全部 イヤナニ、 私だって見たくはない し触れたくなんてない んですけどね

あと、 深くは語らな ここにも動物はいることだし深めに穴ほればだいじょうぶかな! いやなんかぜんぜん気配ないから明日 ピーだとかプーだとかはあれだ いけど察して? の朝の問題だと思うのだけどね

そうねぇ、馬は余裕できてるわけだし

ドラゴンの言いつけじゃ従う以外ないわね、ここも汚したくはない

実際、 重装備がなくなってる分余裕できてるしね

「ごはんできましたよー

干し肉のスープにあっためた黒パンですよ」

まともな食事は久しぶり、ちょっと少なめだけどこれでいいでしょう

私たちの分としてはね

ハガネって何食べるのかしら?

というか食べるの?

鍋とポットはがんばって積んできて正解だったと思う 話し合ったときと同じようにかまどの火の回りで皆で食べた

こういう行軍で鍋とかないと保存食か丸焼きばっかりになりがちだ

しね

岩塩ひとかたまりとか、かなり贅沢

なんにせよ多少の贅沢は許されるべき

ハガネがいつの間にか膝にのってたからスープに浸した黒パンをあ

げてみた

吸収するときと違ってちゃんと食べてるみたい

カワイイからどんどんやってたら私の分全部なくなってた

それほどおなか減ってたわけじゃないしいいんだけど

そういえばまったく疲れを感じてないのはドラゴンが混じった影響?

サマサやクルスみたいにぶっ 倒れてたわけじゃ ない けど、 丸2日ち

かく寝てないんだけど

ハー お腹に物が入った分眠気は出てきたかな?

そんなこと考えてぼーっとしてたらハガネがクルスの方に跳ねてい た

「クルセイスさん、これ」

そういって細身の剣を差し出してみる

二人を回収 した時に横に落ちてたからたぶんクルセイスさんのだと

思う

「クルスでいいよ

っていうか驚くな、キミは

どう考えてもこの長さが収まるとは思えないんだが」

細身の剣にしてはゴツイ拵えのそれを受け取る

選定基準は扱 いやすさ、そして武人の蛮用に耐える物

それでも壊れるものは壊れる、いわば消耗品

荷物の中になかったからドラゴンの巣に置き去りだったんだろうと

思ってた

クルスさんのとこからもう一回戻って

「アルケさんはこれ

最初に会っ た所にあった短剣、 いろいろ試して元とはずいぶん違っ

てるけど」

革ケース入りの短剣、というよりナイフを差し出す

いろいろやったっていうのは取り込んだモノを解析して分解して再

構築ができるとわかったから

そしてゴブリンの剣はともかく短剣もクルスさんの剣も鋼とかそう

いう感じはあんまりしなかった

なんだかんだ いって武器はいっぱい取り込んだし岩盤地盤いろい 3

取り込んでたし

重い話のときはちゃんと聞いてましたよ?

なー てずーっ とやってた

なんかいろいろ分離したり混ぜたりで鋼とかステン

レスできない

か

洞窟の移動中とかゴハン待ちの間とかにね

色々やりすぎた結果、 木材から炭にして炭素いじくり倒してたらカ

- ボンナノチューブが

見えるのかって?

見るんじゃない感じるんだ、ですよ?

作れたけどとりあえずお蔵入り レンもできるし、 やたら繋いで単分子ワイヤー とかいろい

あと銅はわかりやすかっ たけど他にも色々分離した中にやたらテカ

テカの金属あったので

これをとりあえず仮にクロムとして鉄に混ぜてみたりカー ボンナノ

チューブ粉も混ぜてこねくり回して

白っぽい うにうに のと黒っぽいの2種類、とりあえず白鋼と黒鋼としておこう した結果、 とりあえずステンレス鋼 の候補を二種類作成

これを見た以上アレを作らねばなりませんよねってことで

さらにうにうに、 折り返し鍛錬モドキをやって整形

ダマスカス鋼風ナイフの完成ですよ、グリップは日本刀思い 出し

紐っぽいもの作って編み上げてみました

技術拡散やばいとかそういうのはどーした?

忘れてました

ハガネに渡され たのは見たこともないデザイン、 作 りの革製品

確かに、 重さ的には短剣が収まってるんだろうけど

料理だとか解体用 の鋭いナイフとかだと布に包んでたり するけど

短剣はけっこう雑に使うからズボンの帯に挟んでただけだったりす

るんだけどな

なんか柄も凄いことになってるし

なんだろ?

紐で編み上げてるような?

なんかすごいのきたねー

ていうかこれ 抜け ない けどどうすんの、 振り回しても抜けないけ

?

やりすぎた

なんか予想外のとこでやりすぎた

これはあれだ゛スナップボタン゛はないんだ

鋲に見えてるのかな?

「えーっと、アルケさん落ち着いて?

それちょっとここに置いてみて」

素直に置いてもらいました

それで、ここをね」

体で本体抑えてうにょー んと伸ばした体 (手) でボタンのはしを持

って

って持てません

「ここ持って引っ張りあげて?」

アルケさんにお願いしてみる

ぱちん

ナニコレ

なんか外れたっ

帯になっててて抑えてたのね?

っていうか鋲じゃないの

顔くっつけてよく見るとなんか細い部品とか見える

つける時はぽっちを穴にあわせて抑えてね」

ぱちん

ぱちっ

ぱちん

ちょっとナニコレ、なんか凄いんだけど

「いや、サマサもクルスも呆れて見てないでこっち来てくっついて

見なさいよ

これ、ほら

ここの細かいのなんてドワー フの細工師が作れると思う?」

通してるけど」 見たことも聞いたこともない、 「これってハガネが作った、 ってことでいいのよね? 文献に載るようなものなら大概目を

柄の組紐も見たことないわね」 「革の鞘?このわっかはベルトにぶら下げる?

ぱちっぱちっ

ぱちん

アルケさんはひたすらスナップボタンの開け閉めしてます、 嵌った?

やっ 知られていない技術がありふれたものであるかのようにしれっと出 ちゃ つ た のがわかるからこの短い問もわかる

したことへの疑問だ

鉄砲伝来時のネジみたいなものだろうか?

あれは鉄砲本体もつくれないだろーって自慢してたらとかなんとかで

ネジだけできなかったとは思わなかったって話だっけ?

まるっきり違いすぎるか

半端にごまかしてもボロでるだろうな!

っていうかこの程度でボロでてるとなると先が思いやられるな!

いそぶっちゃけてみかたにするべきだよね!

ていうか目をのぞきこまれてる!

ここはあれだ、ぶっちゃけよう

できるだけ危険な技術に繋がりそうなことはぼかすのは前提だけど

少なくとも"魔法がない" 世界からの転移か生まれ変わりで前世?

の記憶持ちだとはぶっちゃけよう

ダマスカス鋼とかないだろーしなー

もうひとつやっちゃってるモノあるわけだし

ということでその前世、24年分の記憶

それも魔術はないかわりに技術が発達した世界の記憶を持ってい る

こと

全部見たわけじゃないけど技術格差は数百年分はあるはずなこと

こっ 数学の発展(元は魔術だしね)その他諸々がつみかさなった意識改 ちはどう見ても産業革命どころか錬金術から出た科学に化学

革とその産物

わゆる工業生産物っぽいものが皆無だし間違ってないと思う

理屈は ものでしかないこと わ かっても構造を知らない物だらけなので作れるのは簡単な

そしてそういった認識の違う物とか考え方ってのがきっかけになっ て大改革が起こりかねないとか

い方じゃなくて混乱を予想してみてるだとかいっきにまくし立て

とりあえず24年ぶんの記憶って言ったよね? わかった、 というかわかり難いことがわかった

キミは24才?

それとも0才?」

しゃべれてるし知的だしでなんとなくわかるけど、 でも違うと思う

たぶん0才のボクがほんとうのボク

から名前をとったよ アルケさんに初めて名乗ろうとした時、 記憶の名前じゃなくてそこ

この持つでするこうが、これの

怖いけど、 その時にも身体に心がひっぱられる感じがして記憶とか無くすのが でも違うっておもいが強かったんだ

言葉が通じてるのはなんでだかわかんないけど」

それ以外にいろいろ生活とかなんだかんの思い出もあるんだけどね でも今のボクとは別の自分のことみたいな感じ」 24年ぶ んの記憶って言うのも今だと暗記した技術書?

そういうのとは別に吸収解析分離生成とか反則技すぎるってのもあ

るか

きない以上作ることができないとかね たとえば機械式時計はわかるしなんとなく造りもわかるけど設計で

いかな 歯車はわかるけど、歯車つくってうまく動くか?のほうがわかりよ

こっちのボクが解析したなら別なんだろうけど

ったから油断したなー といってもスナップボタンぐらいの構造だとちょっと試せばOKだ

「そういえばそっちも疑問なのよね

つもり

なんか出てくるのは見たからそのまま取り込めてるってのもわかる

解析だとか分解だとかは言葉そのままの意味?

なんとなくわかるんだけど」

0話 あらためて能力解説

説明できるかもわかんないけど話してみる まだ全部わかっ たとかじゃ ない んだけど

まず吸収

これは体が触れて一群の塊だと認識できれば、 包み込まなくても0

K み たい

てこと わかりやすく言うと、斧だと木の柄をさわれば斧全部取り込めるっ

らいならそのまま取り込めるみたい 材質の違う部分とかお構い なし、 その斧についてる汚れとか錆びぐ

何かに食い込んだ斧、 て感じ ってことになるとその何か以外は取り込める

そして吸収したものは体の中にあるようなないような?

どう考えてもどこか別のとこに送られてる、異空間?

とりあえず取り込んだときのままの状態で保存されてるみたい

次に解析

これは斧だと柄が木だとか刃が金属とかはすぐに

柄の木の種類とか材質見てもわからない から硬い木だっ た事がわか

るぐらい、元と同じ植物があるのかわかんない しね

金属の方はもう少しわかりやすい

たとえば鉄とアルミの塊があったとしたら、 どっちが何かってのは

すぐわかる

アルミはたぶん存在してないと思うけど、 天然モノが手に入れ ば な

んとかなるかも

りふれてて色とか重さの感じの違いってのが結構あるから、 金銀

銅もいけるかな?真鍮とかブロンズも大丈夫だろうし んだけど 元の趣味の記憶の影響でなんとなくいろいろわかるようなのが多い

分解

これはかなりややこしい事になるかも

たい 斧を柄と刃にわけるとかでなしに分子レベル原子レベルでできるみ

たぶんね

理解できて意識できればその先もいけるみたいなんだけどね

そこまで踏み込めたらほんとに゛錬金術゛ も成立するかな

ここまで細かい分解はさっきの解析に次の生成ともセット

一個づつどうにかできなくもないけどもっとこうぶわーってやって

るってのがホントのとこ

なんていうかな

インスタントコーヒー の粉に混ざった粉ミルクの粒をさくっとより

分けられたり

砂糖とかを好みの配分で均一に混ぜ込めたりって感じ?

それぞれを更に分解して別物にするのは, 理解が追いつかない

" できないけど

生成

って改めて書くけど

そういう物をさらに変質させて塊にしたりとかもできる

木を炭にしたり炭から炭素を分離していろいろくっ つけたりっ ての

は前にも言ったかな

特に燃や したり酸化させたりっていうんじゃ ない んだけどね

N

けど 傾斜素材 人が聞けば反則だっ もの Kだし均一 に混ぜるのが困難なものでも混ぜれるし て怒るよね、 使いこなせないから意味ない

でもまぁ混ぜて固めて変質させるだけで金属素材つくったり折り返 し鍛錬の状態も再現してたり

これでも十分反則すぎるよね

そうそう、見えやすい反則だとアルケさんにわたしたナイ $\dot{\mathcal{I}}$ の柄 の

紐の編みこみ

あれって編みこんだ状態で生成 した ひも状のもの、 なので末端がな

というか結び目がないというか?

こういうののほうがわかりよいかな?

い事考えなくても大雑把でもしゃ れにならないもの作れるよー

かんじです

なんか難し く説明してみたっ

けど結局" イメージできるかどうか, がポイントみたい

ちな がた、 ドラゴンの ウロコは" ドラゴンのウロコ"としてしかど

うにも把握できなかったけど

変形は可能な のが分かりましたよ

素材としてどうなん?てのがあるけど、 とりあえず糸と板は作って

みた

板の形変えれば ドラゴン のウロコ の剣とかになるけどそうい う

てやっ て かな?

小難 せつ めい されたっ

要は、 るということね わかんないことがわかっ なんでもかんでも取り込めてイメージできればなんでも作れ たのでいい事にする

そもそも"ドラゴンのウロコ" んじゃない? というか。 ドラゴンのウロコ, なんて王室の宝物庫とかにしかない の剣は気になる

物としてはどうなんだろう

魔法が効果なくて傷つく事がないということはとても硬いけどしな

やかで?

「板ちょっと貸して?」

ってことで30cm物差し状態にしたもの出してみる ウロコー枚からだと大体このぐらいだし、 ひとりで弄っててもげんかいあるよね これも板といえるし

なるほどねぇ

エメラルドのそれを受け取るとほのかに光り始める

物自体はとても軽い、 角の感じからすると研ぎあげれば刃にはなり

そうだけど

軽すぎて剣には無理ね

それに弾力もかなりあるみたい、 軽く振るだけで揺れてるし

んーちょっと集中、より一層輝き始めたね

ってことはこれ魔力に反応してるのかな?

魔法の効果がないんじゃなくて、 むちゃくちゃ通りがよくて魔法を

吸収しちゃってるってことか?

おもむろに地面に突き刺して

「 ファ イアボー ル」

分かりやすい火系初級攻撃魔法の定番を打ち込んでみる

ぼすん

着弾した瞬間に吸い込まれてる感じですね

輝きも少し増したような?

「ファイアボール」×5

ぼすぅーーーーん

一気に5個のファイアボール連続投射もあっさり吸収

ひかってる感じも強くなってるね

今ファイアボール 6個分の魔力を貯めてることになるわけか

光ってるってことはある程度放出してるってことだし、 どのぐらい

持つのかな?

質問攻めだったクルスさんだけでなしにサマー サさんも, ドラゴン

のウロコ"に釘付けですね

なのでナイフの切れ味とか試してもらおうかな? アルケさんはまだぱちぱちやってました

あえず何回か話題に出した斧、 ゴブリンの粗雑な感じのブツだ

ったので

材質ごとに分けて固めて置いたやつから木を取り出してみる

木、なんだけど木の柄そのものじゃなくて

年輪のある状態の木をそのままイメージしつつくっつけたらできち

ゃいました?

というありえない状態の木のキューブ

どうありえないかというと、上下は置いといて

面に平行にスライスすると完璧な柾目かつるつるの合板が取れると

いうもの

つん、板目がとれないんだ

分かりやすく言うと2種類の色紙を積み重ねて層にしたものを固め

たキューブ

4面は縞がきれ いに取れるけど2面は積層がはがれた状態?良くで

きた合板?

つまり年輪が輪になってないということ

生成する時に年輪の曲線に思い至らなかった結果なんだけどね

ということなんだけどこれを削ってもらっても切れ味は分かりにく

いかな?

なので適当に作った紙も10枚ほど出してみる

木の繊維と白っぽい石の粉を混ぜて作って置いたもの

重曹とかないから強引にこねこねのイメージで、 あってもイメージ

すればできるはずだしいいかな?

っていうか重曹ほしいよね、 塩水の電気分解とかイメー ジで作れる

かな?

塩素に水素も出来るからべ んりだと思うんだけどなー

分子どうこう弄るってのけっこう大変というか

カーボンのほうはくっつき方だけなのでどうにかなっ たっぽい んだ

けどこっちはしんどそうだし

準備終了なのでアルケさんに声かけてナイフを抜いてもらう

いや、なんかね

ってます このぱちっていうのとかぱちんっていうのの感覚って楽しいよね? なんかクルスとサマサは向こうにいっっ たみたいだけどひたすらや

ぱちっ

ぱちん

ぱちっ

ぱちん

こっちきてナイフ抜いてこれ試しに切ってみて!」 「アルケさんいいかなー

ハガネにおよばれしましたよ

ぱちっ

もう私のものだしいつでもできるしね

またなんか変なもの出してるね、 技術がどーとか意識が一とかわか

ってんのかしら?

釘さすのは後でいいかな、 何が違うのかなんてまだ分かってないか

もしれないし

って試し切りね、その薄いの切ればいいと

「なんじゃこりゃぁーーーー」

サマサもジト目だわ どこのおっさんですか?ていう目でクルスが見てる ハガネがぷるぷるしながら後ずさってますよ? とかいいながら興奮のあまりぶんまわす 「いいからこれ見なさい」

「うぉーたー」

ばさー

サマサですか?水ぶっかけられました

いきなり頭から水とか酷くないですか?

、 , , ず , ず

かき・ん

濡らしておいて氷結とかしゃれなりませんよちょっとやめなさいやめてください

頭ひえまして?」

61 木の台にサクッっとナイフ突き立てかまどへ解凍というかあっ や冷えるどころじゃ ないです冷えすぎです凍りますよ たま

さくっと刀身全部、 根元まで木に刺さっちゃ ってます

ナイフ、振り回しちゃダメですよ?

そういやアルケさんの右手、正確には右手首だけどドラゴン混じっ

てるから力とか半端ないのかも

試し切りはクルスさんにお願い した方がよかったかな

クルスさんは 騒動終わったと見たのか"ドラゴンのウロコの板" に

戻ってますね

なんか光ってるけどまたなにかしてるのかな?

サマーサさん の方は一、 紙をおそるおそる撫でたりめくってますね?

紙とか珍しいのかな?

本の虫みたいな発言あっ たからそれなりにあるとはふんだんだけど

羊皮紙だけってことはないだろうしパピルスのレベルでもないと思

ったんだけど

白っぽいいのが珍しかったかな?

木の繊維モコモコにして石粉まぜて押し固めただけようなものなの

でけっこうもっさりしてる

牛乳パックふやかして作る紙みたいなので、 漂白したわけじゃ

から薄いベージュぐらいの色

できるだけコピー 用紙っぽくがんばっては見たけど

街まで時間ありそうだしその間にいろいろ見せたり感想聞 隠すつもりだけどボロ出るぐらいなら出しておいて隠してもらおう に方針切り替えてます、 さっきぶっちゃけた時に決 めまし

合わせとこう

こっちのことよく知ってる方が隠すのに都合いいだろうし

ぶれぶれですね?

あとはなー

この世界知らないままで一人でどうにかなるとは思えないし

お世話になること確定だし

装備とか充実してもらった方がよさそうだからちょっと凄いもの作

る予定だし

最も優先順位はアルケさんの服だけどね

そのアルケさんは毛布引っ張り出してくるまってますね、 寝るのか

な?

クルスさんも準備してますね

「サマーサさん?

みんな寝る準備してますよ」

「サマサでいいわよ、皆そうよんでるでしょ?

それにしても、常識の差でいいのかしら

言葉の端々に突っ込みいれたくて仕方なかったわ

半分分からない言葉だったのだけど、 それでもなんとなくわかるよ

うな

こういうのもどかしいわ

なんていうかなー「サマサさん

ボク 精霊も神さまも、 ゴブリンもいないしドラゴンだっていな の方は魔法がない世界の記憶っ 存在を証明されてな て l1 つ たけど

そういうのは全部宗教だとかおとぎ話の中のこと」

いうか なんていうかな、 剣や槍とか盾、 そのまま残ってるものは伝統工芸の装飾が多いと 重装備の鎧とかはまったく ないわけじゃ ない けど

当しなくはな 盾にかんしては機動隊とか使ってるし鎧も防弾チョッキあたり そういうのは いかな ずいぶん違う物になっ てるというか」 が該

槍と盾の発展 るみたいなんだけどね こっちの世界だと重装備しても魔法陣組み込んで負荷軽減とかして した先は戦車っていうほうがい しし のかもし h な l1 けど

少なくとも障壁?バリヤー の辺まだ把握してないのでよくわかんない ?そういうのもあるみた けど 61

うでしょうね それだけ そういえば数百年分は差があるとか言ってた の間進化し続けたもの、 それを知ってるだけでずいぶ わね

出ることはまずないわ 国の研究機関だとその中では公開されたりはあるけど、 研究してる人はいっぱい そう、 魔法はほとんど進化してないといっ いるけど、 公開する人はほとんどい て l1 L1 か じら それが外 な 61 に しね

昔はあったのがわかってるけど、 使える人がい なくなってる魔法 も

私も寝る準備、 ガネも連れてきて間に挟んで横になる 毛布を引っ張り出してア ル ケの隣でクルスの反対側 ^

サマサさん、見張りとかいいの?」

あと、あれもあるし」 この地でなら精霊が私かクルスを起こしてくれるわ

あのあと魔法使った様子はないからファイアボール6個分でまだ光 ってるってことかな まだぼんやり輝いてる゛ドラゴンのウロコの板゛を指差す

明かりにはちょっと不足だけど、魔よけになるそうだし大丈夫

不安がないというより寂しくないんです 木の台の上にあってナイフで縫いとめられちゃったやつ」 「さっき、紙をなんかいろいろ撫でてたけど いろいろ出してみて気味悪がられてないってのもあるしね 一人だとそうだったっかも、 いまはとってもあんしん」

ずいぶん白くて薄かったから ちなみに、紙はちゃんとあるわ 街をゆっくり案内してからの方がいいかもしれないわね あぁ、 ろいろ作るのはいいけど あれやっぱり紙でい l1 のよね

えっと、穴空いてるのとは別にもう一枚?一応アルケさんの服はどうにかするつもり「やっぱりそうだよね

これはデザインとかどうなのかなー てみるつもり」 つ てのがあるけどとりあえず作

「あと武器とかちょっとだけ

ないかも クルスさんの剣とアルケさんに渡したナイフだけでい のなら作ら

でも思いついてるものあるから作ってみる」

この森のなかならいらないでしょうね

その後は普通に竜も魔物もでる可能性あるところ通るからあっ た方

がいいかもしれないわ

ルケがもともと着てた革鎧とかなくなってるし」

ここでいう竜は大型爬虫類のこと、まったくただの野生動物 の範 疇

厄介なことに肉食種以外でも攻撃力や防御力が飛びぬけているので

面倒なのであいたくない

いろいろ聞きたいことだらけだけど、 もう寝ましょうか

おやすみなさい」

おやすみなさいはしたものの眠くはないのよね

なので思いついてるものを作る準備しておこうとおもいますよ

まずは革鎧の山の整理

取り込むときに革鎧っぽい くっ ついては いない し臭そうなものとか全部分離 ものだけをひとまとめに たかたまり

この中にアル ケさん のも混ざってると思うんだけどよくわかりません

パーツでバラバラにしちゃってるし

っそのことキレイな革として生成しなおし たほうがい 11 かな?

革紐だとかベルトもいくつかとりわけて

留め金とかも適当に黒鋼から作っておく

次に布とか紐っぽいもの

大量に回収した死体だとかが着てたものとかね

剣士とかの服も再利用するよー

血のりだとか汗シミ垢とか汚れは分離できるし

クリー ニング店したら大もうけできそうじゃな ĺ١ ?

遺品というけど物がないんだからもったいない精神で

服や布をそのまま再生でなしに繊維にして織りなおしをイメー

たほうがいいか

カーボンとかウロコの糸も混ぜたの 作っ ておこう

素材はとりあえずこんなものかな?

作品一つ目、ウェストポーチ

ボクがすっぽり入れる大きさの物

この先、馬で移動とか絶対あるし

どうやって乗るかわからないしね

歩きの移動でも街中だと踏まれたりするんじゃ な 61 かな?

するよね?ってことで絶対作るつもりだったし

作品二つ目、小型ショベル

短剣をナイフ にしちゃっ たからってのもあるんだけど

よくある短剣 の使い方で穴掘りとかあると思うのよね

短剣作り直すのもい いんだけど穴掘りは専用 の 物 のほうがやりやす

いしね

折りたたみとかはなしで頑丈にしており

作品三つ目、紙いろいろ

木とか草もいろいろ取り込んでたのでそれぞれで試してみた

ドラゴンの巣大掃除で大量にあるのよね

樹皮やら葉っぱで作ったのは香りがいいみたいなのでアレに使える

かな?

香りがいい のは煮たりアルカリ処理しないことの副産物?

作品四つ目、革鎧

一応革ジャケットっぽいのがあったから脇繰り広げて余裕もたせて

胴まわりはベルトで絞めれるようにして

金属プレート固定したのを作ってみた

ろいろ整理しながら作ってみたりしてるけど既にとんでもない量

取り込んでるのよね

ドラゴンンの巣にあっ た倒木がいっぱいとか、 なんか岩盤ごっそり

何トンあるのとか

意識しないようにしてるけど生肉いろいろとか!

なんだろーね

めんどくさいから寝ちゃていいかな

すがすがしい 朝

サマサとクルスがくっついてるのもよくあること 一番に寝たぶん最初に目がさめるのも当然か

なんか重いのはハガネが胸に乗ってるからね

二人はともかくこの子は起こさなきゃ仕方ないか

体起こして膝の上に置きなおす

おはよ、 起きれるかな?」

んあ おはよー あるけさん」

なんか久々の安眠?

安心感はんぱないです

記憶の方でも添い寝なんていつのことっていうかよくわからんですね

それがいまおもいっきり囲まれてたわけですよ

まってるし 二人ともくっつくのが早いね、 「ちょっと寝ぼけてるね、 ごめんだけど降りてもらっていいかな」 起き上がった後もう寝るスペー

ハガネはクルスとサマサの間に押し込んで挟んどく

「ちょっとお花摘みー」

別に言わなくていいんだけど、 ていうかこの言い方通じる?

お花摘み?いってらっしゃ

お花摘み!同じ表現ならさっそくアレの出番かっ

気に目がさめましたよっ

想像するのも気まずいのでほかのことしよう ついていって説明はまずいよね、気づくのにまかせるというか 小型ショベルと樹皮の紙3枚渡す アルケさんこれもってって」

やないかな 溜め込んである岩だとかイメージでひっくり返して金を探してみる いろいろ使えるのもあるし、たぶん金貨とかでもつかわれてるんじ

整理し始めるときりがないーあって困ることないとおもうしね

的確に把握されたようね、なんか恥ずかしい

なんかいい香りね?で、この紙だけどまさかねぇ

ナニの描写はないわ

くんかくんか

香り付き?

うしん 街だとふぃんがーとかロープとかなんというか こういう用途にこだわりの一品とかどういう世界? 郊外だと葉っぱはかんたんに手に入るしねぇ こういうとこだと木の葉なんだけどさー

描写はカットよっとりあえず一枚使ってみる

ほわ~

やらかいって l1 わね

桑の木があってまだ実が残ってたのはついてるわね

紙で包める分つんで帰ると二人はもうおきてお湯沸かしてくれてた

昨日のナイフはまだ木の台に刺さったまま

こっちの紙とは感じが違うわね

そういうのは置いといて

引っこ抜いて黒パン切り分けますか

それにしてもこんな縞模様の鉄って見たことないわ

にしてもよく切れるわねぇ

短剣のかわりにくれたのがこれで、 お花摘みでショベルもくれたか

らもうけ?

ショベルの方も先端はともかく横の片方に波刃

反対も研いであるから斧とかの用途にもなるってことか

出発前にお花摘みには行かせるから紙と一緒にわたしときますか 驚いてるな、 やっぱり

朝食もお花摘みもさっさと終わらせて荷物積 hで後始末つけて出発

ハガネは馬のせてくくりつけるしかないか

地面跳ねて移動だと踏まれる危険おおきいし ね 追い つけない

ってのもある

とか思ってたけど専用カバンが出てきましたよ

準備いいですね

こ のあた りは高低差や障害物が少ないのは行きでわかってたので馬

に乗って移動

途中に1回休憩いれて半日で移動は終わり

川岸についたのもあるけど馬にもちゃんと水やったりとかあるからね

二日つなぎっぱなしなのもあるから様子見なのもある

枝が大きく張り出してる木があるので天幕はなくてい か

サマサは早々に鍋を出して煮始めてる

クルスは一回りしてくるといって森へ

ハガネは川原のほうに降りてるのか、 はまらないように見てるべき?

少し下流で魚取れるか見てればいいかな

川中の岩に大石叩きつけて3匹確保

ハガネはまだなにかやってるわね

穴掘ってる?

状況が状況とはいえ着の身着のままで1週間

ここは一つお風呂イベントという魂の声が聞 こえますよ

そういえばお風呂の習慣はあるんだろうか

体洗ってから浸かるとか以前に1週間ぶんの汚れだよね

掛け流しになるようにしとかないとダメかな

熱源はアルケさんの「 **|** チ」をあてにしてるけどお湯つくる魔法

とかあるんだろうか?

川から引き込む溝に3人つかれる湯船、 溢れたお湯が溜まるところ

付けとけばいいかな

かってに川に戻るだろうけど

とりあえず着地点を吸収、で掘削作業

大きめにあけて岩で作り上げた湯船を排出、 いきなり体の何十倍の

物が出るのは未だに慣れませんね

立てた土管みたいな石も設置、これの中で燃やして熱源予定

一応二重管で送風できるようにはしておく、 魔法だと不要かもしれ

ないけど

先に水はっといた方がいいかな?

あ、アルケさんだ

「いいとこに、トーチつかってー」

つ ん

川から水ひきこんで池?

何?あの石の筒の中に「トーチ」?焼くの?

焼いた石でお湯に?

結構な量ね、んじゃ全力で

「トーチ!!」

ごし

じゅおー

ごぅあーーーーー

確かに石の管の中に火が立ち上った

それはすぐに石管を溶かし水を一瞬で蒸発させ風呂桶本体の表面を

融解させる

火柱の直径 6 m、 高さは20mは超える巨大な火柱

吹き上げた水蒸気が雲になって立ち上る

周りの空気を吸い込み、 吸い上げより高く大きく炎がまう炎の竜巻

と化す

小枝や草の切れ端などどんどん吸われて燃えている

火柱がキノコ雲が竜巻が

お風呂なのにお風呂が噴火みたいにって

「いやーすわれるー

アルケさんとめてー とめてー」

ばこーん

· ナニヤッテマスカ」

ハガネとアルケさんがなんかやり始めたから様子見てたけど魔法実

験 ?

小さい池の中央に火柱?

その上昇気流にのせて水蒸気の流れを一気に作り、 更に大きな流れに

火柱も巨大化させ巻き込む空気の流れも大きくしてされに膨れ上が

らせる?

流れさえできれば注ぎ込む魔力なしに可燃物すべて燃やし尽くす炎

の竜巻ってとこ?

以外は使ってなかったようですけどなんかおそろしいこ

とになってますわよ

ってクルスいつの間に、 危ないから剣はしまいなさいな

アルケとハガネまとめて説教中 の火をとめたけど、 もうもうと水蒸気が立ち上ってい

何 ? 「 んていうか、 チ」だけでこうなった?風呂?それが魔法を巨大化させ 後先なしにいろいろやるのはまずいと思うよ

うーん、 まずくない? 森の中からあわて 実験するにしても少しずつ規模大きくするとかじゃ て駆けつけてきたらこれだから

あぁサマサ、ご飯ぬきはちょっとまずい 止めるのおそかったら八ガネ吸い込まれ て た んじゃ ない

こういう野外でその手の体罰は命取りにな ん?アルケ何?ハガネにいわれたとおりにやった? りか ね な 61 ょ

まで0才なんだよ? いくら24年の記憶だとか凄いもの作り出してるとかあってもあく 「元凶がハガネだったとしてもそれを止めるのは我 々だと思うが」

あ ふるえてるハ せ やまぁその前に魔力上がってるの分かってたけど ていうか「トーチ」 んなことになるなんてさっぱり思いませんですよ? 怒られるのもわかるしというかまずかったのも分かるけど ガネを膝の上に抱えて説教くらいタイム が炎の竜巻になるって思うわけ な

ゴハン抜きが免れ 着にも穴あ いちゃっ たけど戦利品 てるな、 なんかせくしー (魚×3) が吸い 込まれた

それだって最

初の火柱程度なんだよ?

第12話 (後書き)

理由) ハードすぎなのを緩和二週間を1週間に変更

何とか開放されてゴハン中

米と豆と干し肉の煮込みを食べてます、 クルスが戦利品の木の実、桑とか木苺にキノコを少し 肉多めなのはい

とかかぼすとか言ってたような? キノコのほうは小枝にさして炙って即胃袋へ、 ハガネがしょ ゆだ

獣はいるけどあえてとってこなかったみたい、 ドラゴンとその龍脈のおかげじゃないか、見たいなこといっ らとってくるって この森は魔物いなくてけっこう食べれるもの多い森らし もう少し下流にいた てた

平和な森っていいわよねー

かまどの燠火眺めながらお茶をちびちび、 お酒を少したらしてある

のもいい感じ

川のせせらぎがBGM

特に会話なくてもいいんだけど

「さっきのことだけどさ」

と話振っていく、たぶん二人も何か影響あったと思うのよね

改めて魔力が上がってる話をして

右手じゃなしに左手だとどう?って言われて試してみる

結果、トーチとしては10倍ぐらい?

でも右手はこの100倍はあるだろうと

何度か試したけどだいたい同じような結果なので

ドラゴン化してる右手が魔法を100倍にしてるんじゃ

小枝の火みたいなものが火柱だからね!

ガネの仕掛けでさらに凄いことになってたけど

それも一度に複数起動で継続的に」 でね、 二人とも何時間も全力で魔法使い続けてたのよね

魔法ほど修行がモノをいう技能はないと思う

剣術や体そのもの の鍛錬はどうしても素質がものを言う

というか才能なければ頭打ちになるのが早い

魔法だって才能による差はあるし、その差は顕著ではあるけれど

才能が頭打ちになるところまで修行 (使い続ける) できるなんてま

ずない

簡単に使えるかどうか、 の差はあるけど極限まで使うことが難し

んだ

回復魔法に優れるものが希少なのはここにある

もちろん、 精霊の助けや神の恵みなんて別枠はあるんだけど

つまり、 二人は精霊の助けで極限を超えた魔法の使用を続けたとい

うこと

あの時使っていた魔法の力が飛躍的に伸びている可能性があること

ひょっとしたら精霊や地脈との感応力も上がっ ているのでは

・ということでちょっと試してみない?」

アルケさんに魔法のことで指摘されましたわ

なんかくやしい

でもありえる話なのよね

回復魔法は使う機会がなさ過ぎというか大けがほど専門の人に任せ

るしね

命かけて育てるとかそんな余裕ないし

強化魔法にしても人の限度超えてかけたら潰れるし

障壁ですらあ の時かけてたようなのなんてありえない

ろいろやってたっけ そういえば隠行してたスカウト (アサシン) 探すのに探知だとかい

けを借りて んー 魔法の採知「ディテクト」 だけでダメだったから水の精霊 の 助

その目で見る感じのをお願いを組み上げて、 これってオリジナル の

精霊魔法といって

いいのかしら

ウンディーネ・ ディテクト」?「エレメンタル・ディテクト」 の

精霊魔法の名前は精霊との間でわかればなんでもい 方がいいかな? 61 んだけど、 呪

文で発動させるわけではないし

必ずしも水の精霊だけだったわけじゃないし「 エレメンタル・ディ

テクト」にしましょう

では、ためしに

「エレメンタル・ディテクト」

サマサが呟く と同時に精霊が集まり始めるのが見える

"精霊が見える"ってだけで異常だわ!

濃い土地とは いえ、 せいぜい気配を感じるぐらいで

見えたり会話したりなんてありえないのに

サマサやクルスみたいに元々感応力が高いなら見えることもあるら

しいけど

私みたいな一般人には無理なのに!

ってドラゴン わね の 血 の可能性はあるか、 龍脈 の上でもあるし わかんな

これは凄い

サマサともともと繋がりやすかった水の精霊だけじゃ ないね

も少しいるみたい アルケが盛大に焚き上げたからかここにあまりいなかった火の精霊 地 の草木と大地の精霊たちも集まってるし風 の精霊 もいる ゎ

ていうか同胞というか んーもともとすべての精霊と交渉しやすいっ ていうか愛されてるっ

精霊がいるのがわかりすぎるから巻き込んじゃう攻撃魔法が使い くかっただと か に

その代わりに回復とか強化はか ってに助けてく れ て たんだけど

こんなに観える" っていうのはなかったわねぇ

それにサマサがやってることもわかるわね

私もこの状態で魔法つかったら森ぜんぶにかかりそうだわ、 精霊の目を通して全てを見るってやりすぎだと思うけど なにし

ろサマサが交渉してる精霊全部観えてるから

エレメンタル ・ディテクト」

意識 しただけで全てが見える

いつもの「ディテクト」みたい に 5 0 mぐらい見るつもりで周りの

森を見ようとしたのだけど

周りの森のすべてが見えてますわ、 生えてる木々や倒木どころか草

目で見て回ってるのと同じことを森全部同時に見るって容量こえま

も全部

って桑の実発見

すわ

意識 したら森中の桑の木マップが う

今熟れごろなのはどれだとかこっちは来年食べに来てねっ て

桑の木と会話 してますか?

あなたたち食べられてい の ?

食べてもらっ たらプー で移動できるっ

ろそうし てもらい た 61 のね

ああなるほど、言われればわかるわ

はいいいけど木の葉とか摘むのは、 つ て早いか遅いかだけのこ

ے ?

木を切ったりとかも?

焼き払われる のはさすがにってそれも限度内はOK、 む しろ次に替

わるからいいのね

ええアルケさ んにはほどほどにするように言っとく わ

やっぱり獣は いるのね、 何?強く意識すると驚く?

彼らにとってはそういう感じなのねってなんかお肉たべづらい わね

う—ん食って食われて?

無茶に狩りまくらなければいいってこと?

あぁ狼とか熊もいるのね、 それらの食事と同じになるわけね

ん?何?

ここに行けばいいの?

あぁ 明日のキャ ンプ場所のお勧め?そ の側の倒木の下?

少し手前にハー ブ群生地もあるのね?

さすがに疲れますわーって、見たいものを意識すれば全部見せるこ

とはないですって

なるほどー、そういうことになるのね

探したいもの の近くにいる精霊がその目で見て教えてくれるのね

めりがと次そうしますわ

サマサさん撃沈

急にぼーっと遠くを見てるかんじになってしばらくしたらこてんて

横になりました

ボクの上なんですけどね

やまー 気絶とかじゃ ない みたいでぽわーってしてるだけみたい で

すけど

つ アルケさんがすごかっ てったんだろう? たねー精霊見えるなんてはじめて、 でも何や

つ してくれた ていったらクルスさんには" 何やったか観えてた"らしくて解説

サマサさんが何を見てたのかまではわからないみたいだけど、

森全体見てたみたいとか言ってた かなりありえないそうです

うん、

ちなみに"他人と精霊が何をしてるのかを観てわかる" えないそうですよ、 よくわかんないけど とかもあり

わーっとしたままですね サマサさんはまだぐった りしてます、 というかボクに抱きつい てぽ

アルケさん はそんなサマサさんの頭撫でてますね、 クルスさんはー

アルケさんみて真っ赤になってますね?

ん?アルケさんみてるというかその胸元?

お好きですね?

クルスさんに注目してるのばれました

「ちがっ ていうか服作るんじゃなかったの?

ただでさえ下着なのに穴増えてるし

ハガネはわけわからないもの作る前にこっちどうにかしなさい」

何かとばっちりです、 うん元凶と言われてひていできないけどとば

っちりです

見られてたアルケさんは一

見せつけてますね?

手で挟んでぷるぷるしてますよ?

位置的に正面からは見えませんが脇腹の穴から下のぽよぽよが挟ま

ださい て目の前に何かありますねって あぶないですこわいです クルスさん剣突きつけるのやめてく

機です まだぷるぷるしてるアルケさん呼んで革ジャケッ ト渡します命の危

アルケさんとりあえずこれ

ってクルスさん刺さってますよ?」

取り込むつもりがないのでぐぐーっと押し込まれてますね、 剣先が

ろいろ手を加えてみました」 サイズとか わか h ない のでキレイそうなジャケッ トを元にし て L١

なんていうか革ジャン?っぽいものの裏地にカーボンとウロコ込み の極太糸で編んだ特製荒布の裏地つけて

全体をベルト4本で絞めれるようにしてありますよ

なるかな? ベルトのほうは特製荒布を挟み込んであるのでこれだけで十分鎧に

あと両肩というか二の腕に黒鋼のプレ してあるのでワイルドです トを白鋼のスパイクで鋲止

とかい ちょっとちいさい ながらベルト締めてますね かなー

というかベルト締めたらばいーんてなってますよ、 肩周り、 腕周りは大丈夫そうなんだけど胸が収まらないみた 二番目のベ

もしめてくださいよって抜いてるし

この三本で絞めてちょうどい いかなー

なちゅらるなぷるぷるがばいんどされてばい んてきょうちょうさ

てますね

たままなのでえらいことになってますね

うにうにしてますねー ぽわぽわあらためばい サマサさん起きたと思っ たらアルケさんにダイブっ んに顔うずめてますねー

クルスさん羨ましそう

は無防備じゃないですか と思ったけど第二ベルト抜いちゃってるってことはぷるぷるの部分 革とかベルトのバックル痛くないのかな?

第一と第三、第四しめてるので余計強調されてますね 黒革だとボンデー ジになるなこれ

爆発とかあってお風呂イベントどころじゃなかったですよ しばらく続きそうなのでお風呂のほうの後始末しときますか

ってるみたいですけど っていうかオブシディアンになってるみたいね 川から水引き込んでる石製U字溝は顕在、 水量まだ十分な感じですか ちょっと溶岩落ちて埋ま

一回水止めてチェックしたほうがいいかな
湯船の石の温度はさわれるぐらいか
湯船のほうもずいぶん変質してるような感じ
湯船のほうもずいぶん変質してるような感じ

U字溝に石はめてお湯は取り込めるか

うんいけるね、 で底全体オブシディアンになってる の

でこぼことか尖ってるところを取り込んで滑らかに

取り込んだ物も熱はそのままっぽいか

新たな発見ですねー

湯船が十分な温度あるしお湯もどして流れ込む水量加減

感じになりそう

つーんもっ たいない

時間あるし呼んでみますか

木で イスと桶 つくって置い て脱衣用のカゴもあ ったほうが か

タオルは荒布と厚布裁断 たやつの二種類でい かな?

結局サマサと クル スに抱きつかれてたらハガネが呼びにきまし たよ

着替えとかは聞かれ たけどみんな着てるのだけだし

気づいたけどハガネって飛び跳 ねてる時はしゃ べらない の って

いうか余裕無い?

であったときも移動は苦手そうだったわね

でまぁさっきの現場に着いたわけだけども

お風呂?温泉?

魔法の効果増強させるものじゃないんだ

あぁ温泉なら覚えがあるな、 出身の 村 の近くに温泉が沸い てる村あ

ったし

湯治っ て いっ たっけ、 大怪我し た人を荷台に乗せて半年ほどでそこ

そこ歩けるぐらいになって帰ってきてたな

とりあえずお湯に浸かるんだったかな? 田舎になると対応できる回復魔法使いなんてい ないからね

うん体とねー、おしり?簡単でいいからざばーって までお湯に浸かって見て」 かけたらこっち、 んでねー、 服全部脱いでこっちでとりあえずお湯かけて 湯船っていうけどこのなかはいってとりあえず腰

ゆっくり浸かるなら腰までがお勧めかなー」「慣れたら肩まで浸かるときもちいかも

ってアルケさんはあっさり脱いでざぱーってかぶってお湯に浸かっ 何もないところで全部脱ぐなんて恥ずかしいわね さっき探知したから私たち以外いないのわかってるけど

全裸になってるけど、木の桶まじまじと見てますね クルスはってこれはこれで

てますね

羞恥より興味の方が勝ちましたか でもこの木はなんか惹かれますわねぇ、 お湯につけるとい い香りね

ざぱー

う 浮かべた桶に顔ちかづけるだけでいい香りがしてますね お湯の中のほうが隠せるからすぐ入って、 ルスにも聞いてみる 朝もあったような? 桶持ったままですけど

お花摘みのときもらったのと同じ匂い」

だし ということは神木みたいなものなのね、 ハガネ曰く、 ドラゴンの巣の大掃除で大量にもらってきたそうで 龍脈の大元に生えてたわけ

どうり まだ で包んでた桑の実とかがさっき見たときでもみずみずし

そんなこと呟いてたら

「ん?あの紙そんな凄いものなの?

お花摘みに渡したから察してくれたと思ったけど」

やわらかいしいい香りだしでクセになるわー ぷかぷか浮かべて気持ちよさそうね、 かいってますよこの女 飛び込みたいわ 明日もちょうだいねと

ていうかお花摘みで使ったのね

ハガネのほうはぷかぷか浮いたまま浮き沈み?

頷いてるつもり?

何?いい香りの紙ができたから使ってもらおうと思ったって?

に紙つかうってありえないわ木のヘラとか縄とか葉っぱとか 指も最終手段よっていうかそれしかないとこだって多いんだし

ハガネの記憶の世界でも紙は半分ぐらいで葉っぱにヘラとか縄に指

なのね

それでもずいぶ ん差があるわね半分は紙を使い捨てるの

何?記憶の国だと紙じゃなくて噴水?冷たくないの?お湯がでるで

すって?

全部じゃ ないけどそういうのが広まってるってその言い方だと王侯

お花摘みで格差実感するとは思わなかったわ

サマサもぷかぷか浮かべ始めたわね、 おぉすごいすごい

っていうかお湯に浸かるの気持ちいいものね

汚れがふやけて落ちるだけじゃないのね、 ほんとはそとで汚れ落と

すの?

なるほど、その方が気持ちよさそうね

血行よくなる?筋肉ほぐれる?肌もつるつるすべすべに?

なんかすごいわねー、ただのお湯なのに

こっちは人目がないか気にしないかなら川で水浴びが多い かな

大勢で行かないと水棲竜種に襲われかねないから男中心ね

他だと夏場なら水で絞ったタオルでぬぐうか、 たらいの中で水かぶ

るぐらいね

そっちでも似たようなもの?

あぁ国ごとに差があるのね、 風呂は記憶の国の習慣ってことね

ん?浸かりすぎるとのぼせる?

私は大丈夫そうだけどアルケとサマサは危ない?

危ないってなにってぼーってなってるから眩暈しやすく なるって?

正確には違うけど似たもの?まぁ 61 わ気をつければい のね

それにしても気持ちいいわねぇ

腰から下がぽかぽかで川の風が冷たくて

ナニ?オサケノムトサラニキモチイイ?

おう アル ケが飛び起きてってふらっとしてますね

なるほど、のぼせるってこれか

やなに、 そういえばさ、 なにかを見てるまでは観えたんだけどね サマサっ てさっ き何見てたの?」

あぁ、 クルスさんのほうもやっぱり凄くなってるのね

「森、全部」

他人の精霊との交渉内容を把握できるってことよね

森全部を見てたのはわかってたって?

それも凄いわね、 つまり私と同じようにこの森全部の精霊見えてた

上に何をしてたか観えたわけよね

何を見たかって?

それこそ全てよ、見ようと思えばだけど

木々の位置から葉の一枚、どこに何があるのか全部

もっとも容量超えるから逆にわからないわね

その代わり、たとえば桑の木を意識したら森の中の桑の木マップが

出来上がって

桑の木が食べごろとか教えてくれたわ

そうそう、明日のキャンプ地とかも勧められたから

何かね、 そのすぐ側を調べてって言われたけど

しし わゆる上位の精霊じゃなしに下位の精霊とも話してるってことよ

ねえ

このへんになると私でもあいまいだったりするんだけどなぁ 木や草そのも のの精霊だとあんまりはっきりしないモノなんだけど

側にいて触れて語りかければいけるんだけどね

そうそう、 サマサもアルケみたいになりたくなかっ たら縁に座っと

いた方がいいわ

風、気持ちいいわよ

それにしても、お風呂って気持ちいいわね たわわな実りがちょっと目に毒だけど たぶん魔法の方も跳ね上がってるでしょうけど確認しにくいのよね 二人とも精霊との感応力が凄くなってるのはわかった

ハガネが外に出て頭に布載せてるわね

軽く擦れって?

ゴシゴシ

ゴシゴシ

ぽろ

ぽろぽろ

ゴシ

ぽろぽろ

「頭もお湯かけて軽くもんだ方がいいんだけど

慣れてないと髪の毛痛むかなぁ

精油あるといいんだけど、椿の実とかある?

種しぼった油とか」

ゴシゴシ

ぽろぽろ

こすりすぎちゃだめー.「擦りすぎちゃダメ

第15話

非常に危険ですね、 ダメといわれたらやりたくなるのはどこでも同じですか あのあと全員外でてこすこすぽろぽろやって大騒ぎ しないなぁ 事態が予測できるけど手立ての正解がはっ きり

聞ける状態じゃない ローションとかないから椿油とかでいいと思うんだけどそういうの

ひのきちおーる

けるかな あの樹皮の紙はなんか効果あったっぽいから染み込ませて叩けばい 神木とかなんとか言ってたドラゴンの巣の木から取れるかなぁ たしかそ h なんだった、 檜から取れるやつ

三人ともダウンしてますね

木の繊維まぜとこう 拭きタオルはもっとふわふわな方がい すでにヒリヒリしそうでこわいけど んー 微妙につ きくかどうかわかんない 「これで体叩 いてるのはお湯かけたほうがい くというか、 ので効かなかったらあしたは地獄ですよ」 拭っておいてね いな、 というかこれにも巣の 11 のかなぁ

ぷるぷるをむにむにどころか搾り出しますか? 背中のぬぐいっこからお約束の展開もひととうり きゃっきゃうふふたいむ再開 へぶんは光景が展開されてますよ

両手で1ぷるぷるを絞るとか危険すぎませんか?

オガムシカナイデスネ

上げたいとこだけどないしな! アルケさ んは タオル首にかけて体操してますね、 フルー ツ牛乳差し

サマサさんは髪の毛をタオルで挟んで水気取ってますね、 もう | 枚

ほどもっていってと

クルスさんは一て抱き上げてむぎゅってされましたよ

ぷるぷるとかぷるんぷるんとは無縁ですが程よい感じのプニプニで

すか、ぱふぃー

ていうかえらく興奮してますね

神木の木の香りがたまらないですか?

なんかマタタビかいだネコみたいになってますね

全身拭いてもらうのはまずいんかなー

ってイヤ イヤされても、大丈夫ならい 61 んですけど

ぎゅっとした上にほおずりきましたよ

アルケさんそろそろ助けてください

ん、助けるのはいいけど

なんていうかなぁ、服着たくないというか?

裸でいたいとかじゃなくさ」

サマサさんも頷いてますね

んーとこれはあれだ

汚れきっ た服とブー ツだからですね

なるほどなー

風呂のあと同じパンツと靴下、 それも1週間越えは超越者でないと

無理ですねワカリマス

でわっと、 ぽいのでい ふ いか かふかタオルでバスローブっぽいものをというか浴衣

時期が時期だからこれで寝てもらっ っていうか毛布もついでにやるか! となるどゲタというか雪駄ですね、 こっちは木と革でい てもOKかな、 毛布もあるからね ١١

首筋部分に神木油一滴たらしておいてあるので安眠じゃないですか てことで1セットづつ押し付けてカゴごと衣類とか回収

だけどきにしない 着方は1ってなんとなくわかるみたいですね左前とか右前とか適当

握さえすれば一瞬ですよ 実際汚れ落と 晩あれば汚れ落としい しはゴブリンの装備とかで散々やったから慣れたし把 がいにもいろいろできるね

てことでとりあえずアルケさんのから行きますか、タンクトッ プ Ó

穴もどうにかしなきゃだし

その代わりシャツつくってもう一枚着てもらおう なくなった部分はどうしようもないから少し切り詰めれば 11 かな

で作るしかな これも簡単なのでい けど いね 伸びのい い布がまだできない から大きめ

このほうが動き易そうだしね、 ろうから大丈夫なはず 脇の部分の革を外してメッ ザー ジャ ケッ トは作りたてだけどちょっと改修 シュだけにしたりとか もさもさも黒っぽくてめだたないだ

もさってます、みなさんちなみにここではそういう習慣ないみたい

ズボンはポケットのないカー ゴパンツっぽいかんじですね

厚手でわりとぶかぶかな感じ

汚れ落として裏地にカー ボンとウロコのメッシュ仕込んどくかな ソフトな素材で張替えしやすいようにしとこう

ブーツの方はハードですなー

まにあもびっくりな濃さ?

たぶんだけど

全体が革製でけっこう馴染んでる感じですが、こういうのは弄りに

くいなぁ

新しいの作っても馴染まないと足痛めるだろうし

なので汚れ落しだけですね

とりあえず型にしてベー スをカーボンとかにして鉄板とか仕込んだ

安全靴を予備に作っときますか

パンツと靴下ないですね?

習慣がないのに押し付けるのは難しいか!

次、サマサさんの

ケープでいいのかな、肩甲骨ぐらいまでのって

汚れとって裏地補強で

あとはゆったりしたシャツとズボンですね

これも手が出しようないというか、 ズボンの裏地補強ぐらいかな

靴はハイカットな感じですか

これも型保存かねてアルケさんのと同じようなの作っとこう

そして、やはり無いですか

お風呂で見た感じだと無いとけっこう大変そうなんだけどな

どうにかして作ってつけてもらおうか

予定してたものではあるしね

もちろんアンダーとウェストですよ?

そうそう紙がなんかお気に入りっぽかっ いな形で挟む手帳ぽいモノを付けとこ たからマネー クリップみた

にして 最初に見せた白い紙と神木の樹皮の方と二種類わけてはさめるよう

持たせとけばい ペンとかどういうのがあるかわからないから挟める部分つけて余裕 いか

ケープにポケットつけて入れられるようにしておこう

最後はクルスさんの

けっこうシンプルかとおもったけどこの革ジャケッ トは手を出しよ

うがないですね

なにかいろいろ仕込んである感じ

魔方陣的な何か、 保存してる魔方陣付いてる重装鎧に似たところが

あるし

靴の方も同じ感じだから汚れ取るだけでい か

なるね 型取っておいて一式作って見てもらってもい いけど今渡すと邪魔に

ほぼ汚れ落しです

んー 時間あるなー

朝になっても移動中はカバンの中だしじっ くりやってもい いかなー

なので構想だけしておいたやつ作りますか

まずは薄く延ばしたドラゴンのウロコを用意して白鋼でくるんで

一番弾力が出てる地金も伸ばして背面に置い て

さらに硬くはなったけど刃がたたなかったステンレス候補を置く せるイメージで、 これを左右から硬さだけは一番でたステンレス候補で挟んで鍛接さ 接合面は微妙に混ざり合った感じにして

ウロコと金属でこれができるってのは反則過ぎるけどはがれると困

すだけ、 鋼材のほうも先に焼入れ済み状態になってるし問題ない、 の手順じゃありえなさ過ぎるけどね ほんとは叩いて型を出すけど型に近いサイズで作ってるから切り 焼入れは刃がドラゴンのウロコだから意味ないしやめとこう 金属加工

可能なのは楽だ 刃付けは鉈っぽいかんじで鈍角にしとく、 この辺はい くらでも修正

鍛造済み ウロコがはいってるから壊れることは無いと思うんだけど使えると の素材をイメージだけでくっつけてそれっぽくし てみたけど

あとはク ルスさんの剣と同じようなグリップを作って

中にこっそり銘刻んでと

一 面 に " 胛" もう一面に" 碧龍鱗白鋼乃小太刀; まんまですね厨二

ですね

甲の字は記憶の苗字から一字とってみました、 何か のマー クっ

アルケさんにわたしたナイフと同じ編みこみして

鍔を何枚か作っておく

重さとか形とかいろいろ変えておけば重心の調整できるから

ネタで十手っぽくなるやつも入れておきましたよ

ようなも もう一組、 黒鋼とか黒っぽくなっ たステンレス候補から選んで同じ

微妙に重さとかしなり具合変わるはずだから使いよいようにしても

らおう

ちなみに, 碧龍鱗黒鋼乃小太刀"としてありますよ、 そのままですね

樹脂はまだいじってないからわかんない 鞘は神木の白木、 漆とかほしいけどそれっぽいものは見つけてないし しね

鯉口と鐺は金具で補強だけはしとこう

組紐とか帯にベルトも作っておくかな、 どう固定するのがい かわ

かんないし

そういえば革製品用のワックスもないね

蝋とかあるのかな?

蜂の巣あればそっちから作ってもいいだろうけどそういうのも見な

いなぁ

今度聞いてみるしかないね

とりあえず今回は神木油使っとこう

全部終わったらけっこう明るくなりつつあるような?

枕元にカゴにのせておいといて

湯船とか一式取り込んでおいて、埋めなくてもい しし か

というか不規則にとりこんで誤魔化しとけばい か

なさい アルケさんのとこに専用カバンおいてその中で寝ますよ、 おやすみ

念のため、それぞれの は別個に保管

第15話 (後書き)

香 料 ヒノキチオール=ヒバなどの樹木精油に含まれる成分、抗菌、 防虫

今回の神木油は他にも色々ありがたみのあるものとして扱います

ハードなのを緩和する為12話の行きの行程2週間を1週間に変更

第16話

脱ぎ履き楽だけどこういうとこで歩く靴じゃないわね 私は先に着替え手からいくかな、雪駄っていったっけ アルケさんは着たままお花摘みかしら? アルケさん ていうかこの服寝心地よすぎよねぇ、 昨日はあわててカゴごと回収してたけどどんな具合かし に起こされたのでおはようです ふかふかだし

汚れを完全に落とすというか一部色が抜けてる って予想以上ね、 やっぱり のは黙っ ておきまし

シャツとズボンのほうはさらさらして肌触りよくなってるわ 全部黒の粗い 変わった点といえばケー プと服の裏地かしら? 私たちが洗ったところでいずれ落ちるものだし 網の布が裏打ちしてあるわね

この位置なら右手で取りやすいか ケープのほうだけど左首元から鎖がポケッ に伸びてますね

これは紙ね、革のケースで挟んであるけど

もう少し挟める余裕もあるしペンもさせるところはある 二種類あるのは最初に見たのと、 お花摘みのときの わね

そのペンがな のは、こちらのペンを見てないからと

あちらのペンは簡単に作れない から、 ってことでしょうね

う 一見たいような見たくないような

さて、この香りにも早く慣れねば

毎朝アルケに先越されるのもどうかと思う

なにしろ彼女はいままで最後まで寝てるほうだった

連続二日でお花摘みさきこされてるし

先に着替えて朝食の準備しますか

ってずいぶん色々置いてあるわね

とりあえず服、これは全部裏地が付いてる

この感じだとここにもウロコ混ざってるか

レザージャケットと靴はそのままね、 魔方陣仕込んであるのに気が

付いてるってことよね

アルケさんに渡したジャケットはいろいろ工夫してあったし

あぁ、汚れ落としきってあの香油塗りこんであるみたい

これは魔方陣の効果も凄いことになりそうね、 なにせ精霊魔法の

方陣だし

ここまでは予想の範囲内なんだけど

残りの装備、これは問題よね

組紐に帯とベルとが大量に剣が二本

鍔?でいいのかしら

いろいろ種類があるってことは好きなのつけてってことよね

重さや大きさが色々あるってことはこれで調節するものもわかって

るってことか

にしてもこの大きいのも鍔でいいのかしらね?

同じところにあるし、 ほかと同じ穴もあいてるし

とりあえず一つずつ試すしかないわねぇ

ゴハンはサマサに頼んどきますか

とりあえず一本目

あの子のことだから別かもしれないけど二本あるってことは重さとかの差よね?

鞘は白木、神木ねこれ

で、抜いたけど

予想はしてたけど

ドラゴンのウロコが刃に仕込んであるのか

白く輝く刀身にエメラルドの縁、 この部分がウロコなの ね

今までの剣より少し幅広で分厚いのはどういう意図かな

ウロコ使う以上切れるでしょうし分厚くしたのは叩ききることも考

えてある?

刃渡り50c m ほどで先端は両刃、わざと短くしてある のかな

少し湾曲しているけど、切っ先も鋭いし突きも十分使えそう

このままだと重心が刃の頭に寄り気味なのは鍔で調整ってことよね

形も厚さもいろいろだけど

楕円形でちょっと分厚い感じのこれがよさそうね

さすがにあの大きいのはよくわからないわ

とりあえず好みの重さはわかったけど、 他のももったい な いわねえ

全部彫刻いりでドラゴンのウロコが仕込んであるとかやりすぎよ

とりあえずもう一本の方はと

こっちは刀身が黒っぽいのね

ウロコの仕込みは同じだけど黒っぽいとこうまで感じが変わる

なんていうか、そこだけ強調されて輝いてるので凄く目立つ

うーん、重さはほとんど変わらない見たい

ということは鍔は同じでいいかな

刀身の材質で差はあるはずだけどなにか切っ てみないとわからないね

うーんどれか選べってより二本差しちゃおうか

今までの剣もどちらの手でも使えるようにはしてたし

ただ、 使い勝手はずいぶんちがいそうね

刃渡り65cm の刃の潰れた細身片刃剣だったわけだし

正直、刺突剣扱いしてたしね

1 5 c mも短い剣にして渡す以上何かの意図はあるんでしょうけど

しばらく危険は無いだろうし素振りや試し切りで馴染ませてみますか

おはようございます

っていうかまだまどろみ中なんだけどね

う サマサもクルスもおんなじ感じ、 起きてるのか起きてない

のか

とりあえず二人とも腕に抱きついてぐりぐりしてるから寝ぼけ中か

森の中のキャンプでこれってありえない、 無防備すぎるし

でも絶対的な安心感あるのよねえ

狼とか熊もいるみたいだけどそういうのは馬も含めて大丈夫だと思

うな

ドラゴンの右手にかけて

少なくともこの森で襲われることは無いでしょ

昨日の話しだとそういう兆候はないみたいだしゴブリンが徘徊してくるなら別だろうけど

にしてももう日が出てずいぶんたつのかな

起きなきゃダメだね

二人も起こしてお花摘みもいっとこう

カバンにはいってるってことは移動中もそのまま寝る気ね あの紙が手元に無い のが残念だけどハガネは熟睡か

お花摘みからもどったら二人とも着替え終わってた

サマサがお茶入れてくれてる

白木の鞘から抜きはしなかったけどショートソードニ本ってのも豪 クルスの方はカゴの上にあったショー トソー ドでなんかやってるわね

払つ易合は 華なのよね

私の場合はナイフー本で昨日にプロテクター 付きレザー ジャ

二本とも使うつもり、よね?

使わないなら一本もらおうかとも思ったけど

得意な得物じゃないのよねぇ

洞窟探査には短い得物、 なので今回は街で預けてきたけど

携帯の仕方悩んでるわね

思いつくこともあるんだけど物見てからよね

その前に着替えましょうか

さて、 リネ ン の タンクトップはちょっと短くなってるわね

このままだとおへそでるよ

で、これがその分の新しいシャツか

作ってくれたのねー

ショトソード二本もらっ たの見た後だと微妙ね

なんだけどそんなこと思っちゃダメだわ

前の晩にレザージャケットもらってるしねぇ

一回り小さいけどかえっていい感じよ

れに腕のプ ロテクター 肉固定できるし、 も普通じゃ な 戦闘時はこのほうがよさそうだし 位置なのが面白い

サマサの探知って便利なのねぇ この先にハーブの群生地があるから街で売るほど取れるって?

ない 荷物はずいぶん減ってるし一山ぐらい積んでかえるのもい

食料は余裕あるし時間かけるのはかまわないわよ

皆とくに予定とかないでしょ?

さすがに色々作って疲れてるんでしょうし そうそう、ショー トソー ドちょっ と見せてみて ハガネ?カバンからまだ出てないなら寝たまま連れてくわ

鍔はこれ以外にも重さ違いが何種類もあったとか どうやって持つか悩んでる とりあえず一本抜いてみる とかいいながら二本とも渡される 一組だけよくわからないのもあったそうど

凄い、わね

黒い刀身にエメラルドの刃 違う種類の金属を組合わせているのが見て取れる 色々角度かえて見るけど間違いなさそう 太陽にかざすと微妙に色の違う部分も見える

長さも含めてかんがえてコダチかしら?カタナ、というより厚みや造りからタチ先端に両刃部分があるけど形状からすると

このあたりではまったく知られていないものだから と呼ぶようにしましょう

ハガネにきちんと聞かなきゃね

ショートソード、

うまくしたらアレも理解して作ってくれるかもしれない

「試し切りとかしてみた?」

ドラゴンのウロコがどうにかなるようなものなんてないはず

なのでこの刃は叩きつけようが刃こぼれしない

前に見た板のような弾力もったまま、 かつ切れ味も鋭いはず

ウロコを武器とするのに欠点だった軽さと弾力を補う造りがこれな

んでしょうね

たぶんどこかで見た記憶とかそういうとこから作り出してるだけっ

てのもわかるけど

「まだどう持ってどう使うかもこれから、 さすがにここまで違うと

今までの剣は主に突きと払い、 たまに叩きつけて使ってた

つまり切る使い方はしてない

ずいぶん昔に似た様な剣を使い方含め見せてもらったことがあるけど

ここの街周辺で使われる剣とは用法がまったく違ったし

なんていったかなぁ、

ハガネは休憩地点=ハーブ群生地まで熟睡してた。

どらしい、なので時間は日が傾くまで使えるかな? 数もけっこうありそう、 川原も広 くなってるし山肌の崩れた跡もある開けた土地だし種類 今夜のキャンプ予定地はここから1 m ほ も

後で売ることも考えて多めに採取したいところね。

食料と交換したいし。 というか、街には帰らなきゃならないけど途中で小集落でもあれば

食後 あるのだけれど。 とも移動のたびに積みなおしがいるのと、 の馬は5頭も のお茶の後でそれぞれの判断でとってくることにする、 いるしその上に積める量となるとけっこうある。 3人で取れる量も限度が 荷だけ もっ

肉の補充を積んでいく余裕も欲しいしね。

サマサとクルスはミントを収穫しに川原へ。

な? かにワサビが見えるけどハガネに取り込んでもらって保存できるか ということで、目先の違う物として木陰の方を攻めますか、 Ш な の

と考えるとどうかな? というかあの子にまかせたらごっそり全部いけそうだけど、 後のこ

ここに人が入ることはまず無いので回復可能なところまでは採取 ても大丈夫そう、見せ荷は乾燥物が向いてるからワサビはなくてい かなり苦労するので超高級品だ。 山の中で安全な場所が限られるというか、 分け 入るだけでも

悪い手ではな いねちょっと連れ て行きますか。

うか半分ぐらい埋まってるのかな? わさび畑(跡地)ね、 ずいぶん前に放棄されたのだろうけど、 とり

それでも本流 部分にはショウガもあるみたいね。 の脇に水路を作ってあるのがわかる、 不自然だし護岸

森に呑まれた開拓村跡?

山脈の北のノスグランデが樹海で埋まる前とか? 山奥に馬でこれるのがおかしいといえばおかしかっ たんだけどねえ。

それだと60年は昔のことよね。

考察より収穫優先、 ワサビのほうはハガネに任せて斜面を見ましょ

っていうかニンニク? シダがずいぶん覆ってるけど時期が早かったらワラビ取れてたな、

うーむ、こういうとこにあるとは。

条件があえば自生できるらしいけど、あんまり見かけるモノじゃ いし、産地で有名なのは北のグランバックだし交易品でけっこうい 値段するし。 とにかく半分、半分間引く感じでいただきましょう。

えて移動 ぶん掘り起こせてる、そろそろ切り上げ時でもあったのでハガネ抱 こっちの収穫は適当に抜いてあとはハガネにお任せだったのでずい なんでも対岸の山肌がどうやら畑跡らしくいろいろ採れそうだと。 しばらくすると川原でハーブの収穫していたサマサが呼びにきた、

川に浸かってたからだろうけど程よく冷えてて気持ちい、 食べたらおいしいかも?」 というか

サマサに「妊婦さん見たい」 なんて言ったらぷるぷるふるえてるわ、 ツの中に抱え込んでにかかえてぎゅってしてあげる。 って言われた、 逃がさない ちょっとショッ んだけ クかも。

川を渡り岸の草をかきわけてい くと石で組んだ段々畑 の

確かに、 これ はいたけどさ、 川原にハーブの範疇に入れていいものがいろいろ群生して 木の侵食を受けてるとはいえ野菜の栽培地跡だよね、

と牛馬か羊の放牧できればすぐにでも移住できそう。 トマトにバジルに唐辛子にロー ズマリー と玉ねぎもある わね、 穀物

クルスにハガネを任せる。 ということで根元から切り飛ばしたハーブ (雑草こみ) を纏めてた

リタマネギ掘 ハガネかかえて走ってれば勝手に収穫なのでい りでもしてますか。 いでしょ、 その代わ

サマサはミント束ねて持っていってるわね、 のだけど、移動中にも干せるしミントティ - 用にもするのかしら? 見せ荷のぶ んだけ で 61

ギリギリでもい つ ていうかちょっと時間超えそう、 いのだけど キャ ンプ地探さなくてい 61 から

その側に行かなきゃダメなとこもあるんだし。

* * *

で日が落ちるのも暗くなるのも早い 結局日が落ちるまでかけて収穫とか積み込みとか、 んだけどね。 山間部で森なの

められたのと、 ここでキャンプも悪くない場所なのだけど、 いってほしいって場所にも行かなきゃならない 昨日の探査で精霊に薦

岩。 来てみれば薦めるのもわかる、 で月だけで十分明るい大きく枝を張り出した木とその下に平たい大 さっきの畑並みに開けたところなの

そのあたりの準備始めてた。 かまどの一 つでもつくればゴロ寝でじゅうぶん、 さっそくア ケが

う。 ない 周囲の安全確認は必要ないみたいだしけど、 ので手が空いてるハガネも抱え、 サマサに付き合って森に向か 何があるか よく分から

問題の倒木、というかその下。

呼ばれるわけだ。

どける、というかハガネが倒木取り込むだけであっさり救出 岩と倒木のスキマから出られなくなっていたのは真っ黒な犬。 便利すぎるわね、 ない、何日こうしてたのかわからないけど衰弱してるだけみたい。 とりあえず犬ね、 慣れない様に オオカミかもしれないけど丸まっててよくわから しないと。

「エレメンタル・ディテクト」

他にはいないようだし周りに親の気配もない

群れの移動から置いていかれたとか? この時間でこれ以上の距離はちょっとね、 サマサが呟く声が聞こえる、 mぐらいで犬?の親を探してみるけど見当たらないみたいだ。 かっても置いてくわけにもい 周囲の探知をするのだろう、範囲 かないか。 衰弱してるのもあるから、

出し始めたので一つに湯を入れて冷まし、 抱えて戻るとお湯沸いてた、 して塩抜き、 石のボウルと棒で磨り潰してお湯で溶いて ハガネがすぐに石の皿とかボウルとか 残りのお湯で干し肉煮出

先に水分取らせた方がいいかな。

サマサが子犬かかえて、 みたいだから食べられれば落ち着くでしょう。 あぁ 《癒しの手》 ね 水 の精霊もそばにい

るしね、 っこう行列できるけど。 初心者の回復魔法講習の の常設天幕でやってる《癒しの手》だと疲労回復とかが精々。 あいかわらずサマサの たまに上級者がいるときは腰痛とか関節痛が治まるからけ 《水の精霊の癒しの手》 一環でやってるから格安だけど効果しれて は凄いわね、 ルド

ね 彼女のは毒消しもできるし、 時間かければ骨折治したりもするから

とね。 プに黒パンにトマト、 アルケさんがごはん持ってきてくれた、 ネギは犬にやっちゃダメだから気をつけない タマネギとニンニクのスー

ありがたい。 この子が犬とは限らないんだけどさ、 新鮮な野菜が手に入ったのは

長期移動だとどうしても野菜や果物が不足しがちになるし、 々不足気味だしこの子の分も必要なのでここを拠点にして狩に行く 肉が少

き ?

第17話 (後書き)

くどくなるのでこっちに

トマトは中球以下の品種の野生化でプチトマトサイズ

トウガラシは鷹の爪等の辛いやつ

タマネギ、ニンニクは条件合えば増えるので特に無

ミントの品種はハッカかペパーミントで特に指定無し、 シソが周辺

にないとだけしときます

《癒しの手》

某手かざしではないです

手のひらをかざす事で魔力の集中をしやすくし、 その魔力で対象の

魔力に作用する

《癒しの手》では回復を念頭において実行されるので疲労回復や軽

度の治癒効果になる

使用者の魔力量やコントロー ルの力量だけでなく、 対象の魔力も結

果に影響する

料金は薬学講座で販売する疲労回復ドリンクとほぼ同じだが効果次

第で増額

喫茶店のドリンク類の値段~4倍ぐらいが目安

講師や上級者の場合は治癒内容によりさらに高くなるが医療系魔法

師の治療費と変わらない

サマサの場合、 水精霊が勝手に手伝ってくれるので疲労回復やケガの治癒だけでな 本人はちょっと意識してナデナデしてるだけですが

く解毒なども自動で出来てしまってます

大怪我などではちゃんとし た治癒魔法の方が効果高い ので《癒し

手》はつかいません

子犬は落ち着いてるみたいです。

させときました、 は太いですね。 今日も朝から《癒しの手》をあてて煮戻して磨り潰した干し肉食べ 体は両手のひらで掬えるぐらいのサイズなのに足

犬だとしてもかなりの大型犬でしょうか?

さわると骨が目立つけど毛はもふもふに戻ってます。

そういえばダニとかついてなかったですわね?

まぁ、いいことなので置いておきましょうか。

定です。 そうそう、 クルスさんは狩に行くとのことで暫くここにとどまる予

アルケさんはミントを干す柵を作ってくれてます。

ど、斥候とか必要ないけど移動距離は短めにしてます。 この間の探査によると森を抜けるのは川沿いに行くならあと2日ほ

整備された街道だと1日といったとこかな、 行きは最初森のなかを

移動したり常に斥候だしてたりで慎重だったし。

そもそも森と平原の境目付近は竜(大型爬虫類)が群れてるし。

ハンマー テイルにレザー クロウとか厄介すぎますわね。

草食のハンマーテイルは繁殖期以外は大丈夫なのだそうですが。

体高2mで体長10m、けっこう硬いウロコと大きな瘤がある5m の尻尾を振り回すので近寄りたくない竜ランキングがあればTOP

3の常連かしら、 群れでいるから余計ですわね。

レザークロウは体高1 · mほど、 尻尾のばして全部で3m ぐら 肉

食 で 1 5匹の群れで獲物を駆るハンター。 小型種だけあっ て

樹海の中まで追ってくることもあるけど、 基本的に草原走り回っ

ますわね。

脚が短い ね かな、 でも生息地を抜けるまでキャンプできない (距離的な意味) ので逃げれば助かる確率はた のは痛い か l1 ですわ のが

ろでしたが森 森の奥は馬で行くようなところではないんだけど、 行きに竜を避けるために樹海を抜け の中にしては歩きやすかったわ。 た のは仕方ない こと、 獣道っぽいとこ 普通なら

た可能性もあるわね。 入ってたって事だし今は忘れられてるけど昔はそれなりの街道だっ 畑跡が残ってることからしても、 ちょっと昔はこのあた りまで人が

たし、広さが一定でそこそこ広いのが何よりの証拠ですね。 ドラゴンの山 の入り口の洞窟も人の手が入ってるような感じ う

道かそのわき道だったのでしょう。 あそこへ行くためだけの街道ではなしに、 ノスグランデ方面へ 街

陸路の 樹海に埋まるまえにゴブリンとオークに落とされた国だけど、 は陥落の主原因はタブー だから近寄る人もないかしらっ 挟んだ向こうにあるドワーフの国との貿易拠点だったそうですから。 山越えですがかなりの交通量はあったはずです。 今となって

柵 ほうは出来たようなのでアルケさんのところに行きましょ

右手でやると力加減が大変かも。 はサマサに任せ馬のブラッシング中、 ミント干す柵は竹があったので簡単にできた、 8頭いるのでけっこうな仕事。 干したり選別した 1)

は意識 昔だと力入れ しなきゃ して軽くやらない ならない てやらない か。 と力が入りすぎる、 とマッサー ジにならなかったんだけど、 癖になっ てる行動は注

筋肉にそって上から下へ。

なるね。 3頭ほどブラッシングして慣れてくると、 力加減も無意識でロ K に

るもの、 私たちが乗っている馬、これは街の外のギルド系牧場で借りてきて 一種の保証金で借りてるからそのままにしてもいいんだけ

生きて帰ってきて何の報告もなしだと廻状回される可能性もある、 少なくともアルモレッドセルラ内では。

置する都市国家連合、 を蛇行し流れるクトレー アルモレッドセルラは今の落ち着き先、 街といってるディファレイはヒレアスト平原 川最上流の都市国家。 ヒレアスト平原北西部に位

そしてギルドは傭兵ギルド、というと物々しいけどわりと何でも屋 けて呼ぶのが普通、 の請負業者の元締め、 何もなければ傭兵組合を指す。 他の業種のギルド = 組合は頭にその業種をつ

請け負っているのが交易ルートでの護衛や特定時期(竜の繁殖期等) の村の守備にはじまり薬草採取(微妙に危険) 引越しの手伝いなんてのもあったりする。 や夜間の警邏なん

で編成となるため、 あったとしても討伐任務としてギルドにも出すし、 るかわからないけど、 もっとも兵役期間は3~5年で街道整備や城壁補修が主、主要街道 このあたりの国では国民皆兵かそれに近い方針をとることが多い。 の巡回警備が危険度高めな任務、ゴブリンやオークの襲撃はいつあ まずない。 不向きなものや、 運がよければ任期中に起こらないことも。 やる気ないも のが混ざること 軍からは志願者

最低 限 余程でもない限り兵役拒否するものはいない。 の読み書きと武器の扱いや集団戦の基礎は叩き込まれるも

き抜き専門教育を受けさせ取り立てられる。 座学にせよ土木にせよ、 勿論武術もそうだが何かに秀でてい れば 引

おかげで二男三男などはけっこう必死だったりする、 いとこ見せたいのは男子の性 軍属女子に ĺ١

が無理と言うもの。 るが (むろん、主に男の責任が重く取られる) 色気づくなと言う方 徴兵中にできちゃったとかだとかなり厳しい罰があるから自重はす 報奨金を貯めたうえに、うまく行けば嫁連れ れて一緒に座学を受けたり軍務に励んだり、 これは女子にもいえること、おおよそ12~20歳のうちに集めら 寮はとうぜん男女別で て帰れるって の もあ

長男や一人っ子などは税金増額で回避も可能だし、 り猶予がある。 入隊年齢もかな

安定しない時期の村は免除されるというか、 されてくるし、 そのまま村民になる例もけっこうある。 逆に軍から 人員を派遣

どありえない。 である、 富国強兵が国の方針であり国全体の安全と富を底上げするのが目的 兵役以外の税もとうぜんあるが、 それで赤貧の奴隷労働な

御が不可能である。 明確な外敵がある以上軍備はそれなりに必要になるものの、 全周 防

ことにつながる。 軍事訓練に馴染んだ人数が多ければ拠点= 各村ごとの防護を上げ る

それゆえ うことになる。 街道などの建設や維持にまわり、 の国民皆兵であるが弱兵でもあるので徴兵は人手が必要な 不足する軍事力を傭兵で補

傭兵は軍に残らなかったが武術専門になっ るので、 ギルド= 傭兵組合は国が積極的に関与して た者の受け皿 る半官半民 の側面で も

な組織ともいえる。

受け入れられるので隊商の護衛なども気軽に受けられる。 国をまたいで移動する者も多いけれど、 連合国内であればどこでも

つまり、 どくさいことになる。 ١١ ろいろ投げっ ぱなしにすると敵を作りすぎて非常に め h

身元保証とか仕事の請負ができなくなるのは痛い 歓迎されなくなるのも痛い。 どこの村でも

それに今回の依頼主、 あれの後ろが問題だよねえ。

今ブラシあててる馬もけっこういい馬だし、 アヴァ ム教会とその

騎士団の関係者だとめんどくさすぎる。

ヒレアスト平原にある国家や連合国の多くに支部があり、 国政に 食

い込んでるところも少なくない。

くなる。 多少の派閥争いはあるが神敵認定されるとそれらの地域にいられ な

れな どこかのサリーネ(在来神の秘密結社)なんかのほうが厄介か で困ったところ。 いけど、これだけの馬だと貴族のお抱えなんてばあいもあるの ŧ

ディファ ラのハゼルスワム郡でも最北端の都市国家、 るヘロナマウトだけ。 レ イはヒレアスト平原北西部の連合国、 この先の村は砦でもあ アルモレッド セル

竜にゴブリンやオークの南下阻止と排除が目的の砦であり、 平原と森しかない。 でもある、 周りに小集落もなくはないけど、 そこより北は未開発の 開拓 村

過去の都市国家跡や街道のなごりはあるにはあるが、 確保するだけ の余力がない のが現状である。 修復したり 再

過去の大撤退戦、 らか、 ディ ファ 60年は昔の尻拭いをやっ イでは教会勢力はそれほどでもない、 てるのを皆わかって それでも

あったと噂されてる でいかないが、 そのことが街 の 批判者が中央広場に転がってたり川に流れてたりも 人の口に出ることはない、 南 の方では神敵認定とま

者もけっこういる。 神学が必須だけど魔法も教えてもらえるのでここ出身のギルド登録 派閥の中には孤児院の運営や修学院 (入信が義務だけど格安の学校)

知らない人にはけっこう人気、 えるのよね。 というか今だけ見ればすばらし

ら、特にディファレイのギルド長はヘロナマウト出身かつ先の戦争 の生き残りらしいからなんとか話し持ち込むか。 ここいらのギルド長は大抵教会とは無関係というか距離とってるか

پخ みよ - な縁のある爺さんだから話だけは聞いてくれると思うんだけ

なんかため息でるね。 「セクハラ爺だしなぁ

な ガネ特製装備喜んで使ってるけどこれも隠すべきか? ハガネのことも私の身のこともいろいろ秘密にしなきゃ サマサとクリスもおおっぴらにできない力得ちゃってるし。 ならないか

馬どうするかってのは些細な問題すぎるなぁ。

具合とかわかりにくい子だったけど蒸らしタオルで拭いてもらった 保護して一晩でもふもふですね、 後さらにふくらんでますよ。 癒し系の地位陥落のお知らせ? 元々もふっっとしていたのでやせ

たような も口にできてるので大丈夫じゃないかな、とかいってましたね。 でてる手のまわりに水の精霊とかもいたみたい、なんとなく光って さっきまでサマサさんがひとしきりなでたりさすったり、 水もエサ

なので回復効果はんぱないなでなでだった模様。

それはそれとして、 犬の肉球もいいものですね。

ぷにぷに

むっくりぶっとい足なのもポイントですか。肉球といえば猫、でしたが犬もなかなか。

ゃしときますね、えぇむりに起こしたりはないですよ。 前足二本の肉球どうじにぷにりたおしますよ。 というかすでに抱え込まれてますのでなちゅらるにもふもふわしゃ よサマサさん、りっぱにもふりつくします。 この子の看病というなのもふもふはひきつぎましたので大丈夫です しゃ しほうだいされほうだいですが。 おなかもわしゃ

* * *

この子の面倒は当面ハガネにまかせておいて大丈夫そう。

ょうか。 アルケさんが柵作ってくれたので分別しながらミント干してきまし

野菜も保存するなら干したりが必要だったりするけど、 り込んでるとそういうのいらないみたい。 ハガネが取

何でも、 妙に生々しい例がでてますけど肉汁って何かしらね? いつまでも新鮮でジューシーで肉汁たっぷりだとか。

3日ほど、と急に暇になったわけだけど。

んし

睱

干して分別もあっという間だし、 木陰にはいって座ってぼーっとし

てます。

時間あるし子犬の親さがしじっくりして見ましょうか?

今回は子犬、とその親をイメージ。「エレメンタル・ディテクト」

範囲もゆっくり広げていく。

まず、当然すぐそばの子犬が見えますね。

時々ピクってしたりハガネ抱えなおしてますね、 完全に寝ぼけてる。

特に怪我もなかったしもう大丈夫そうね。

子犬に意識残しつつゆっくりゆっくり範囲を広げる。

特に犬の親、だと犬じゃなかったら引っかからないかな。

なので獣?動物?そんな感じで意識する、 けっこう小動物いるみた

さすがに私たちが通ってきた川岸は避け てるのかな。

ウサギもいるみたいだしこだわらなければクルスさんもすぐ帰って

くるかな。

たらない。 少しずつは んいを広げていく、 0 k mほど広げるが犬も狼も見当

山の中で10km超えるとちょっとねえ。

樹海ほどじゃ けっこう木で塞がれてるし、 元街道みたいな今のルートでも1日がかりで1 いのに。 ないから木の根が絡みまくっててほどじゃないけど、 下草だとかも生えまくってて移動しに 0 { 1 5 k m かしら?

鹿発見、っていうかクルスさん?

うーむ鹿狙いですか?

場所はここからちょっと回り込んで8kmぐらい、 持ち帰りにに 困

る大物狙うってのもねぇ。

腿肉とか切り離して持てるだけにするつもりかしらっ

おいしいからありがたいけど勿体ないですね、 アルケさんに行って

137

貰おうかしらって、 私は見えてるけどここから皆で移動するわけに

も行かないし。

るし。 馬と子犬とハガネ置いたままってのはさすがにまずいよね、 熊も L١

精霊が見えると何とかなりそうなというか見えるようにするとい う

っていうかクルスさんが雄鹿仕留めましたね。

か?

木の上から脳天に剣突きたてるようにして落下ですか、 頭蓋串刺し

で地面に縫い付けてます。

只者じゃない のは知ってましたけど改めて見るとすごい わねえ

そうい やクル スさんは精霊見やすい はずだし分かるかな?

子犬を拾った。

今は干し肉を少しだけだがそれではとても足りなくなる。

犬、といっているが実際はまったく別物、 狼でもない。

では何だ?と言われると困るが。

なんていうか、ちゃんと犬の親からは生まれてるはずなんだけど親

とは違う物というか、だからサマサがちょ くちょく親探しの探知し

てるけど見つからないだろうと思ってる。

そうなると置 いていくわけには行かないし、 Ш のモノが街に出ても

大丈夫なのはわかってるので仲間にするのがい いのだろう。

なにせ、 この地の精霊に預けられたも同じなんだから。

ウサギはけっこういるのでそれを数羽、 もう少し大物をと探して LI

たら鹿発見。 大物過ぎるけど切り取って持ち帰れば しし いか、 場所が

分かれば往復するのもさほど時間かからないし。

先回りして木の上で剣を構える、 さっきからなにか精霊がまとわ

ついているような?

見られてる感じはサマサの探知?

精霊の感応力高いと察知されるってことはちゃ んと言っとい

がよさそうね、というか見られてるとちょっと恥ずかし

鹿が真下に来たところでぶつかるように落下。

鍔にかけた足で体重を乗せてそのまま地面に縫 いとめる。

ん ?

精霊が目の前をふらふらと。

しらね、 サマサが目を借りてる子みたいだけど。

両手を差し伸べ包み込むように、 なんとなく繋がるような?

だけど。 元々触れるほどに近ければなんとなく意思疎通なことはできてたん

そっと包んだまま額に触れるように近づける。

んんし

『一当け』

サマサの声じゃなしに精霊の声ね。

『そだよー れんらくだよー おつたえするよー』

よろしくね精霊さん。

『はいあーい』

『でねー、なんかエモノはこぶのにてつだうから待てて?』

サマサがくるの?

『んー、なんかね?

ボクとボクらがあんない、 いまその人にもボクらがはなしてて!』

アルケかな。

『おっきいおねえさん、すごくはやいねー

なんていうかいっしょに飛んでおいつけないね-

ひとり必死にぶらさがってる!』

アルケさんてそんなに早かったっけ?

普通より早い方だとは思うけど体が大きいとくぐったりかわしたり

でめんどくさいって

『なんかねー、ぜんぶつっきってるー

っていうか向きかえるのに木を蹴ったら蹴りぬけて向うの地面でむ

きかえてー

さすがドラゴンはすごいですよー?』

血が混じったとかいってたけど精霊からみたら人でなくなってるの

አ)

まぁアルケさんなら気にしないかな?

["]くるよー』

空から降ってきました。

生傷だらけってもう消えかけてますか、まぁいいですが。 なんかポーズ決めてますがヒザまで埋まってますね。 ごくろうさま、なんというか担ぐのまかせていいみたいですね?」

ね すぐ後ろくっついて走ってるけど避けるそぶりがほとんどないです というかそのドラゴン化しちゃってたらなんでもないのかしらね、 鹿かついで山を直線で駆け上がるってどういうこと? なんていうか、アルケってば完全に人じゃなくなってない?

心 すがについていけないわ。 なんか帰りのほうがすごいわね、 こっちも避けなくていいから楽でいいけど。 木は避けてますけど小枝や下草なんかは完全に無視 木を飛び跳ねて越していくってさ

第20話 鹿の処理と今後のこと

場所で寝かせてるだけですが。 アル といってもキャ ケに追い ついたら早々に川原で解体準備にとり ンプ地より少し 下流の広めで枝ぶりのいい木もある かかってました。

うしん、 にしてないと また生傷ついてますけどふさがっていってますね、 いうより気づいてない?

治癒力あがってるならいい のか、とりあえず先に解体です。

助手にサマサでなくハガネを連れてきたようですね?

手をかりるのでなしに何するつもりでしょうか。 いるから大丈夫なのでしょうけど。 ま、 手のほうは私

きです、 まだ血抜きすらしてないというか仕留めてから1 ハガネに大鍋出してもらって血を受けてますね、 山突っ切るとしても異常な速さですが後ろ足縛ってぶら下げて血抜 時間が勝負なので早いのはいいことですし。 ブルー 0分ほど? トヴルスト

反則。 大鍋やら木の板やら道具類はハガネががんばって作ってるみたい 用?

ナイフで切 血のほうはもう抜けてますかね、 切 り口開 り裂いて、 のに間がありますよ。 あの縞々のナイフですね、 さっさとおろしてお腹を上にし 余程の切れ味 7

胃 肛門 腸を丁寧に内容物こぼさないように抜き取って。 まわりを大きめにさっくり切って食道と心臓掴んで引き出し

アルケさんはそのまま洗にいくのですね、 してます。 心臓に肝臓や肺などの内臓は八ガネが取りこむの? さすがに肛門付近は廃棄

大丈夫?

意識しなかったらきもちわるくない、慣れた?

まぁ アルケが戻ってきたので手伝ってもらおう。 ところだけど、 しし でしょう、 ひとりで吊るし上げるのはちょっ 腹まわりの掃除済ませたの で皮剥ぎにうつ としんどいね。 IJ

胃と腸はというとフックで固定して川に漬けたまま、 めて中を洗えるようにしてある? ロウトで水集

とりあえずおいとけばいいなら楽です。

で十分だったし見る機会なかっただけなんでしょうけど は私が主だったし、大物はあまり取らなかったというかウサギか鳥 というかアルケの手際すごいですね、 一緒になってから狩にい <

足首に切れ目いれてひっぱて皮剥いて首もあっさり落としてますね 頭とか埋めます?

位に分けて一食分にしてハガネに取り込んでもらえばOK ですね、 ハガネみて笑ってますけどってそういうの全部取り込ん となるとあとは肉の切り分けとかですが適当に骨外し でもらう ?

保存食とか急いで作る必要がない 内臓のうち、 、屑肉とかは叩いて血の鍋へ 肺を出してもらって刻んでそれも追加で。 いれて取っておきの小麦粉入れ のは楽ですね、反則ですね。

香辛料は入れませんか?

塩も入れ 間だ け な なら入れるけど子犬のおやつにもするのですか、 61 のですね。 なるほど、

湯がきます。 湯をわかしてもらって詰め終わったものを破らないようにゆっくり アルケ を煮込んで食事のしたくも任せる。 とこですがちょっとガマン。 ロウトと柄杓を出してくれてるのではかどります。 きですし が腸 の洗浄がんばっ ネギとかニンニクとかショウガの葉を一緒に入れ てくれましたので詰め込み作業、 ついでに屑肉や収穫したタマネギと米 黒パンなどの保存食は残してお サマサに鍋で ガ 61

森は 61 けど平野部でどこに出るかにも寄りますが竜が多い

まともに食事できませんしね

ようなルートですがちょっとしんどすぎ。 今の位置から真っ直ぐ南下して樹海の縁を移動するなら行きと同じ て、ディファ 行きとは既に別ルートですが川沿いに東へ出て、 レ イの北、ヘロナマウトに向かうべきですかね。 なんとか竜を避け

飼葉とか積んでたものは行きだけで無くなってますし、 のはちょっと無理ですね。 森のなか行

浮いてます。 れなのでひん剥いてお湯ぶっかけてきました、 そうそう、 アルケは腸やらなにやら担いだりし 今はハガネと湯船に てそれなりに血まみ

けてるみたいですので注意だけはしておきます。 たけど既に治りかけてるみたい。 肌むき出しだった部分に生傷がそれ以外でも打ち身がけっこうあ のは元のままなので、 山駆け抜けてぶつかったダメージそのまま受 回復力は上がってるけど体そのも つ

* * *

がなんかちらちら見てますよっておとこのこ? 持ちよくても半裸はやめてください目のやり場に困ります。 子犬も起きられる様になっ ごはん出来たのでフロで伸びてるアルケ引っ張ってくる。 てるのでハガネに鹿肉ちょっと出して l1 ハガネ くら気

さす

がに回復はやい

ね

らって刻んであげて見ます

当然だ 背後関係にな ない で、 この後どうするか、 んだけどね。 し依頼 h びり食事も終盤にアルケが切り出したわけだけど。 の事後処理もできれば任せてしまいたいというの んかあるんじゃない?っていうのは皆同じ意見 ただまぁギルド長には話し通したほうがい はサマサも私も考えてはいた。 結論なんて出て ŧ のは

番肝心 とか、 倒せる、 のでどうしちゃってもいいだろうけどハガネが取り込んだままの鎧 馬と積荷のことだけど、 なんか死体ごととりこんでるらしいけどなんていうかね、 の呪い関係の装備、 っていうことになると再襲撃ありえるかな?」 特にドラゴン死なせかけた槍は隠すべき? 荷のほとんどはキャンプ用品とかが主な

いっ そのこと入り口から出たところで即やられちゃっ たとかでい 61

洞窟出ることなく逃げ帰ったとかでドラゴンのウロコの装備は洞窟 なんか凄いの作ってもらったけど、 で拾って帰ったとかにして。 普通に作れない以上もう一ひ

りいるわ、 もちろん手放すとかありえないから考えるんだけど。

私たちが連れ込んだとならなければ大丈夫かな?ヘロナマウト砦に 入る前にどこかの開拓村へ預けるとか、 い子たちだし馴染んでるし ロナマウトでこっそり預かってくれるといいけど、 北は軍が常駐してるような なんかね、 61

やっぱりギルド長をどうにかして捕まえてはなししないとややこし いことになると思う

とこの方が多

いから無理かな?

サマサに任せる」 最悪は私が連れてディファ レイまでいくから、 そっちはアルケと

サマサの意見は

で見逃された。 かけたことなんかない、 ハガネのこととかその能力に知識は完全に隠す、ドラゴンは というか、 剣士とかあっさり処理した、 後始末の報酬で装備もらっ たでい 私たちは余裕

だそうだ。

適当に誤魔化す、 計な勢力争いする人だといてられませんし、 他の意見として、 帰りにヘロナマウト行くのは皆が賛成あそこは余 死体とか装備とかは森の中に埋る、 あたり。 移動ルー

* * *

なかなかむずかしー 話題ですねー

もっともここの事はさっぱりなので被保護者としてはくっついてい

く以外は無いわけですが。

「なんていうか出たとこ勝負なきもしますよ? いろいろあったこと

無視したら巻き込まれただけともいえるし」

目立つのはボクだけ?

アルケさんの右手首とかわかっちゃうの?

ボクの作った装備もめだつのか、 デザインがじゃない?

ドラゴンのウロコだから?

見せなきゃ大丈夫じゃないの?

ていうかね、 もっと大事なことあると思うのですよ?」

「大事なこと、それはこの子の名前です」

ごはんの後サマサさんのヒザの上で丸まってる子犬をゆび指す、 いうかなんとなくぷにっと指す。子犬の方もわかったのかわかんな いのかしらないけどピクッてしてますね。

軽い話になって気が楽になったのか早速アルケさんが反応。

八ガネがいうのはもっともだ、うん。

じゃない」 親がいるならともかく、こんなかわいいのに置いていくわけない

さいことなりそうでそっちで悩んでたけどね。 なんていうか落ち着いたら現実というか事後処理がなんかめんどく しかし名前か、

つけたものかしら?

「たしか女の子よね?」

サマサに確認

女の子ですよ」

尾ふってるわね、 すぎるわね、 こういうのは単純で呼びやすいのがいいのよね、 アルケさんに答えつつ名前を考えてみる。 男の子っぽくもあるし。 聞いてる? 膝の上で丸まってますけど尻 黒犬だからクロ? でもクロって単純

耳ぴくってしたっ。

たいわね。 てことは聞いてるわね、 期待されてるとなるといい名前付けてやり

かっこいい、 違和感ないけど。 わ l1 い名前は今だけになりそうね、 でアルケさんでなしにクルスに目が行くのは何でだろ かっこいい名前

ついのも気のせい? かっこいいとかい いながらこっち見られても困る、 サマサの目があ

子が犬といえるままかどうかなんだがどうなんだろうな さて、一緒に行動するとなると名前がほしい のは当然。 問題はこ の

犬なのか狼な お約束的にはアリかもしれないけど。 なり大きくなりそうだしあんまりかわ のか、それとも他に変わるのかはともかく足見るとか いいの付けて後で困るのもね。

そういえばハガネって大きくなったりするのかな? い名前かぁ、 改めて考えると難しいね

子犬は聞こえてるのを隠すそぶりなく首持ち上げて見回してますね、 しっぽ振りまくってるのでみえみえですよ。

「アスタルト」

うのいっさいなしにストレートに来ましたよ。 記憶の彼方から心の叫び的に湧き上がってきましたよ? けようとするベタでつまらない展開を挟むとかキリンさんとゾウさ ここは一度は犬なのにタマ、いっそネコ、もっと素直にイヌと名づ んだとどっちが好きなどと意味不明の捻りで自滅するだとかそうい

てます。 採用されるかわかりませんが-って子犬が跳ね起きて飛び掛って のですか?なんかもみくちゃです。 わしゃわ しゃ抱え込まれてというか頬擦りですか?頬擦り ㅎ

れると楽だけど。 凄い反応ね、 というかこれで決まりでいいのか。 愛称で反応してく

アスター?タルト?このへんかな?

「アスタルト、アスターでいい?よろしくね」

とりあえず呼びかけながら頭なでてやる。

アルケさんにくしゃくしゃにされてます、 アスター よろしくですわ」 しっぽぶんぶんですわね。

手を広げてよんでみると膝の上に飛び乗ってきた。 だっこしてやる と伸び上がってぺろぺろされまくる。

いやもう興奮しまくってるね、 いいのかとも思うけど 存在のありようとしてそういうもの

らしてるとか無防備すぎるし 犬の器に在るんだから犬でい ĺ١ のか。 サマサに抱き上げられて腹さ

「よろしく、アスター」

鼻先に手をだして呼びかけてそのままぐわしっと頭掴んでぐりぐり してやる。

* * *

ご飯も食べたしアスター も元気だしで私たちもお風呂行きましょう

ゕ゚

アスター も来る?

わかっ もなんとなく抱え上げて連れて行きますよ。 てるの アルケさんの背中流しただけで入ってないみたいでしたし。 か知らないけどしっ ぽ振って付いてきてます。 クルスさんも誘ってみ ハガネ

湯船 が付くとくっぱり膝ひらいちゃててはしたない気がしますね。 このイスえらく低いです。 イスも桶も既にあるわね、 のすぐ横でイスに腰掛けて呼んでみる。 なんというか、閉じにくいというか、 とりあえずアスター 洗って どうでも 61 み いですけど ましょうか。

湯くんくんしてますね。 呼ばれたアスターは膝のまえで座ってます、湯船から汲んだ桶の 木の香りにつられてる? お

手に少しとってそのままかけながらなでて様子み、 て大丈夫そうなので今度は桶のお湯をそーっとかけ流してみる。 何度か繰り

うん、大丈夫そうですね

うとっていうかくぱぁしちゃってますから股 モモとかきけ りまくってますよ。 全身わしゃ フトモモ し終わるとぶるぶるっって跳ね飛ばしますか、っ んですねーって、 の間 はいそこあんまりうごかないって動かれると濡れ わしゃ でわしゃ んですよやめなさいって。 してやりながらお湯でながすとじーっとして これ裸だからいいけど服着てるときやられ わしゃで、って何ぺろぺろしてますか内フト なんかじゃれ付いてきてますね。 のあいだにはまりこん ていうかかか てる毛が 膝に乗る たら ます

「それ以上はだめー」

クルスさんとハガネがガン見してますね。 おもわず抱き上げて湯船にダイブさせてしまい ましたわ。

何 ?

先に服着てから拭いてやろうとしたら盛大にぶるぶるされ 服着てる間にやっておきなさいとしかっておきました、 みれです。 クルスとハガネはまだ浸かっている様なのでアスター ついさっき気が付い てたのに忘れてたわ。 そういうのは と先に出る。 躾はだいじ て飛沫ま

ど糞ほどおもたいですねこの人、まったくもうシャンとしてる時は どうしようもないです。 さん寝ちゃってますね。 怒ってば かっこいいのに、 かりでもしかたないのでだっこしてかまどの前へ、アル なんてだらしない姿ですか。 カップのお茶とかもひっくり返ってますし 毛布だしてなんとかその上に寝かせますけ

てって抱え込まれましたよ? の前はだけて胸はともかく下は全開ですか?裾なおして毛布も浮

です。めんどくさいしこのまま寝ちゃいましょうか 頭がお腹の上だからまだいいですがもう少し下だとちょ

「アスター おいでっ」

アスター も呼んでいっしょ にくるまることにします。

てやっ も目で追い やもうサマサとアスター てるからふたつのぷよんぷよんがぶらんぶらんで。 かけてるっぽい ね のじゃれっぷりは眼福です。 屈んで洗っ アスター

犬のとは形状違いすぎると思うんだけど、 どっちかっていうと牛だ

ていうかだんだんヒザがくっぱりで奥が見えます、 ら見てもさすがに目のやり場に困ります。 なんかハガネがうらやま これ以上は 女か

したよ、 ぎゅむっとつかんで押さえつけてお湯をばしゃーっとかけてやりま しそうな目で見てますね。 つるつるぷにぷになので綺麗さっぱり流れていってますが。 こっちはわたしがやりますか。

きそうなんですけど。 ちょっと小さすぎ。 しゃがんだまま抱え込んで乗っかってみる もうふたまわり大きいとのっかってぷよぷよで

でぷにぷにでって上ではずまないでくださいいやもっともっと。 けられたとおもったら乗っかってきましたか密着ですかふにがふに かわらずたつものがないヘブンな地獄が再来ですかってお湯ぶっか よ。クルスさんの目の前に引きずられてますってクルスさんしゃが な光景を堪能してると後ろからぎゅむってされて連れ サマサさんに目を奪われるというか目の前で繰り広げられるへぶん くりお豆がって目の前30cmはちょっとまずいきけんです。 あい んでるからナニがぷっくりがくぱぁはしてない一本筋の頂点にぷっ てかれました

へびーですね。

湯船の中に入れてもらって開放されましたがへびーです。

あぁ、 なかいっぱいです。 目の前にサマサさんのぷにぷにがたゆたゆしてますがもうお

* * *

サマサとアスター が先に上がった後は妙に静かな物だ。 さっきまで

妙な沈み具合というか浮き具合で漂ってる。 アスターにじゃれ付かれながらサマサにじゃれ付いてたハガネも微

ちょうどいい機会かな。

「ハガネ、ちょっといいかな?」

第22話 月下湯上卵肌

たゆたってたらクルスさんに説明求められました。

取 チでいいとかも適当に。 元の記憶からよさそうな物を再現してみたってことで、 り込んだから元とはずいぶん違う物渡してるのはわかってたけど、 分類上コダ

何でコダチ×2にしたかって?

いこー』 『金髪ロリっ娘くのいちがコダチ二刀流で森のなか駆け回るとかさ

記憶の底の声がそんなかんじで涌いてきたのでやっちゃ いましたよ。

当に木の太さとか変えたカカシをだして見た。 思うんだけどね。 刃がドラゴンのウロコなので引き切るもよし、 まだ試し切りとかしてないみたいだったので、 叩ききるもよしだと 適

モノがモノなので雑にあつかっても大丈夫だとおもうのよねー」

似た物ではあるのだろう。 ふむ?コダチというのか。 昔見た記憶のものとは違うような。 まぁ

上から横に伸 試し切り、 何やら細木で雑に組んだヒトガタの物を数個立ててくれ ということだろうね。 びた腕木に叩きつける。 とりあえず一振り片手で持ち、 てい 真

カンッ

連続して数回っ。

カッ、カカンッ

左右から縦の軸を。

カカンッ

どその分適度な重さもあるからだろうか。 ほどの木とはいえもう少し抵抗感じるものなのだけどね。 振り回して当てるだけで気持ちよく切り飛ばしていく。 直径5c 分厚いけ m

首を軽めに、なんていうか小指側に曲げて抜くような?」 新たにカカシを出しながら言ってみる、 叩き切るのもいいけど引き切るのもいけると思う、なので プして革鎧つけた物。 クルスさん逆手で持ってすり抜けるような感じでやってみて?手 木材も10cmにサイズア

ハガネの言う逆手に変えてみる。

うーん、これだと重心が肘の方に来る感じ?

かな? なり厳しいね、やるなら体軸をかなり捻らなきゃならないかな。 の持ち方だとハガネの言うとおり移動してすり抜けざまの方がい 刃渡りのリーチとか関係なくて密着に近い状態か。 振り回すのはか こ 11

感じで。 リーチなくなる持ち方なんだけど試しに斜めに一歩、 わざわざ革鎧つけてる以上あれを切れということよね。 更に踏み込む ただでさえ

スパンッ

立ってる。 削れている。 どうにも力入れて振りぬくようには無理なのだけど革鎧は綺麗に切 ないような当て方でも5m ら考える。 れて大口開けている。 ドラゴンのウロコだからだろうけど、こんな力も入って 刃は鉈みたいな感じなんだけどずいぶん鋭いというか もう一度順手に持ち直し腕木を刃で叩きなが m~1cmほど食い込んで当てるたびに

カツ

そういえば引くとかすり抜けるとか抜くとか言ってたね、 て止めたままの刃を滑らせて 木に当て

スゥ

れ 簡単に1 cmほど食い込んでいく。 抵抗感は、 刃の厚みの分だねこ

革鎧に斜めに刃を当てて今一度軽く引いてみる

スルゥ ストン

り切れてるね、これ。 刃の半ばほどまで食い込むというか切り開くというか下の木もかな

その為か。 逆手だと超接近戦かすり抜けざまに切っていく感じかな?順手でも ドラゴンのウロコってすごい。 スグラインドなのよね。 力で振り回し叩き付けるわけじゃないから短めの剣、 叩き切るより当てて引く、元から滑らせるように当てる方がいいか。 それにしても刃はホローグラインドじゃなくコンベック 叩ききる設定なのにここまで切れるとは、 微妙な曲線も

これ使うなら動きはかなり見直さなきゃならないわね。

これで切るとどうなるか? 魔力を刃に載せるとたちまち縁に見えているウロコが輝きだす。

軽く上段から振り下ろすように。

ブォン

さらに" 刃を当てた手前のヒトガタは抵抗もなく両断。 何かが_" 飛んでその3mほど奥奥のヒトガタも両断されて

ハガネ、これなに?」

けど、 本職 研ぎ上げればカミソリとまでい まくつけれてるみたい。 のつけ方なんだけど日本刀はこっちの刃付けなのよね。 クルスさんに引き切る、 いろあるけどね。 の人は上げ砥で研ぐからそういう刃だと綺麗に切れるとかいろ ア レは観賞用と言われるのも事実、包丁でも鉋でも鑿でも、 鉈とか斧みたいに叩きつけて使う刃物の刃 を試してもらってたのを見る限り蛤刃もう われるぐらい切れるのはおなじみだ

どーでもい に切れるしね。 すのは無理だろうから荒砥はい 中砥で十分、 から上げ砥は意味ないし。 中砥の方がかえって食いつきはいいから完熟トマトとかも綺麗 いけど、 赤いレンガみたいなやつね。 一般家庭に一つ置くなら80 そこまで研ぎ上げられないってのも らない į 酷い刃こぼれ 毎日研ぐことないだろう **0** を研ぎなお 0 0 0 ある

らします。 ちなみに実戦向けだと" うかで鉄製甲冑切断とか関係ないけど。 この辺はせいぜい肉とか皮膚に布服、 寝刃を合わせる" とかいってわざと刃を荒 精々革鎧切るかど

大幅に脱線してましたよ。

で、何と言われても魔法がらみはさっぱりなわけで。

「さー?」

これ以外いいようないのよね。

* * *

けどさ。 ハガネに魔法がらみのこと聞いても答えかえってくるとは思わな とりあえず離れたところにあるヒトガタ見据えて何度かき

りつける、と言うか振り回す?

そのたびに緑の輝きが飛んでいって着くと同時に切れてる。

ほんとナニコレ。

りすぎる。 リーチ短いとかおもったら飛び道具だった、 何がどー なのかさっぱ

感じかな?ある程度の距離で拡散しちゃってるっぽい。 ろ5mぐらいは"切れる"みたい。 魔力の込め方次第で距離とか変わりそうな感じもあるね。 それ以上は叩きつけてるような 今の

とりあえず把握に努めて理解はあきらめよう。

だし、 ね。 とにかく。 短いのも狭いところで使えることを考えれば利点でもあるわけ 飛び道具つきなら問題はないとも言える。 切れる" から使いこなせればこれほどい い物はない

ところで、 これってどうやって持ち運ぶのがい の ?

やはりそっちも引っ たし。 かかってましたか、 鞘はとくに何もつけてなか

けだよね、 後ろとか。 抜け防止に紐とかならつけますよ?」 とりあえず帯かベルトに挟むような感じかな?位置は腰 クルスさんが剣を携帯してるのっ 位置はいつも違ってたからどうするかわかんなかったし てベルトに挟んでるだ の横か真

らどうするかな? とりあえずベルトつけてどう保持しようか考え中。 二本使いたいか

腰の後ろでクロスさせるか。 両脇に一本ずつ、だと邪魔なような気もするね。 ハガネ、 で勝手に収まってたから見にくくても大丈夫だろうし。 紐かなにかで鞘が抜けないようにしてみて?」 しまう時は"鞘にひかれるような感じ

ぷりん、 うなものは見えないというか とお尻を突き出すというかしゃがんで振り返るので見えそ

お気づきでしたよね?

クルスさん湯上り全裸ですよ?

とかだとさらに引き立っ の下白いスベスベの肌、 今は腰に太めのベルトをつけて小太刀を二本挿してますが月明かり 茶色い たろうに惜しい状態ですよ? 革のベルトがアクセント。 鞘が黒漆

いいよね、ここ。お尻から腰骨のとこの窪み。

な。 きつけるように末端に根付みたいなのつけたから抜けたりはないか なんとなく鯉口の下に紐巻きつけて固定してそれで括るというか巻 あせりながら聞いてみるとベルトごと外すから固定しちゃってとか。 「えっと、あの、 鞘ぬくとかはどうするの?」

良心最大限発揮っ。「そろそろ服きないと風引かない?」

わらずいまだ熟睡中。 朝食の支度をしながらア ルケの様子を伺う。 昨日一番に寝たにも関

消耗した体力を回復中?

なんとなくそう感じられるので無理に起こすことはしていない。

び降りというか? 消耗するような事というと異常なペー スの山越えというか山から飛

往復20分程の全力疾走とそのときの怪我、 スタミナはそうでもなかったということだろうか? ドラゴンと混じることで力は人を超越してしまったようだけれど、 切り傷に打撲が無数。

それとも鍛錬のように繰り返せばこれも克服できるのか、 すぎるのも困ったもの。 強く

ば ば竜の棲家を通り抜けねばならない、うまく縄張りの境目を突けれ 日はまだどうにかなる、 l1 ずれ が肉食の小型竜に追われれば厄介だ。 にせよ、 しばらくは抑制するようにしないと危険だ。 移動するならばだが。 それ以降、 森をでれ 今日明

行きに来たルー ているがそちらに戻るなら馬を捨てねばならない。 いるから。 Ļ 樹海を縦断する獣道その分岐はすでに通り過ぎ 飼葉が既に尽き

思い返すと剣士一行は帰るつもりはあったのか?

を思うと少なすぎる。 食料の余分はあっ たが飼葉は切れている、 そして食料も帰りのこと

に運ぶことは出来るが、 今の私たちにはハガネがいるおかげで刈り取りさえすれば草を大量 私たちの食料に少々不安がのこる、 穀物が

少なすぎるから。 らないとはいえ、 では違いすぎる。 抜けてすぐ街というわけでもな 偵察なしで進めるので森を抜けるのに なくてもどうとでもなるのだが、 ある のとな 週間かか

それに、 ここへは森の意思。

ば森を抜けるらしい。 5kmほどのところに結界らしきものが、 は今また《エレメンタル・ディテクト》を行使中。 というかサマサが探査で導かれたルートだということ。 悪い感じではないが気になるので再探査中。 もっとも10kmもいけ なんでもこの先 そのサマサ

沿いで開けてる旧街道跡とはいえ、既に木々に埋まりきている5k うが無難か? må アルケをむりに起こさないとなるといつ出発できるかも不明だ。 安全確保とキャンプ地確保を考えればもう一泊ここで過ごすほ Ш

クルスさんに念を押されたので再ど探査中。

けれど、 そして今日 精霊にこのキャンプ位置を進められた以上危険では 敵対的過ぎる なので強引に精霊にお願いすれば見えるでしょうけれど、 が張られていると予想はしたがそれもはっきり見たわけではない。 昨日 の探査でも変わらず、 かも の探査でもこの先ははっきり見えていなかった。 しれない。 なにやら精霊の結界のような気配 ないと思うのだ それでは

結局は行ってみるのが手っ 取り早いのですけれど。

ケさん次第ですね。

ら観察、 は起きていた。 配は していたけれど、 というか推測 昼前には完全にいつもどおり。 したことを話し合ってたのだけれど l1 ろい ろ探査とかしてるうちにアルケさん ゆっくりお茶

つ わらず傷つけばその分回復に時間かかるのではないかということ。 てことで間違いないんじゃないかということ。 のことな ので確定はないけれど、 全力で動けば後に反動が出る それと体の内外関

する過程 私たちの で増強されるらしい 知識には なかっ たが過度の運動ので筋肉に傷がつき、 回復

だろう、 もっとも殆ど返したはずなので全身ドラゴン化とかになることはな それでは不足となれば全身が強化の対象になってもおかしくはない アルケさんはあくまで右手首から先はドラゴンで血もドラゴン化 いんじゃないか? ているかも 少なくともヒトは不完全なモノと判断されてるようだし。 しれないが、他はヒトのままなはず、右手首を支えるに

今起きた本人はぐっすり寝て目覚めすっきり? あってるかどうかなんてわかんないそうだけど。 とはハガネの推測、 右手首が治されたときの感じ からの判断なので

うしん

のか?とか聞かれてもさっぱり実感がない。 ろいろ超えちゃ 昨日バカみた しし ってるとは思ったけどね。 に山を駆け上がり飛び越えたりはしたけど、 今も昨日より強くなった 当然い

ゴンも寝たがってたわよね 力を使い切ったら落ちて熟睡、 なんだろうか?そういえばあのドラ

どさ。 私はすっきり目覚めてるから急に寝ちゃうことはないと思うんだけ

だけど。 ということで昼食後に問題の結界付近へむけて移動でい いと思うん

向こうに何か l1 るとしてたかが5k ẃ その気があれば夜に襲撃と

けど害のあるものじゃないと思うよ。 かいくらでも出来ただろうしね。 行っ て見ないとなんともいえない

* * *

ボクの ヒザの上で聞いてるだけ。 立場的に、 こういう話しはさっぱりなので大概アルケさんの

やっときたいことはあるし 取り込んであるモノの整理というか分解して素材化とかいくらでも

も精神的にこたえるし。 扱いに困るブツはどうしようもないんだけどね。 弄るにして

剣士とかはどこかに穴掘って埋めるかその前に焼いてもらいたいで というか ね 取り込んだままの肉、 肉ねもうそういうしかないけど。

र् なんとなく元の記憶的に。

鮮なわけで。 もう一方のゴブリン大量なんだけどさ、 わりあいできたてで新

見た目たしかに違うんだけど、 のよね 人とそんなに変わるようにも見えな

記憶の中の だけでなしに。 違う。そして同じ人の範疇であることも理解してる、 てるけど、 人種、 肌の色だとか肉の付き具合だとか骨格だとか、 これで区別するのはイケナイ事て感じがしまくっ 生殖可能とか 違う物は

ということな か後々のために一回がんばった方がいいんだろうか?ター 頭をよぎるわけで、ハーフゴブリンとかいるんじゃないの? ここでアルケさんがクォーターオーガだっていってたことだとかが トミア程度の知識すらないわけだし。 のよね、ゲンミツに調べる気にならないけど。という ヘルアナ

けっこう危険な世界みたいだし。 アルケさんの時のこともあるし少しは慣れた方がい うのもあるわけで。 なんとなくね、 知っ てるような知らないような? いのかななどと

貯蔵なので適度に血抜き済みにできあがってますね。 かけっこう綺麗なものですね。 洞窟出るときに回収したヤツはちょっと鮮度低め、 目覚めた時にのっかてたやつは鮮度抜群みたい、たぶんだけど。 とりあえず、 の中身が原因で内臓周りのぐっちょり度が増加してるぐらい。 破損状況とか〆てからの時間とか適当に判断して分 といっても冷暗 ちょっとモツ

かの境目ぐらい?さすがに生食はないけど。 モツの差でいくと包丁入れたら角がピンと立つ切り口に か食べ物の例えが浮かんできますね。 モノがモノなのになん なるかどう

腹まわりとか破損部分以外が綺麗な死体も避けておきます、 そのほかに鮮度よさそうなのが6体ほど、これもな 用に保存、これが3体。 剣でばっさりな死体はハラワタがいかれてなければ綺麗なので標本 んとなく保存。 こちら

10体ほど。

なんで避けとくかって?後のお楽しみ。

じに近いですね。 が食材ではありませんよ、 の 入り口付近の死体はさすがにお肉屋さん店頭の肉みたい まだまだ生でもイケルなどという声が沸いてます 断じて。 な

それでも、 かも維持。 取り込んだときから時間とまってるような感じ?たぶん温度と モツだって現状維持というかにゅるっぽさが無 と言うより変化無しといったほうがいい う

これは そういや風呂ごと取り込んだお湯もそのままの温度で排出できた あれだ、 熱々のシチュ を鍋ごと取り込んどけばどこでもす

保存すれば便利かも、 鍋作っとくか。 1) 出 して食 べれるんじゃない これは要報告で即実行すべきですかね。 か?小型鍋量産してお L١ て小分け 先に

分けはどうした。 き固めてやれば十分じゃないかな?ということでざっ 石に川原 的に鉄とかちょっともっ 鍋作るというか鍋じゃ なくて保存容器ならなん の砂利とか土。 この辺を適当に分解して整形したヤツを焼 たいないし、今大量に持ってる でも L١ くり作成、 l1 のは岩とか かな?素材

間やなことから目をそむけるものだよね。 スライムだけど。

結果、 個、 折角なので素材ごとに焼成温度とかいろいろ変えた 磁器みたいなのが3個 どう見ても石壺なのが1 · 0 個 オブデシアン化してるのが5 りし て見まし

ティー そういやボーンチャイナって骨混ぜるんだっけ?さすがに食器にゴ に混ぜて壺に ブ骨はないから鹿の骨混ぜてみますか。 カップじゃなしに。 して焼成イメージっと。 練習用なので湯のみサイズで。 白っぽ い石と骨の粉末均等

もの、 つくっ びで満足。 シチュ ちゃ壊しで何度もやれ ホンモノにはかなわな 急須と湯 ーは石壺で十分だし。 のみセットにお銚子にお猪口のセット ばソレっぽいものにも近づけると いだろうけど。 そのへんは素人のお遊 作っ て終 う

腑分け とかいわれたってどうにもなんない 内蔵引きずり出 さてゴブの死体に戻りますかね。 ツとかヤだし。 したこと無い して見てみるけどなんとなく人間と変わらん。 けどたぶんほぼ同じ。 ぐちょってる死体 けど。 じゃ アルケさんたちの補修用 ーどうに の胴 かなる 回り、 から 人間

そ は 無 61 としても 《死霊魔術》 とか有りそうだし使えるかもね

みるとか、 ほかにも何かあるかもしれないし。 あれって巨大甲虫の殼とか魔物の肉とかだし。 たとえばオ ラ 1 作って

う魔法あればの話だけど。 甲虫の殻のかわりにフルプレー トでもいけるかな?そもそもそうい

メだね。 剣と魔法の世界みたいだけどどういう具合なのかは確認しないとダ

そのへんは今後の課題、とりあえず観察しながらダメそうな部分は

医学的知識もとめて腑分けしたらネクロマンシー てたけど良しとしとこう。 期待な保存になっ 取り除いて綺麗なブツを保存しとこう。

第24話 樹海を抜けるとそこは村

なんていうか、あっけない。

急に森が切れた境目が結界ではあったようだけど、 いのでそのまま踏み込んだと言うか、無防備というか。 な気配がな

結果、目の前に広がる田園をみて唖然とするわけで。 待ち構えてた 村長に連れられるがままに招待されお茶などをいただいてると言う。

何でも精霊に教えられて待ってたとか。

うな具合らしい。 こういう土地に暮らすからか、精霊とそこそこうまくやれる人が多 く結界事態もどっちかと言うと森のほうが勝手に作っちゃってるよ

扱い? そんなわけでドラゴン化とか精霊感応上がり切ってる一行は神さま

ですね。 宴とかではなしに静かに迎え入れてくれたことは非常にありがたい

そう思っていたのは最初だけでした。

それにしても緑茶にお菓子とか手馴れてますよね。 ちなみに馬のほうは村の人が世話してくれてます。 練りこんだ餡子はさんでます、モナカっぽいですね。 鉱泉利用のサクサクした歯ごたえの煎餅風のが出ました。 の仕事にあこがれてたそうだ、 元々温泉保養地だとか。60年前は旅籠やってた家の出だとかで親 くり。なんかえらく手馴れてるなとおもったら村長の爺さん曰く、 まずは宿にと案内されてついたら歓待コース、 いろいろあって継げなかっただけに。 旅装を解いてごゆっ お菓子のほうは 至れり尽くせり。 水あめで

ボ クはあ 11 かわらずカバンに入ったままアルケさんに抱えられてま

す。 ヒザ 脇に の上だとお菓子もらいやすいのでOKですよ。 おいといても大丈夫だと思うのですがカバ ンの中とはい え

毒とか盛ってたらって?その辺はサマサさんがこっそり調べ済み。 るだけでとくになにも言われないので敵意とかないと思うんだけど。 あからさまな武器なクルスさんの小太刀もベルトごと手元に置い て

ただ単にまったりお茶たいむでなしに村長さんから村の由来だとか いろいろ話しがありました。

り奥は完全に放棄というか封印というか。 かいつまんでまとめると60年ほど前に取 り残された村で、

竜のいた山の麓にそこを信仰の対象とし守って にあった獣人の国が半分ほど樹海に埋もれて、そこからの避難民の 一部がこの村に残ったらしい。 た村と、 その向こう

それ以外はデ 人は知ってたとか。 イファ レイとヘロナマウトに移住してるから知っ て

特に牛の因子を持つ一族はほぼここにいるみたい。女だと性的に狙 ここに残った獣人は山や樹海に適応しづらい因子を持つ人たちで とですね。 を乗り越えるのはどこでもやってるみたい。 似たとこがあるようですが。 われやすいし男だと物理的に致しがたいとか。その辺は馬の因子も したらできるそうですよ?アルケさんが頷いてたので物理的な差異 どうしてもヤリたいならゆっくり拡張 オーガも巨大というこ

うで、 男手の半数ほどがヘロナマウトやディファレイへ稼ぎにいってるそ ということでこの村にいるのは牛人に馬人と元からいた村の子孫、 からだそうな。 上のほうともつながりはあるらしい。 兵士として優秀な人が

とはい 本当だかわか え、 アルケさんたちはさっぱり知らなかったそうでどこまで んないとか。

獣人の国自体はまだ顕在だし、 ても ても不思議じゃなかったそうですよ。 行き来もできなくは それが魔属領の向こうだとし な ١J から街にい

息範囲を挟んだ向こうにあるので微妙なところだけど、 として兵役も出してるとか。 そんなこん なで隠れ里化してるけどディファ レ イの支配圏、 この村出身 竜の 生

開拓村の一つとしての扱いみたい。 なりの規模だったりする。 一応、モー タリスが村の名前。 具体的にどこにあるかは秘密だけど 村民およそ14 00人なのでか

ました。 積極的に 知らしめてないこととはいえ、 いろいろ詳しく語ってくれ

前に皿がでてます、 4つほど。 お茶請けのお菓子がなくなってしばらくしたら軽い膳が出てます、 板の間ですがアスター もわら座布団に座ってますし目の 骨付き肉が振舞われてました。

が軽くこれまでのこと説明してました。 膳は4つ、 かからこんにちわ、 間違いなく察知されてますね。 改めて村長さんにご挨拶。 ということでカバンの ついでにアルケさん な

当然ですか。 隊と剣士一行に顔 ないと詳しくわからないそうだけど。 物としては南部でよくある形式、 村長さんとして龍 話のつ の血に反応つよいのは当然として、 しかめてます。 11 でに彼らの装備をいくつか出してみましたが 信仰 刻まれている魔方陣は専門家じゃ の対象に手出しされ ゴブリン てるので

すそうですので、 とにかくこの話をまとめ手紙にして急ぎで使者をへ んどきま した。 その筋からギルドの方へも連絡してもらうように ロナマウ

棲竜は村にもいるらしくて抑えられると言うか共生状態?精霊感応 ス川に筏うかべて下るのが一番安全、 ちなみにディファレ 平原との境目 ところでは に狼に蛇にと か確認しなけ 村長は村 いとどうにかできるそうだ。 の人たちと会合、 な の森は小型竜が巣くってるのでかなりの危険度だとか。 かなりやっかいな所だそうで、そう簡単に入り込める ればいけないのでその相談だそうです、 いそうですが。 イへ行くには村を西から東に流れるミルストニ 樹海の奥に来たゴブリンがたまたまな ついでに言うと村の東側、 馬を載せるのは大変だけど水 結界の外は熊 ヒレアスト

にめぼ その間私 しいところでご挨拶も たちは村長の奥さんに村を案内してもらってます、 つ 11 で

どういう風に話しが行くかわから無いけど街に戻るよりここにい 方が安全みた いですしね。

挿してるので余計そう見えます。 すぐ後ろにいるクルスさんは護衛みたいですね、 アルケさん先頭にそ の横ちょっと遅れるようにして村長の奥さん、 腰 の後ろに小太刀

私とアスター ちょっとした散歩気分。 は声が聞こえるギリギリぐらいをついていってます、

竜のこと聞 森に囲まれ 11 た水田、 てい なかったら 中央に流れる川、 点在する家、 周囲の獣や 小 型

険視 りも無 どこの理想郷ですかと聞きたくなるところ。 うのはわかってるけど、逆に考えるとそれを抜けられたらひとたま んだとか。 してると。 いですね、 聖龍の洞窟奥までゴブリンが入り込んでたのをかなり危 とかいって見たら村長はそのこと含めて会合中な 結界があるからだと

リンが居ないことは言ってありますが、 メンタル・ディテクト》 の結果、 1 街道跡を辿れば移動は k m ほどの範囲内に は

砦や城壁も皆無、 そんなことを喋りながら廻ってると なりそうな成人男性の半数は出稼ぎで村に不在なのも痛い そういう目で見ると酷く脆い 川にかかる橋も木製でちょっと頼りない。 のがこの村の状況、 孤立している上に 頼りに

が顔だしてますね、 などとアルケさんのお腹のあたりから。 ないなら作ってみせますか また何か作るつもりですか。 カバンに収まってるハガネ

* * *

結界抜かれたらちょっと危険かも? 話をまとめると、 この村に長期逗留予定、 樹海の中の隠れ里なので

ボクらがお世話になるのは元旅籠、川沿いに点在する温泉付き旅籠 跡の一軒、それぞれが屋敷森に囲まれてるます

始 次に館側に高さ4m 中央に櫓風の建築物も追加。 溝ブロックつくって設置、セラミック製。 なのでちょっと強化してみたくなったので奥さん権限で軽く作業開 長さは50mでやってみました、 屋敷森にまずは空掘りをさっくり掘削、 の壁を設置、 1 用水路みたいな感じですね。 m置きに狭間を付けて両端と とりあえず巾5m深さ5 法面は削った土でU字

時間に り移動は苦手ですよ。 して1時間ほど、 掘り進めるのに時間かかってます。 やっぱ

ということで村の人に掘ってもらえればこんな感じで補強はさっ 時間かければ城もできるかもとか提案してみますよ?」

さすがに奥さんだけで判断できないので隣の旅籠で会合中の面々呼

んで来てもらいました。

出てたみたいな 会合の方でア ほど追加で実演 ルケさんたちのことと一緒にボクとアスター ので隠れる必要なくなってます、 してみたり。 なのでもう1 のことも 0

皆さんびっ の血のアルケさんが巫女というか教祖でボクはその使い ションみたい、 くり アルケさん拝み倒してる人もいますね。 してますね、 というか拝み始めますか。 とい 魔的なポジ うか龍

築する場所の選定と、 きました。 そんな感じで村長さんたちは再び会合です、 とにかく落ち着いてもらいました。 作業要員の選出に資材の確保とかお願いしと 精神的に疲れますよ。 ちょっとした砦風に改

* * *

そんなこんなでホントにごゆっ 元温泉旅籠なところを貸しきりにしてくれたので温泉堪能 くりたいむ。

ざぱーん

)

ぷかぷか

ばして浮い 再開できそうなかんじ。 庭の手入れも十分されてるし、 まで3人が余裕で入れるサイズ。 元旅籠だけあって広い露天風呂、 てそのまま泳げる広さなんてなかったわけ ちらっと見える垣根も含めい 間違っても、 今までハガネが出 飛び込んだ挙句体伸 してたのは で つでも あく

h 快適ですね

快適な

のは広さだけではない。

ある程度水で薄めるそうだが。 というと前もって水で割ってくれている、 村長が気を利かせて特産の米酒を持たせてくれたのだ。 というか店で出す時点で 風呂で飲む

それを桶にいれたサマサの冷却魔法で作っ た氷の山に瓶ごと挿し

椀に注いだ酒をくぃっと呑み。

最初はそう思ったんだけどその薄め加減と十分に冷やされているの ですっきりのどごしというかくぃくぃ呑めるのね。 飲む濃いヤツとは趣がまったく違うね。 などと声が出る。 うん、 確かにこれはいいものだ。 水でじゃぶじゃぶ薄めてる、 酒場で喧騒の

風に晒してるのが心地よい さらに温泉の縁に腰掛け足だけ浸かる、 上半身は川面からの冷た 61

漂ってる。 ほほえましい、 そのアスターは木桶を船にしてサマサのそばに浮かんでる。 精を求めてくるがクルスは最初に椀一杯飲み干した後、 サマサは湯に肩までつ 今呑んでない 顔だけ出してサマサにくっついてる。 かりぼーっと浮かべている、 のはハガネとアスターだけだ。 時折こちらに酒 湯に浮いて うに

むぎゅ ハガネはというと私のヒザの上である。 つ だんだん起きてるのがあれですよ。 ともたれかかってい いじゃない、 正確には胸 もたれ にしてもあったかい かかれるんだから 肉の下? けど

なんて思ってたら。 あいかわらずぷにぷにでつるつるよね

ブンすぎる』 なんかむっちりフトモモと押し付けられたぷるぷるにむぎゅってへ 『ぷにぷにつるつるー つ ていうかアルケさん酔ってるなー

なんか久々に繋がった感覚。 7 へぶん~なにそれ

なんだ。 かなり酔ってるのが自分でもわかる。

うりうり なんかしらんが気持ちよさそうにしてるのできもちよくなってやろ! ていうかぷにつるなの気持ちよいね。

ちょっと危険 ないような? か?というから酔ってるせいでいろいろ垂れ流し状態?』 しますがなんですかこれ。 おおう、 なんか繋がるの久しぶりですねって、 かも、 繋がってるってことはどうにか出来そうな出来 繋がるのは思考だけでなしに感覚もです なんかふにゃっと

ぽっ というかアルケさんのぽっちがボクのピンクのぷにつる肌にめり込 んでますが。 ひょっとしてここで繋がりましたか?

すか。 る腹 の ちょ っと血管に繋がっ て強引にアル ル排除して

急にクリアに イというか怖いというか。 なったっ、 なにこれなんかすっきりし過ぎでキモチイ

酒精とりのぞいてるとかなんか無茶しすぎてませんか? 繋がりっぱな しのハガネ曰く、 極細 の体で血管に取 り付 てそこで

何?このままイメージ伝達実験やりたい?よくわかんないけど任せ

最初は三角だとか四角だとか、 んでくるような。 言葉でなしにソレっぽいものが浮か

浮かんでくる。 つたわってっくる。 少しずつ複雑に、 いくつか続いた後、 といっても壺だとか桶のようなわかりやすい形が ダマスカス鋼の短剣とか小型シャベル サイズ違いや材質もなんとなく

する。 クルスの小太刀など見覚えのあるものだとかなり正確に伝わる気が

昔見たときでも背丈ほど、 た。 そのまま『 のでこのまま武器作ってみるかと聞かれたので二つ返事でお願い かから引っ張り出して補完されてるんじゃないかな?とか。 思い出すのは出身の村の神殿に奉納されていた大太刀、 知ってるものははっきりわかるね』 柄は腕一本近く。 大鬼の太刀として言い と伝えると記憶の 折角な 刀身は

伝えられていた一振り。

だろうに大丈夫なのかな? ルケさん のお求めはなかなかの代物、 というか使っ た事無

どうするか考えなきゃなー 作れなくは無いけど重すぎたら振り回すだけになりそうな、 収納も

神木乃大太刀》 柄の金属部分に銘を刻むのも忘れずに《甲》 らに1~2mmのウロコで覆って作った大太刀を膝上に出してみる。 部分は厚さ15mm、 木刀ベー スにして金属コーティ ティングした上で刃をつけてみるかな、軽く出来そうだし。 とストレー 巾50mm、それに8m トに刻んどきます。 ング、 さらにドラゴンのウロコをコ の字と反対に《碧龍鱗 mの金属で覆ってさ 木刀

ったかな?長さとか柄はほぼそのままだけど厚みがぜんぜん違うし。 込めるなと? 扱えるかわからないからゴツ目にしたと、 かなりゴツイものが出てきました。 イメージはきちんと伝わらなか なるほど。あと、 魔力は

らないけど。 られてくる。 繋がりっぱな 魔力込みはえらいことになってるみたいね、 しのハガネからクルスが振るう小太刀のイメー ジが送 よくわか

念のためサマサとクススがいない方へ向いて立ち、大上段から振 下ろし水面で止める。 1)

まずは軽くゆっ く仕上がっ かな? てます。 くりと、 これなら振り切ってももってい 見た目に反し金属の塊ではにの かれることは無 でかなり軽

全力で

ヒュゴゥッ

水面で止めるっ

遅れてきた剣風でお湯が撒き散らされる。

広い露天風呂だけど3cmは減ったかな?

がにらんでますよ。 アスターが乗った桶がひっくり返って飛んでいってますね、

アスターは無事なので許していただきたいところ。

起き上がった私の正面にたって見上げてますね、 ますとかしゃれになりませんがって加減したから尻ですと? たよって消えうせたと思ったらお尻に衝撃が。 クルスは縁の石に頭ぶつけたみたいです。 こっちもにらんで来まし 胸肉で圧殺してくれるわっ 背後からとび蹴りか 無防備もいいとこ。

きた 肉の有効利用。 スキをついてがばっと抱え込んで顔を肉で埋める、 そのままうりうりぐりぐりしてたらハガネが諌めて 無駄にでかい 胸

ですが』 クルスさん鼻血ふいてるので程ほどにしてください、

る村、 樹海 モータリス。 の中を東西に流れるミルストニス川に沿うように水田が広 が

造りであり他の街道筋の宿とは趣を異にしている。 ぞれの宿は露天風呂の目隠し目的のついでか屋敷森に囲われている 普通の宿もあったであろうが今は無い。 村の有力者の所有でもあるため大半が住居兼用で、そうでなくとも 中心部は川 の公共施設として利用されそれなりの状態で現存している。 を挟んで橋がかかり、 両側 に温泉宿 (跡)が残る。 60年前なら極 元 それ

点在している。 むろんそれ以外にもハンターはいるし特に固まることもなく農家も に水田や畑作の農家の集落。 る 川沿いに加工場が数軒、 た上に結界が張られたおかげでかなり安全な集落であった。 中心地はあるが100軒ほどが散らばるように点在している。 ミル ストニス川上流は川の南側に大きく開けており、 樹海に取り残されたとはいえ、 北側にハンターの集落が10軒ほど固まる。 下流付近には南側に牧場がい いや、逆に取り残さ 4 くつか、 0 軒固 ま

るූ 障害があるため生産も激減、 がなくなったため人口も大幅に減少することになったのだけれど。 難民の通過点として殺気立ちはしたが 東部を小型竜により封鎖された以外目立つ変化は無かったとも言え 良質 塩や鉄製品などの購入に支障は無い。 むろん、周辺にあった小規模集落や街道の街としての 0 年前の当時もゴブリンの襲撃はここまでこず の水に恵まれ るおかげで酒造りも盛んであっ もっとも逆に高値がつくようになった 周囲を樹海に呑まれ、 たも 周 の 囲からの の流通に 人の往来 村の 避

の村にドラゴン (龍) の因子の濃 ア ル ケー 行が来ることは精

結果、 そしてゴブリンが聖龍の山奥まで入り込んだことが危険視される。 するまではよかったのだが。 霊より村 くハンターを中心に3組送り出した。 伝令をヘロナマウトへ送り、 の シャ マンに伝えられており、 彼女らがここにきた原因となるもの、 北部の街道跡を中心に探索すべ 村長と顔役で出迎え歓待

改めて、 朝食後に訪れた村長と顔役より聞かされる。

それでですなぁ、 なんと申しますか、 村の防衛の方なのですが」

村長が切り出す。

おりまして。 村の男手の多くが兵士としてヘロナマウトとディファ 無論、 村の農作業をする者などは十分にいるのですが」 イへ出て

もわかるのですが。 込むゴブリンが出た以上ここも今までどうりと行かない ら結界のようなもののある聖聖龍の山の麓の森を抜け、 「昨日、見せられた通り魔法ですべてかたがつくのであれば楽なの 早い話が大掛かりな工事というのはすぐには難しい。 のもわかる。 奥まで入り しかしなが

絶されても維持してこれたのですから」 てしまうのは明らかなのです。 ハガネ様の魔法に全てをお任せしてしまうと村のものが依存しきっ 我らの村は自立していたからこそ隔

50 私たちの方は呪術を使う剣士一行の背後関係を危惧していますか

移動かもしれませんし」 もちろんゴブリンのほうも気になりますが、 規模としては

膝の上にハガネをのせたアルケが答える。

つ ただいているだけでも感謝しております。 このようにもてなしていただいているお礼をさせていただきたく思 無策の ております」 ままヘロナマウトへ入ることを思えば、 さらに滞在の許可、 村が間に立っ て

われ、 くとも剣士一行に関してはそうだ。 ある意味彼女らが凶報をもたらしたともいえる状況 それゆえに追われる可能性があるのだから。 何らかの組織に属していたと思 で あ

はありませんが」 りません。 昨日もお話し もっとも東西に伸びる村の周囲全てを探査できたわけで したとおり、 ゴブリンの気配は周囲1 0 k m には あ

全部を回ったわけではない。 昨日、 村についてから中央まで、 その周囲は案内されは、 したが村

にりつつ喋るさまはなんと言うべきか。 査は出来ていない。 また、 結界のせいでもあるが村の中からではそとを探りがたく探 そのあたりのことを特に意味もなくハガネをぷ

に狩に行く程度ですから」 ほどといったところでしょうか、 我々もそう森に入ることは無い のです。 村との境界付近での伐採と少し奥 精々北と南の森に5k m

ょ がありま に奥へ向かう道の跡もありますので。 その範囲内でも廃墟、といいますか小集落跡はありますし、 りは移動しやすい の合い間にあった獣人国の跡を通ってノスグランデまでいく街道 その名残はもう木々に埋まっておりますが何も無い ですから」 少々遠回りとなりますが、 さら

神龍とおぼ たであろうけど。 あえてアルケの顔 しき雰囲気を持つ相手であるのでどうであっ から視線を外さずに説明する村長。 ても崇めて もっとも、

備えをしたいとも思いますが、 どういっ た事態なのかがまだまだ

不明なのです」

少し間を空け、俯きつつ。

だましなのですが、樹海に包まれている村ですので、手に負えぬ数 でありますと逃げ場が無いのです」 もし、仮にですが、村に侵入されますと迎え撃てる数であればま

村長は顔を上げ、困惑した顔で語る。

60年前はまだ子供でしたがずいぶん荒れたことを覚えております」 とはいえ、いたずらに煽るような結果となりますと。

所。これは食料保管庫を中心にいくつかの倉庫を囲えれば少しはマ シですかね、収穫物は各家で保管してますか?」 村と森の境界付近の巡回警備、 小集落ごとにちょっとした避難場

も行かないでしょう。 「東西のどこからか侵入されるとして、全てを中央にというわけに こういう場であればあまり喋ることの無いクルスが村長に問う。

また、 とに倉庫を避難場所としたほうが逃げ込みやすいはず」 旧街道跡の出口ごとに関か砦のようなものを作るより集落ご

ではありますが.....」 かしながらどこから手を付けるかとなりますとそれもまた問題

村長が顎にてをやり眉をしかめながら考える。

る 大げさに動 いて何もなかった場合、 無駄に労力をかけただけにな

村民に不安や不満の種をまくだけになるのは愚策。 修繕せねばならないのを先にやったと思えればいい 何かあった場合には役立つし、 倉庫もいずれは手を入れて のではあるが。

「ちょっとした倉庫や集会所は各集落にありますからそこをどうに する方向で話てみます」

申し訳なさそうな目でアルケを見る村長。

あんまり見せない方がいいのかもしれない』 と軽く答える、 こちらが手を貸すことにはさほど問題は無い がこっそり繋がっていたハガネから。

膝の上のハガネをまたぷにりだしながら。

てもかまわないが、あまり広めたくは無いからね そうだね、 あまり見せるのは困るかな、 魔法で作ることは知られ

材や不要な鉄などもあれば頂きたいが」 た土を使うから近くに積んでおいてくれると助かる。 それ以外に石 ちらで引き受けるということでどうだろう。 「空掘はそちらで掘っておいてもらってその法面や壁を作るの そうそう、 掘り起こし

新たにハガネからの注文を付け加える。

うか どをしております、 鍛冶は共同作業所で心得のあるものが請け負う形で農機具 外となりますと廃屋などで使ったものの回収ぐらいかと。 り場は森に埋もれてしまってお 正直量が無いものですのでご希望に添えるかど ります。 川から拾い上げる の修繕な 鉄ですが 以

ごとき一行の希望であるので差し出すのに異論は無い 村にとって貴重な資材であるだけに困る村長。 無論、 のであるが。 神の 使い の

繋がったハガネから。

回収 だけどそういう風に言ってもらえないかな? 『ちょっとした武器、 した鉄とかあるけど数が足りない 槍とかがあったほうがい ゴブリンの武器から いかなとおもっ たん

なのですこし表現を変えて切り出す。

がいるからですよ。 うなので。 我々の報酬として要求しているのではなく、 さすがにそういった物の数は無いですよね?」 鉄の方は武器を作ってさしあげたほうがよさそ 魔法で作るのに 素材

ただ閉じこもったところでどうにもならない、 他の街からの救援

そこそこあるでしょうが矢は数が無いかと、 ぐらいでしょうか。 で使える者は多いのですが、確かに数を揃えてはおりません、 年を取っておりますが兵役から帰ってきたものも多い いざとなれば鍬や鎌がありますが」 他は訓練用の棒がある です、 弓は な

ると誰も正解は知らない。 ゴブリンが奥まで来たことがなかっただけにどこまで備えるかとな ともすれば大げさな方に話しが流れるのを危惧しつつ、 とはいえ

えそうだが、 神の使いのごとき一行なので彼女らがいる間なら手を貸しても 何時までも村にいるわけでもないこともわかっている。

えるよう通達いたします。 改めて、ご協力お願いいたします。 どのみちやらずに後悔するよりやった方が良いに決まっ ご要求の品は出来うる限り揃 しし

また、各小集落ごとに建屋を選定し作業にかからせます」 深々と頭を下げる村長。

というか備えるのであればお手伝いしますよってことなんだけど」 て砦もなければ城壁も無いみたいだし、軍がいるようでもないから。 アルケもさっきまでと違い地がではじめている。 せ そんなに かしこまられても困るというか。ここは他と違っ

正直、堅苦しいのは苦手である。

゚いっそばらしてどーんとやっちゃう?。

まっ そんなことしたらゴブリンどころの騒ぎじゃないと思うよ たく、 こちらも出来れば公にしたくない のが困るところ。

央の三箇所。 うだうだやっていても埒が明きませんわ、 ままでだまってアスターを撫でてたサマサが結論を。 手ごろなところを選んでやった方が早いかと」 とりあえず西と東に中

に指示、 いうことで村長が顔役に東西それぞれ選択させ、 サマサに言われたからというわけではないけど、 自分は中央の準備をしに行く。 準備しておくよう それが結論、 لح

すぐに出立。 するしかないか。 れど屋敷森の木々を飛び回った上、穏行して背後に立たれては納得 で行って預ける為ですね。 クルスは村長に一筆書いてもらって東の森の探索に、馬で牧場ま 一通りいるであろう獣や小型竜について説明受け、 最 初 一 人でいくことに反対していたけ

説明なかったのでそのままもっていく。 っている。 サマサはできることが無いからとアスター ハガネから小型シャベルと紙袋渡されて怪訝な顔。 と散歩、 旅籠の庭を回 特に

に出すから試してみて』 9 暇なので昨日取り込んだ木を素材にちょっと作ってみるよ、

『ん、わかった』

端に適当な石を出してお試し中。 回したり地面に叩きつけたり、 まずは2mほどのただの棒、 庭石を的にするのはまずいので森の 強度的に使えるか見てもらう。 ij

と取り替える。 9 このままだとちょっと柔らかいかな、 カバンをお腹の前に固定してあるのですぐに取り込んで新 密にできる?』

わけだけど、さらに密度なども調整されてきた。 ゴブリンの槍と同じぐらいになるようにしてみたよ 昨日まで生えていた生木ではなく既に乾燥しきった物が出て

も使いにくい 硬け ほどほどに れば l1 しなりがあるほうがいい場合もある。 ١J のだけれど。 ってわけでもないからねぇ しなりすぎるの

無いと使えな 『槍とするなら3mぐらいが手ごろかな、 いし 6 mとかあると訓練して

街中や建屋の周りだと使いづらいのもあるけれど。

『こういうのとかどうかな』

新たに出したのはいわゆる刺又、それに突棒と袖搦もついでに。

『動きを封じるのに特化した道具なんだけど』

や十手も出したいし提灯も出したいところだけど自重 先端部はどれも鉄製でトゲだらけなのも歴史的資料どうり。

7 9 先端がU字なのとT字なのはそこで押さえつける為、 なんかまた変なもの出すね、 トゲトゲなのは殴るの?』 ゲは服と

かを絡めとる為と手でつかまれないようにする為ですよ

ない。 ってはいるが。 ら小さな動きで相手を押さえつけられる。 ればいい。 全長およそ3m、 また力いっぱい突くのではなく相手にたいして押し付けられ とうぜん棍棒のように力いっぱい振り回す必要も無いか 槍のように刺突面積が狭く突き損ねる心配も 反面、 殺傷能力は低くな

りて 実際試してみないとわかりにくい 村長戻ってきたら試してもらうから』 かな、 トゲ無し の U字のだしと

た棍棒みたいにも使えそうだしい 動きを止めたところで槍で突ければ確実かな、 いかもしれない』 短い しちょっ とし

そのまま渡したら変な棍棒として使われるんだろうけど。

トゲトゲのやつが一番わかりやすいかもね』 袖搦を持ち棍棒としての動作を試しながら伝える。 トゲで殴るだ

けで十分だと思うんだけど。

れまわる。 いわゆる戦い の動きを始めると半端に固定してあったカバンが暴

『縛り付ける方で、意識すればペタンコにもなれるし』 『ハガネ、 降りるかぎゅっと縛り付けるかどっちか選択』

幅広ベルトを出し、 カバンの上から押さえつけるように絞めても

固定具合を確かめた後。

を掴み、 き、捻り、 たたき伏せるように。 一歩、更にまわした左足でもう一歩進み、 いのまま身体だけ背を向けるように回転。 袖搦の終端をもち大振りのスイングを左右だけでなくカチ上げ、 細かい突きを織り交ぜ左右に振り、 かち上げ、 叩き伏せ。 何度か繰り返し、 左から振り上げ、その勢 離した左手で柄の中ほど 後ろからまわした右足で かち上げ叩き降し、 突

め取って引き倒すのは足飛ばせばうまく行きそう』 『実際使わないとわかんないけど、けっこう良いかもしれない。 絡

問題かな?』 型の刺又は嵌ればいちばん確実に押さえ込めそうだけど外した時が マー T字型の突棒はその幅広さが突きを当てやすくしているし、 のようにも使えなくはなさそうなのもいいかもしれない。 U 字 ハン

ァ ルケさんに渡す。 刺又を取り込むのでお腹のところにもってきて』 取り込んだ刺又をU字型からH型に、 ついでに刃をつけたものを

『いきなり凶悪度あがってるねー』

まで棒であるため危なっかしいだけで使いにくいというか、これだ と刃筋立ててあてるのは難しいね。 渡された刺又というより斧と槍の半端な合体物を振り回す。 あく

でなくていいと思うし』 『トゲだけのほうが良いかもしれない。 ちょっと当てがたいから刃

お腹のハガネのところに持っていって取り込んでもらう。

状ですが。 無難にトゲを増やす形で落ち着きました、 無難とはいいがたい形

そうで。 出来なかったそうな。 戻ってきた村長さんは恐ろしくて近寄るどころか声かけることも 奥さんはお茶準備して戸口の裏に隠れていた

よろしいでしょうか?」

それを見て村長の奥さんも出てくる。 盆に載せた大き目の陶器の椀 ちょうど動きが止まったところをみはからい村長が声をかける、

私たちが夏場の作業後に飲むため入れて置く薬草茶です、 小型の丼サイズ(にお茶を入れてき手くれている。 お口に

合うといいのですが」

を差し出す。 裏口脇の縁台にうながし、 薄茶色で少し香ばしい香りのするお茶

ありがとう、さっぱりしますね、 このお茶」

いる。 か非女性的、 縁台に半跏にすわり、片手で椀を掴みぐいっと飲む。 というか野趣あふれるとでも言うか。 かなり地が出て なんという

はかえってすっきりする物。 お茶はいく つかの野草を煎じたものらしく苦味が勝るが飲んだ後

繋がりっぱなしのハガネにも感覚を伝えてみると。

なんでも疲労回復以外にイボも取れるそうだが。 S ハコ茶に近い感じ?』 香りや苦味なんかで記憶から浮かび上がってきた名を伝えてくる。

だけど。 いただいてるのもわるくない。うん、 晴天の下、そよぐ風がきもちいい。 立ったままの村長見上げ、 なんとなく。 そういうわけにもいかないん このままぼーっと座ってお茶

「立ってもらったままというのは気が引けるというか」 縁台の端に横向きに座りなおし、 目で促す。

奥さんがお茶のおかわりにお茶請け持ってきてくれてます、 湯の

きお茶をいただいたあたり。 みでしたが村長の分も。 お茶請けのマクワウリをひとつ二つい

と、あらたまって切り出してきた。村の防備のことですが」

あるので手早く済んでいるそうだ。 のあたりは指揮系統 巡回警備は既に指示済み、 顔役 (長老) 男手の7割は元軍人なだけあるのでこ の指示だけれど もそれなりに

いえるものがそれほど無いのが改めて問題でして」 今まで結界に頼り切ってきたツケな のかもしれませんが、 武器と

遠い。 だけれど、 実際、兵役に行かせる前に一通りの訓練はするので多少はあ 弓は更に少なく、 数が少なすぎ、配備できたのは戦える者の半数にすら程 矢は無いといってもいい程度。 だったらし

なんとなく想像はしてましたから」

倍は兵役につくことが多いそうだし。 魔法で」 集落の囲いもないしね。 の女の人ばっかりだったしね。しかも男は女の人のかわりに普通の 「あまり大げさに晒したくないですが、 ちょっと見回っただけでも男手が少ないというか、 ほんと、どこの理想郷よって思ったもの。 北部の村なら当たり前にある 資材があれば造りますよ、 農作業してる

ところだろうか。 この辺は昨日も言ったような。 まぁ改めてお願い に来たと言った

にかしますが」 倉庫のような物があるならそちらに資材持ってきてもらえればどう 参考までに用意されている武器を見せてもらって LI ですか

でに倉庫を内側から強化 してしまおう、 なんてハガネから提

並んでいる。 る橋の袂で村の中心地でもあり、倉庫風の窓のない建物がいくつか 籠を出、 近くにある建物に案内される。 いくつかは高床式になっているので穀物庫なのだろう。 ミルストニス川にかか

ここなら堀に壁を作るだけで十分砦になりそうね

うがいい物だけど』 『手が空いてる人いるなら掘ってもらっとこうか、無駄になっ たほ

で火に弱いからどうにかしたいところなんだけどね。 あいかわらず繋がりっぱなしのハガネから提案。 木造藁葺きなの

りませんが」 ここが武器庫になります、 既にほとんどを配りたいして残ってお

本ほど、盾がいくつかといったところか。 う人が説明してくれる。 実際、武器で残っている物は槍と剣が10 いくつか見える。 ここの責任者といったところのおじさん、 訓練用らしき棒に木剣も たぶん顔役の一人だ 3

てい 分はそっちで作るから西と東にもそれなりにおいといてもらってい かな」 弓と矢はな いかな。 あと、 いのか、 木材とか石材の手配よろしく。ここ以外に回す 参考にしたいからいいもの持ってきてもらっ

おじさんに直接頼む。 ほんとうなら村長通すべきだろうが。

「とりあえず男の人に持たせる分が先かな」

だ。 も痛んでいるのだろう。 アルケは残っていた槍を手にしてみるが、 使える物は全て配備しているのだろう。 ということは他の残り 痛みの激 じい の

ハガネ、 とりあえずこの辺のなおしてみようか』

りょ ī かい、 とりあえず全部とりこんどこう、 訓練用のも』

「ちょっと全部使うよ?」

手に乗せ。この辺はドラゴンの棲家を掃除した時と同じ要領、 と撫でるようにして全部取り込み終了。 と声だけかけて、お腹に巻いていたベルトをはずし、 ハガネを右 さっ

『とりあえず直すだけでいいからね』

了解ですよって、剣はちょっと細工しときたいな、 こんなのどう

C

き換わっている。 出てきたのは取り込んだモノと形は同じ。 刃の峰の部分が石に置

石と炭素繊維のも出してみるけど試してみて?』 『芯を石材にして鉄を確保してみたよ、 石剣と木製の人型が出てくる。 2本を3本にできるかな。

「ちょっと下がってて」

石製のショー トソード 鉄製の倍は肉厚 を人型にたたきつける。

ガッ

ガコッ

上段から2連撃、ついで左から右へ打ち払う。

ガーン

切れることなく吹っ飛ぶ人型。

「石は今ひとつだね」

ならないよね?』 9 これだと棍棒のほうがいいかなぁ、 あとさすがにコレは使い物に

ボン繊維仕込みなのは同じ。 といって出てきたのはオブシディアン製のショー トソー カー

立て直した人型に同じように打ち込む。

ザクッ ピシ

刃はあるみたいだけど脆すぎ」

大きな亀裂が反対まで走っている。 るまではいっていないが、 一撃で止めて刃を見ながら呟く。 打ち付けた部分は刃こぼれし、 カーボン繊維のおかげか砕け そこから

けどほとんどつかっちゃったし』 『やっぱり材料無いのがつらいね、 鉱石らしき物からも抽出はした

* * *

「何をしておいでか?」

倉庫入り口に退避し、 覗き込んでいた村長に尋ねる顔役。

「おぉ戻られたか、手はずの方は?」

問いに答えず違うことを聞く村長。

ているし」 そのあたりは確実に、 弓矢の方もハンターの一人につかいを出し

「それなら問題は無いか」

いやまぁ、 それはそれなりにな。 で、 先ほども聞いたがこの音は

倉庫ないからは相変わらず酷い音が響いている。 アルキオネ様が試し切りしておられる」 くとなにやら打ち据えているのは見える。 入り口からそっ

な方ですな」 試し切りというか、 今は試し打ち据えか? させ、 なんとも豪快

済みな逸品でまともな重さではないのだけれど。 金砕棒風の物だったこともある。 既に二度目なので多少の免疫のある村長。 もっとも、 石製カー ボン繊維強化 今回のは極まっとうな

フルスイングかまして人型ぶッちぎったところなのが不運といえば 顔役も覗き込むがその恐ろしさにすぐに引っ込む。 跳ねた人型の上半分がちょうど入り口付近まで転がってきた。 ちょうど全力

アルケが砕棒(石砕棒?)を軽く突き出して村長に突きつける。 コレ持てる人いるかな?」

端を差し出されて受け取れるほどの力は無い。 であれば今でもひとつ担げはするのだけど。 大き目の漬物石なりであればもてなくは無いだろうが、 見るからに石、 石の塊である。 重さは30kgほどはあるか きちんと積んだ米俵 棒状な物の

「さて、持てる者はいるでしょうが使える者となりますと」

ないかな』 普通のを取りあえず出すよ、 やはり全部石だと重すぎるよね、先端だけにするかー」 ソレはその辺おいといたらい 11

出てくる。 ラゴンの巣産の物で製作。 木にカーボン繊維のメッシュを貼り付けたもの。 アルケが石砕棒を立てかけたのを見計らい、 形状はトゲの丸めなモーニングスター。 新たに石製の棍棒が 折角なので全部ド 先端は石、 柄は

コレだと使える人なら使えるんじゃ と言いながら村長に手渡す。 ないかな」

これはつ」

気 いたが。 両手で受け取る、 直接触れるとよくわかる、 その前から何とはなしに神気を感じ察しは ドラゴンの気。 村が祭る神龍の 7

だけど、 石と木はけっこうもらってきたからね。 というか石とか欲しい 物かな?」 全員分はさすがに無い h

『オブシディアンの器とかにした方が喜びそうな ?

えられそうだけどそこまではしていない。 はないけれど。 る顔役と目が合った、 モノはきっちり取り除いてあるけれど。 村長の後ろから覗き込んで く輝くのは側面に切子模様。 ぽろっと出てきたのはお茶い 素材は同じくドラゴンの巣の岩、 なのでひょいっと投げ渡してみる。 均一の材質なのでそれほど目立つ物で ただいた時ぐらいの大きさの 無論、 選別したら色も変 血の華咲かせてた

· あっ、ちょっと。っていうかぁっぁあぁぁ_」

みだ目。 取り落としそうになって腰砕けて座り込んでます、 器はブルブル震える手でしっかり押さえ込んでる いい大人がな

つ てきてますよ?」 こちらにい らしたんですかー、 底の抜けた鍋に壊れた鍬とか皆持

見えなんですが。 ない。 っている ってるのがよく見えます。 通の村だと大概兵役に出ているため村内であまり見られる年齢では ひょっこり顔を出したのは村民Aさん。 だぶつ ので胸の谷間が全開ですというか、 いた服を着ていてもわかる不釣合い 座り込んだ顔役にたいして前かがみにな 年齢は ぶら下げた付け根が丸 17ぐ な胸肉がぶら下が

村長もこちらにいらしたんですね、 でしょうか? で、 この倉庫にもってくれ ば

やっ そのまま ている の の姿勢でちょっと見上げ、 で乳肉挟み寄せなあのポーズになってます。 首を傾げてます。 手をヒザに

てはくれまいか」 「ちょうどよい所に、 取りあえずその鍋はそこに置いてコレを持っ

顔役がオブシディアンの器を差し出す。

はいはいーって。こっこれ持つんですかっ」

腰抜けて持っているのもやっとなんだ、すまんが頼む」 腕のブルブル具合がさっきよりきつそう。

てるはずだから呼んできて?」 腰ぬけたかー、 癒し手いる? いないならサマサがその辺散歩し

リップ中? 村民Aさんは器を受け取った後ほわーっとしてますね、 そちらの方は私が行こう」 村長がモーニングスターを捧げ持ったまま広場へ向かう。 なんかト

動かすのまずそうだからそのままね、 のかな?」 ひっくり返しといた方がい

顔役に聞くが額に油汗たらしてるので聞こえてないかも。

「なんじゃい、まだ悶えとるんかいな」

割合すぐに戻ってきた村長、うしろに娘さんがゾロソロ。

らんところに運んでくれんか。 お前たち、済まんが鍬や鍋はそこに積み上げてこやつを邪魔にな

ついでに治癒もかけといてくれ」

つま先でつつきながら。えらく扱いがぞんざい。

壊れた鍋の修理ってきいてきたんですけど?」

「農機具の補修ってきいてきました!」

「新しいのと交換?」

てそれなりの価値はあるからいきなり徴収するのはもめるはず。 ない模様。 いとおかーさんに怒られるとかも。 口々に言いはじめる娘さんたち、 こういうとこだと鉄は貴重品だし、 なんていうか、完全に伝わって 中にはさっさと交換して帰らな 壊れてても資源とし

せんか?」 おい、 顔役よ。 おおっぴらにするなとは決めたが話が違いすぎや

娘さんがた見まわしながら。

かしてくれ」 誰か治癒できるものは? 話が進まんからとりあえずコレどうに

つんつんがガスガスに変わりつつ。

「とりあえず痛み止めなら」

「簡単な治癒ならできますけどー」

「ナニ直します?」

というか、 あちこちから手が挙がる、 精霊感応とかそっち方面の御恵ってとこ? 回復技能持ちの比率が半分ぐらい 最前列の娘

りたくないのが見て取れる。 らは見えてるからか首振ってる娘の方が多いみたい。 あんまり関わ

S 引っ込んで様子見してたほうがいいかもね、 そんじゃさっさと治して。 ハガネから提案、実際めんどくさそうだし。 けっこー投げやりな感じで村長に振る。 で、 村長は事態の収拾よろしく」 めんどくさいし』

とかいいながら倉庫に引っ込む。「ちょっと奥にいるわ、あとよろしく!」

* * *

壁一枚、 とはいえ遮蔽物があると喧騒がマシになる。

して利用されているいわゆる合掌造りの簡易版のような物。 9 2 m 話し付いてないし暇だし倉庫の強化とか試してみる?』 アルケに提案するハガネ。 ×24 Mほどで勾配のある三角屋根なため梁の上にも板を渡 今いる倉庫は木造平屋、藁葺き屋根。

かしましいけど。 そうだね、 何もなければ無駄だしねぇ、木と石だけでも無いよりマシだけど」 外はけっこう騒がしい状態、 ハガネを載せた右手を入り口にかざし。 その前に戸口塞いじゃって、 とりあえずあるものをどうにかする方向で』 村長も話す前に押し捲られてるみたい。 娘さんたちが元気なのはいいことだ。 ちょっとうるさいわ

土を適当に固めてみたよ、 一瞬で壁が出現して入り口を塞ぐ。 後で強度はかっといたほうがい

固める ? 昨日の空堀もそうだが特に鉄骨などは入れていない。 み変えればけっこういけると思うんだけどね イメージで作っているので巨大なレンガブロックといっ 心 たと

の正方形のレンガ板である。 かめている。 強度はともかくこのままだと倒れるんじゃ アルケはぷにぷに、とハガネごと右手を押し付けながら感触を確 厚みは10cmといったところか、 ない?」 巾 2 m 高さ2 m

 \Box \Box 継ぎ目をなぞって、 ガスンともう一枚、 んじゃ、支えになるようにっと』 ハガネの要望どうり、 1m×2mほどの板が直角に現れる。 くっつけちゃうから』 上から下へゆっくり押し付けて撫でる。

込んでいるつもりである。 を取り込むイメージで一体化させている。 いうかハガネの意識した空間内で改変されているのだが本人は取り ハガネのほうは隙間に粘土状の物を充填しつつ、 実際 のところ取り込むと 壁の継ぎ目部分

うど片手でゴルフのパターを振るように。 も打ち付けると、 てあった石砕棒を左手で掴み、 けっこう脆いかも?」 ほぼレンガそのものな為さすがに衝撃には弱いようだ。 上から見るとT字状のレンガの構造物。 そのたびに5cm角ほどのカケラが砕け 軽く足元あたりに打ち付ける。 ゴツッ、 アルケは近くに立てかけ ゴツッとなんど 注落ちる。 ちょ

 \Box 記憶 鉄筋とか入 び上がるが竹も採取していない。 の の中からコンクリに竹を入れた竹筋コ れ ないと持たない 次に浮かんできたのはラス地、 鉄は無 61 ンクリー あ トとかも浮

7 であるがこれも鉄。 『ちょっと改良版を出すよ、 かわりに炭素繊維 ついでに本番兼ねるから壁際におろし の網を仕込むことに。

地面すぐに短い突起とそこから2mほど、ちょうど梁の下あたりに おり、戸口以外を囲むように設置。 1mほどの天板が付いている。 コーナー部分は単なる一枚板が出て C mほどの溝になったところでガスッドカっと地面から壁が生えて 壁際を体の巾だけ取り込みながらぐるぐるっと3週、 ハガネが移動しながら出しているのはちょっと歪なF字型、 3 0 Χ 9

込んでいた槍などもてきとうに立てかけて。 いでに狭間をいくつか、外壁まで通して終了。 地面から穴あけて出てきたハガネを手に継ぎ目を一体化させ、 邪魔になるから取り つ

らいことになるだろうけど」 뫼 なにもないとこでもこんな感じで囲えばいい感じになるかな?』 たぶん、けっこういけると思うよ。 この倉庫だと屋根燃えたらえ

もめている。 アルケは狭間から外の喧騒を覗きながら、 外はいまだにナニやら

収拾ついてないみたいねえ

じだし』 さんがトリップしてたけどドラゴンの棲家の物が価値ありそうな感 無償供出だと厳しいなら何かで釣ろうか? 村長や顔役、 村民

うか」 「見たところ若い 娘がほとんど、 なんか適当な物作って試してみよ

『オブシディ いかも』 アンを適当にカッ トしてネッ クレ スとか? 髪飾 りも

などとい いつつ、 即効でいろいろ作り出してイメー ジを伝達。 さ

ぜた結果微妙な色違いやらスノーフレークが出たものなど様々。 神木の繊維と炭素繊維を混ぜて編んだ紐を通してネックレス、 っきまでは均一に作っていたので黒一色だったが、 りは簪風のや櫛状のワンポイントに、 も最初は球だったが調子に乗ってティアドロップやら勾玉なんかも。 1 m m角のドラゴンのウロコを仕込んであったり。 こっそりオブシディアンの中 今回は適当に混

いい感じ、 とりあえず一人連れ込んで試してみようか」

『んじゃ、入り口取り込むから』

なる。 ハガネをくっつけるだけで塞いでいたT字ブロックが一瞬でなく

シディアンの器をもって呆け中。 た村民Aさん。 倉庫入り口を突然ふさいだブロックにもたれてオブ んたちに押されっぱなしだった村長の後ろで成り行きを見守ってい さて、 不運なのか幸運なのか。 表であいかわらずかしましい娘さ

「綺麗....」

さすさす。

ع ر っている。 真っ黒なオブシディアンであるが全面に切子のカッティングが入 それを日にかざしたり、 反射させたりしながら眺めてい

なり、 ちょうど頭上に翳していたところでもたれていたブロッ そのままアルケの胸に後頭部から埋もれる格好に。

「ちょうどいい娘、確保っ」

そのまま中に引きずり込まれ、即壁が復活。

らさっ ち込んでます。 うか一部かえちゃっ た娘もでてるような? 村民Aさんに確認したところいまだ収拾されて無いそうで、 くりオブシディアンドンブリとりこんで回収。 この娘にあげたわけじゃないんだけどね。 とかなんとか話しなが 目に見えて落 とり

ラッっと首飾りと髪飾りを出してみせる。 かわりに木のトレーだして両手に持たせといて、 その上にジ

っているような。 のでちょっとえろいかも。 体を手首の内側まで伸ばしている、 ちな みに八ガネはアルケの右肩の上、そこからこっそり伸ばした というかハガネの自由度がずいぶんあが 見る人が見たらピンクの触手な

ティアドロップ型の多面カットの首飾りをつけてあげる。 りにいくつかを胸元に持っていって様子を見たり。そのうちの一つ、 耐性ついた? 応の差が凄い。 さっきの器はドラゴンの棲家産、こんどはウロコ混じりなので反 完全に呆ける、とまではいってないか。 トレーの上のそれらをそっと指でなぞり、 ちょっとは 思わせぶ

「コレが一番似合うかな?」

ಶ್ಠ 襟ぐりに余裕のある大きめのシャツは白、腰は革ベルトで絞ってい 白い 全体的に薄い配色なので黒いオブシディアンがとっても映える。 肌に薄いオレンジの髪が肩にかかるぐらいで切りそろえられ

コレ あげるか わりに協力してっていってらOK してくれるかな

* * *

みて唖然として固まっている。 全員の目の前でいきなり壁が消えて連れ込まれてまた塞がったのを 村民Aさんが連れ込まれた瞬間、 騒ぎは一気に沈静化。 というか

そこへ、 再び消えた入り口の壁から村民Aさんが押し出された。

じし。

大注目。主に首飾りに、だが。

口の影からアルケに突き出されてなにやら言われている。 り出された村民Aさんは後ろを振り返りあたふたしている、 戸

「 むりー むりです私そんなっ」

やんないならソレ没収」

あう」

しゅんとする村民Aさん。

まなざしに期待もこもってより注目度が。 これを見てればなんとなくわかる人はわかるわけで。 羨望の

えつ」 「えっと、 皆さん、 あの、 コレは協力するということでいただい ひ

色々、緊張しまくりでどうにもならない。

『助けてあげた方がいいよーな?』

「しかたないね」

ちょっ ア ルケが影から出てくると後ろから村民Aさんの肩に両手を載せ、 と押し出しつつ。

っと、 色々あるんだけど。 とりあえず鉄が必要なのと、

もほし コレはその代金みたいな物なんだけど」

ゴンのウロコが輝きだす。 ィアンをころがす。 といいながらするっと右手を滑らせ首飾りに付けられたオブシデ ついでに、 ほんの少し魔力を込めると中のドラ

まぶしすぎかも』 『アルケさん、魔力100倍になるのわすれてるでしょ、 ちょっと

やった物は仕方ないし、 というかエサはでかい方がよくない

されてむにっと強調されてます。 っちゃられてますね。 んで乗り出してますね、 の治癒も終わっていたようだ。 ほかの娘さん方は胸の前で手を組 村民Aさんは卒倒寸前。 物欲の勝利? 村長と顔役はひれ伏してます、 鉄 鍋 ? これはこれで胸肉が絞りだ 鍬 ? ぜんぶその辺にう というか

列っ! 拾ってね。 「まーなんだ、 その上で合意できるなら並んで。 とりあえず落ち着いて。 足元におとしたのちゃ 村民Aちゃんの前に整 んと

この反応もありかもしれない。 全員並び始めている。 現金な物ではあるがエサがエサなので

けに協力してくれる娘は別のとこで待ってて」 手放して後で困るとか言われてもこっちも困るよっ。 人手の方だ

鍋は土鍋でどうにかならんかなー、 かな?』 鍬も木と石でどうにかならな

で武器そろえた方がい ハガネ、 そういうのはとりあえず後にしとこう。 まず集まっ

に りと引き換えに鉄製品回収して。 いる娘さんたちのところへ。 引渡しを村民Aさんに村長と顔役に任せた後、 顔役もい い加減立たない? ちゃ あと、 んと似合うの渡しなさい この娘に持たせてる飾 少し離れたところ

かも」 が欲しいのもあるし。 ついでに手すきの人全部あつめてきて。 なくなったら困る物を無理に出せとはいわないから、 とりあえず家に戻ってソレ置い 2~3日分の食料もほしい て戻ってきて。 それと人手

パンパンッっと手を叩いて一旦解散させる。

『実験用にこんなの作ってみたよ』

木製の柄の継ぎ目もキッチリカーボン繊維で強化済み。 分厚くなってしまうのは仕方ないがグリップエンドまで一体形成、 右手あたりからポンッと出てきたのは石製の剣先シャ ベル、

「コレってこのまま武器になるんじゃない?」

由もなく。 実際、 超接近戦ではそれなりの戦績を誇るモノだし、 否定する理

『そうだねー』

げて。 つるはしx10ついでにもっこx10に四人づきを5個ほどつるは 化石製で量産。 しは先端部のみ石なので強度がちょっと心配。 などと呑気な返事。早速、 片つ端から積み上げてシャベル×20、 取り込んだ農機具も参考にカー ボン強 それを適当に積み上 鍬×20、

なぜかふくよかな裸体の肉弾戦と一緒に記憶から浮かんできたので さらについでに小タコに大たたき、 小たたき、 木槌を5個ずつ、

そこは二人いればい 61 かな、 顔役はこっち担当ね」

呼び寄せた顔役に。

男の人とか年配の女性が見当たらないけどどこに?」

と聞くと。

番に出立してい 以外は北西と中央、 の偵察に計20人ほど、 るはず。 北東に集めてます。 他は南の森の伐採と川 これは夜のうちに取り決めたので朝一 5 2歳ほどで兵役に出 へ石材確保に。 それ

はず。 ていない子は南西に集めて使えそうな子は訓練させようとして 女はそれぞれに炊き出しなどで出向いているかと」

全体の動きを教えてもらう。

とは思いますが」 のように手違いというか今ひとつ伝わっていないところも出ている それぞれの集合場所で事態の説明をする手はずでしたので、

から仕方ないところか。 言い訳であるけれど大騒ぎしないように抑えるつもりでもあった

「ここに来た男は全員川原へ行かせて石を集めるよう指示して 中央っていうとここ? そのわりには見当たらない けど

あんがい、ちゃんとやってた様子。

ます」

人手が増えると炊き出しなんかも準備した方がい 既に十分大騒ぎ、 なわけであるが。 いねえ

7 ハガネ、 つ いでに井戸も掘ってみるよ。 さっきの倉庫の中でい 川の側なので伏流水はあるはずだ いからカマドつくっておいて』

いて 『倉庫は 炊事場ということにしてしまおうか、 おもいっきりやっと

* * *

表面に石の板を付けているが大理石とはいかず砂岩っぽ その横に大型水槽を設置、 でどうしようもなくはあるが。 てた後、 L字型に設置。 これで右側四分の一が埋まることに、 の作業や指示は任せたので倉庫内では好き勝手にできる。 右の壁際にカマドを1 次に作業場としてレンガ製の大テーブルをつくり、 これは荷物置きになる予感もするので浅 先ずは入り口脇に1 . 0 個 薪置き場なども考慮に入れて 反対の四分の一は壁際に mほどの壁を立 ものに。 高さ

調理場はこんなとこでいいかな、 後は井戸だよね

可能、 サンパトリッツィオの二重螺旋の井戸。 から浮かんできたのは側面に螺旋階段を付けた大型のもの。 垂直に細く掘るのが簡単だろうけどそうすると後で出ることが不 なにより崩れると困る。 どうするか考えているとまたも記憶 それも

が強み。 ず水が出るまで掘り進んだ方がいと判断 確保してやればいいわけだ。 実際作るとなると、それぞれの階段の通路の高さと床 12m四方のうち10m四方を井戸に使うとして取りあえ 細かい確認は自分の中で十分できるの の厚みさえ

掘りながらモルタル噴き付けの要領でレンガ貼り付けてい ないかな?」 け ば

ということで作業開始。

ったる。 取り込みつつ壁面補強。 り進んでもい の階段を確認。 重螺旋を一体化したものを設置。 لح さすがに川の側だけあって浅めというところか? いうほどうまく掘れはしないがお構いなしに掘るというか 11 たぶん大丈夫。 けれ ど圧がかかる地下水だと面倒なのでここから二 15mほど掘り進んだところで帯水層に当 掘削 面との隙間を埋めながら両方 更に掘

張り出させたのでつるべを付ければそこからでも汲 その安全策として下部の水汲み場には屋根を付けてある。 ようにしてある。 れど問題なかった。 ので所々に窪みをつくって松明刺したり灯油皿を置 ちなみに作業中の明かりは八ガネ自身の発光で。 15mで60段ほど、 使用する場合の明かりは松明になるかもしれな 出入り口は左右に み上げられ ほ いたりできる の かな光だ け

更に半分がカマドと作業台のある炊事場、 め て中を見回す、 倉庫内は大雑把に奥の半分が井戸に、 残り半分は壁にカウン 手前

次に作業台付近に軽く勾配を付ける形で石拭きとし、壁際やカマ 気づき。 の手前に浅いV字の側溝をつけ屋外へ導くように加工しなおす。 を付け まず井戸側に段差をつけ、 ただけ。 水廻り、 その排水について考慮してい 汚水が流れ込まないようにする。 ないことに

出て回収した鍋を素材にした万能包丁5本もついでに。 ったが、習慣が無いと無意味なのでそこは妥協。作業台の横に階段 つけて登り、柾目の板5枚を俎板として置いておく。こっそり外に 足裏に付いて入ってくる泥やホコリを落とす工夫もしようかと思

なんとなく心配なので梁の直下の天板部分の支えに柱をいれ ついでに中央から左右に階段も設置して移動しやすくしてみた。 7 l1

四方ほどの部屋を作る、 に壁を作った後巾1m×高さ2m×奥行き2mの通路を掘 3m、高さ2mで縦に潰れた感じ。 たような型で1mごとにレンガを貼り付けながら掘り進める。 中間付近から横ヘトンネルを掘ってみる。 外に出たときに見たところ、まだまだ時間ありそうなので井戸の 側面にも穴をあけて 15mほど堀進んで突き当たり おおよそ将棋の駒を立て ֖֖֓֞֝֞֞֝֞֞֝֞֝֞֟֝֟֞֟֞֝֟֟ 5 底辺

屋にしているので崩落の危険はないと思う。たぶん。 一体化したカーボン強化レンガで一気につくって排出することで部 同じような部屋を2つ、 足場を随時作りながら天井も斜めに削 IJ

穴掘ってる段階で崩れてないから大丈夫でしょ。

に移動することに。 あと2つは作るスペー ス残ってるけどここまでにして外に様子見

優先順 ば温泉沸く予感はあるけどね、 位としては最下位もいいとこなので構想だけにしてお してもお風呂作っときたいけどどうするかな。 すぐ側 の旅籠には沸いてるわけだし。 深めに掘 てお

第27話 (後書き)

どうでもいい解説・設定

合掌造りの簡易版

等間隔の柱に太い梁、 プンなまま。 壁は土壁で窓はない(屋根の接合部のみ空いている) 叉首などはほぼ同じ。 屋根裏部分はかなりオ

0

竹筋コンクリート

そういうものもあるよ、 てるのとかありましたが。 という程度で。 500kg強の過重で折れ

ラス、ラス地

モルタルの下地に使う網とその網を施工した状態。

カーボン繊維強化レンガ (造語、妄想の産物)

上記の内容とあわせ静加重500kgはOKなもの、 ぐらいの扱い。

繊維強化セメントとは別物。

シャベルや鍬、つるはし

鉄製よりかなり分厚くなるものが多いので作業性は劣る。

それ以外の道具

もっこは土砂運搬用の天秤。

四人づきはデカイ丸太の塊に4本のもち手(150cmほど)をつ

け4人がかりで持ち上げそのまま落として突き固めるもの。 土俵の

より大型だと思う。

ひっ くり返すとタコみたいに見えなくは無い。 小タコはもち手2本、

一人で扱えるサイズ。

他も土俵作りに使われるものから引用。 るか不明。 ほぼ木製。 使い方理解され

地下トンネルの形状

作業から導き出した、 横に広すぎてこの形状では力の分散が出来ないかもしれない。 ンガブロックに期待。 かなりいい加減な設定の産物。 一体成型のレ 掘削

に専念する。 いるのが3箇所、 ルケは ハガネに倉庫内の改装を任せたので村娘ちゃ 顔役に聞いた限りだとここと同じように倉庫に集めて 南西の集団も似た感じではあるか。 h たちの方

偵察にでているが。 種の竜 (肉食爬虫類) 中での探査結果に引っかかっていないので除外している。 顔役、 西及び南は地理的に回り込むことが困難であったりここまでの 北の偵察が戻ってくるのはどのぐらいかかる?」 がいるためここも除外、 念のためにクルスが 東は肉食

ば更に樹海と山越えに向かうよう指示しておりますがこれが4~ 5 あえれば情報交換するよう指示してあります」 日ではないかと。 そうですなぁ、 途中でワーキャット族等の獣人国の残存部族に 村から近い集落跡の往復で2日ほど。 何もなけ n

る ストニス川に合流 ようにして北の獣人国につながっていた。 山脈を抜ける峠道はその支流に沿ってあり、 から流れ込む細かい支流を集めるニティニー ネ川が境界となってい ミル ニティニーネ川は境界部を西から東へ流れ、村の最東部でミル ストニス川に沿い東西に広がるモータリス村、 し樹海へ呑まれる様に流れ込む。 東西の2本が回り 樹海の奥に そ の北は樹海 ある

あった。 それぞれ たが狩猟にたけた者は の国)は森に ることになっ ちなみに聖龍 純血 真南 のまれ の国であっ にあった聖龍を祀る国とその西にあった獣 た。 の 山は北西にあり、 て消滅。 61 たわけではない まだに樹海の中で暮らしてい 北の獣人国 (人猫の国)も森にの その麓にもいくつかの国や村 のでかなり の数が南東へ ් ද 人国 (人牛 むろん、 洮

るූ せているので悪いようになることはないはず、 はあるが廃集落を利用して交易を行なってもいるためつながりもあ 時期がずれているので落ち合えるわけではないが手土産も持た のハンターの多くがワーキャット・ハーフであり、 とのこと。 極わずか

てことで誤魔化せない?」 んにもなかったら祭りにでもしちゃう方向で。 ん し、 早い段階で各拠点に人集めちゃったほうがいいかなぁ、 ソレ、 村にあげるっ な

は赤子を背負っている者は二人しかいない。 齢者とみたアルケ。 動いていないのは乳幼児を抱える母親と顔役などではない 村長から首飾りを受け取っている娘たちの中に 高

掘削作業させて」 炊き出し要員。 働に不向きな人とか赤子かかえた女性はここに食料持ってこさせて 中央のここが一番大きな倉庫群ってことでいいのかな? 動けるけど首飾り受け取ってない娘も全部あつめて

かり 顔役に全村民に動員要請を出す、 さらに今集まってる娘たちに向

「ちゅーもくーっ」

顔役から離れ、 村民Aさんの肩をまた抱きかかえながら。

ものかってのはい 受け取ったからよりわかると思うけど、 いかな」 ソレがナニでどれだけの

ざわざわ、あらためて言われて。

「やっぱり龍の.....」

「ドラゴンのウロ.....」

中には涙目になってる娘も。

も のっ 61 は てのもわかるよね。 ίį 口には出さないっ。 いね 何かわかるだろうし凄い

じゃないほどの物なのだが。 というかここにあるのが知れたら奪いに来るバカがいても不思議

よ。 もらってる。村長、 「で、ソレは村にあげました。うん、 一家で引き継ぐのか村で管理するのかは後で決めなさい」 その娘たちが手放さない限り取り上げたらダメ 代表してあなたたちに持って

念を押す。 モノがモノだからね。 ぐるりと見回し最後に村長に目を合わせて

で村長と相談で決めるかな」 ない、もう少しもってて気疲れしないものとかかもね。 「何事もなく終わったら一家に一つぐらい何かあげられるかもし その辺は後

こでやってること、これからやろうとしてることを各拠点に伝えさ 見せ付けて皆を動かしなさい顔役、だいたいでいいから斑分け。 せなさい。 今受け取ったあなたたちには伝令として働いてもらいます。 家に残ってる人を集める斑もよろしく」

* * *

びちびやっているようだ。 を囲む娘にご婦人の塊。というか男女比が1 ている。酒と食事も振舞われているようではあるが酒飲みは隅でち に囲まれて崇めたてられてるだけですが。 しましい場となっている。 倉庫前の広場は周囲に篝火が焚かれ、かなりの村民が集まって ハガネが倉庫からでたときにはすっかり日が落ちていた。 いまだに強い光を放つ首飾りをつけているせいでご年配の婦人 中でも村民Aさんの周囲は雰囲気が違う 一番目立つのは、 首飾りをもらった村娘 : 3 ? なかなかにか き

ハガネ、ずいぶん時間かけたね、お疲れ様

たものはまだ作れる?」 みたいなのでいっきに動員することにしたよ。 コはこれ以上はストップね、その上でアクセサリーとかちょっとし 見てわかるとおり女性が大半みたいでね、モノで釣るのは効果的 アルケがハガネを抱え上げながら。 ハガネもすぐに繋げて来る。 モノで釣るけどウロ

り他で40個はばら撒いているけれど。 モノがモノなので多すぎるのは問題ということらしい。 既に首飾

付け。 宝石で釣られるのはどこでも変わらないですしね」 散歩から戻ったサマサに突付かれながら。目は娘さん アスターは足元で睡眠中なのでおとなしいこと。 の胸元に釘

よ? の巣産の石と神木ならそこそこあるから全員分ぐらいはできる 男の人用にこんなのとかも配ってみる?』

量が10kg近いのはご愛嬌、 方が無い。 のようなものをつけてあるので踏みつけての維持も可能なもの。 とU字型の二つあり左手だけでの保持も可能、 に石材コーティング、当然カーボン繊維強化済み。 ぽろっと出したのは大型のタワーシールド。 ベー 部分的に石製なのでこのあたりは仕 最下部にフットバー 持ち手はD字型 スは木製で表面 重

に突き立つ。 宝石でも出るのかと思っていたサマサの手を掠め、 ゴスっと地面

うさすがにちょっと重そうね」

音から判断するアルケ。

と若干、 男に飾りは無いと思いましたが 期待はずれな様子を隠さないサマサ。 アスター は軽く尻

尾振ったようだけれど寝たまま。

思うし」 こういうのは最後でい いかもね、 まずは砦化をしてからでい اما

させる。 アルケが、 盾が突き立ったままだと危ないので倉庫の壁にもたれ

『そっちの方はすすんでるの?』

つながった八ガネから。

9 配り終わってからすぐ始めたよ、 答えるアルケ。 今は北面を掘り終わったぐらい。

『底は突き固めてある?』

だけど』 ソレっぽい道具あったからやってもらったわよ、 壁面は手付かず

目で会話中? ちょっとだけ、 ふくれてるサマサ。 置いてかれるのはちょっとさみしいかも」

「ゴメン、つい繋がるのクセになってきたかも」

らつい」 「ごめんなさい、 なんかね、 繋がると説明とかそういうのはやいか

あやまるアルケとハガネ。

いですね 「わかってもらえたらいいです、それより倉庫がどうなったか見た

「それは私も見たいね、 か 村長とかはって飲みに行っちゃってるから

ハガネを抱えるアルケとアスターを抱くサマサが倉庫内へ。

だ。 球が一つ、二つと出現。普通なら光球一つを浮かべる魔法、維持す 向きではあるが魔法としては初級なもの。 るのにもちょっとした集中力と魔力を必要とするので戦闘時には不 《ライト》サマサが明かりの魔法を使う。 それが12個ほど浮かん 頭のすぐ上ぐらいに光

サマサ、えらく豪勢ね」

やりすぎ、 みだとマイナスはよくない。 いた左手で光球の一つを撫でるようにしているので眩しすぎるとか なんとなく否定的な言葉を避ける、 だとかは思っていないようだが。 ハガネは右手だけで抱えているので空 出しすぎとは思うが精霊がら

のこの近くに 「イメージは ١J いた精霊さんみたい」 つも通り一つだったんだけど。 というか今光っ

りがたい。 複数あるおかげで影が出来にくく、 「そういや好かれてたものね。 光球はサマサだけでなくアルケの周囲にも浮かんでいる。 見やすくてちょうどい 足元も見やすいのでかえってあ 光源が

階というべきか? そこへは中央の階段から上がれる、 く吹き抜けなので元の倉庫のままなのが見て取れる。 薄いベージュ 色のレンガブロックで構成された壁面や天井、 上は壁もな

ある。 壁で区切られた右手にはかまどが並び、 中央には大きな石の机も

奥の半分は壁で区切られ左手と中央の入り口が見える。

ずいぶん大掛かりになってるね、 奥のは井戸?」

ているアルケ。 いまだ繋がりっぱなしではあるのでイメージだけで全体を伝えら

かっ り回転させて全部を見せているのは 伝えられているのは透視図っぽい た模様、 というか下手に意識すると3D酔いするかも。 3DCG風の画像、 いいが螺旋部分はわかりにく 全体をゆっ

ら見に行こう サマサ、 この奥全部井戸みたい、 それに横穴もあけたみたい だか

地下道とするなら充分広い。 ぐる舞っている。 光球 (光る精霊さん) の半数が井戸への降り口に先回りしてぐる 明かり置きなども説明され最下部へ。 螺旋階段の巾は約1 ハガネの案内で、 ẃ すれ違うには レンガブロッ 少々狭いが

るよ。 になってる。そっち側の途中に横穴も開けてみたけど」 あと登るのは反対まで行けば降りる人とぶつからずに上がれるよう ここから井戸の中に渡してある橋で水はここで手で汲む事もでき 上から桶を落としても大丈夫なように屋根はつけてあるし。

たばかりなのでまだ濁りが残っているが普通より澄むのが早いかも の壁は30cmほどなのでそれより分厚くしてある。 しれない。 レンガの橋や側面の壁を見る限り厚みは50cmほど、 水は掘り出し 上の倉庫

かな?」 ものなんかも一旦全部取り込んだので明日にでも使えるんじゃない 「掘り出すというか取り込む、 だからね。 泥とか滲み出した細かい

反対側の螺旋階段を上がり、横穴へ。

なんとなく思いついたから掘ってみたんだけど。 何かになるかな

かせるのに丁度よさそうですが」 井戸に繋がる空洞なので湿気とかが気になるかな? 果実酒を寝

アスターを抱えながら撫でるサマサ。

るかも。通気口あければいけそうだけど」 人が篭るには向かないね、 井戸がわの入り口だけだと息苦しくな

ワ つなようだ。 ーフの本拠地をイメージしているのが八ガネに伝わる、 こちらはアルケ、 繋がったままなので海の向こうの大陸にあるド が今ひと

なんとなく、 思いつきでやったことだからねー

ところ。 酒の貯蔵庫ならともかく、 人が篭らなきゃならない事態は避けた

槽と一体化した大テーブ 横穴からでて更に螺旋階段を上がるとカマド側の口へ。 正面に水

「ここは何も言わなくても大丈夫そう」

ま進めばここに出るわけですし」 への降り口も問題ないのでは? 見えるほうから降りそのま

「横穴も任せとけばいいんじゃないかな」

どこかの倉庫空いてるかな?焚き火もあれば人手もあるので倉庫脇 でザコ寝でもかまわないのだけれど」 らずチビチビやってる男衆とあいかわらずかしましい女性陣 「男はこのままでい 中を軽く見ただけなので30分とかかっていない、 いとして女性陣は屋根の下で寝てもらおうか、 外では相変わ

「箱作っちゃおうか」

ハガネがイメージで倉庫の内壁を囲った時のことを伝える。

サマサ、この辺に注目集まらないように阻害して」

伝わっている。 アルケが指示。 ハガネからは建築物の3DCGっぽいイメー ジも

適当でい 「倉庫の横に同じ ぐらいの大きさの物作る、 時間はかからないから

「いいですよ、ちょっと霧だしときますね」

《ミスト・ウォール》

「精霊さん、ホドホドですよ?」

詠唱することなく精霊に伝えるだけにする。 ことを鑑み魔法の名に倉庫の隣を囲む霧の具体的なイメージを特に イメージと詠唱、 規模に合わせた魔力が必要であるが、 今までの

はこれですごいですね、 「ちょっとお願いするだけで精霊魔法になるとは思いましたがこれ 精霊さんありがとう」

魔力はそれなりに使っ ばイメー ジ通りの結果を表すことも難しくないだろう。 ているが詠唱がほぼ不要となる事は大きい。

に《ライト》の精霊光球が6個舞っている。 倉庫の隣でサマサの魔法を待つアルケとハガネ。 頭上にはい

「あんたたちはまだいけそう?」

サがお願 まる精霊光球にやさしく魔力を分け与えると一段と輝きだす。 そんなことをいいながら左手を精霊光球にかざす。 いした妖精たちだがアルケとも相性がいいようだ。 なんとなく集 サマ

程なくうっすらとした霧に囲われ始め、 次第に見通せなくなって

これなら大丈夫そうね、 このままのほうが後が楽かな? ハガネ降ろしたほうがい 出すのはこんなかんじでぐるっ ۱۱ ?

と囲って真ん中にも置くけど」 イメージで伝えるのは1辺2mで構成されたU字ブロックを横倒

したブロックを8個。

しにしたもの。

横6×縦10個並べて囲い、

中央には背中合わせに

それやると排水溝つくんなきゃならないけど」 置いた後で地面を10cmほど掘り下げるとわかりやすい かな、

ょうどい でもひけば寝床としても充分だろう。 高さが40cmとなる。そのままでは上がり難 アルケの言うとおりにすれば地面とレンガブロックの床 い高さ。 これだと土足で上がることは無い いが腰掛けるにはち だろうからゴザ の上面

「んじゃさっくりいくよー」

はするが落ちて来たわけでもないのでそれほどではない。 がどんどんブロックを出していく。 右手にハガネを乗せたアルケが通路部分を歩き、その先へハガネ ドカッっと言う音とともに現れ

合 たうえで接合 一通り設置するとブーツを脱いで外周部の床に上がり継ぎ目を接 U字なために口の空いていた4箇所には板状のブロックを出し して埋める。 中央部分も同様に。

床面の掘 リ下げと出入り口として一箇所 1 m幅で削除、

にも1 ロックを敷石がわりにし、 m x 2 m の穴をあける。 外からの水の浸入を防ぐ。 外側に2m X 1 ḿ C m厚のブ

- 外周と中央部の間には2mほど屋根の無い部分がある。 これするなら屋根も付けたいとこだけどね」
- あっさり飛び上がるアルケ。「屋根も付ける?」
- ぎ目も接合しておく。 三角屋根にすると重すぎるかもしれないからね」 と言いながら、10cm厚のブロックで蓋をしてい くハガネ。
- 窓なしは息苦しいから壁に少し穴あけとこうか」 縦長の弓狭間風に細長い窓を2m間隔ほどで開けておく。

* * *

れない。 された為に広場中央にしつらえられた石組みのカマド、 囲んでいたご婦人方もそういった人たちだったのだろう、 そろそろ夜をどうするかといったところになってきているのかもし いてある鍋から汁物でもいただこうかというところで。 かしましかった女性陣も少しは落ち着いているようだ、 他の倉庫を見に行っている人もいるようだ。村民Aさんを その脇に置 結果解放 というか

村民Aちゃ アルケに見つかり改装した倉庫の横まで連れ込まれる。 ん発見、 確保つ

手に木の椀を持ったまま呆けてる村民Aさん。

かわ アスター いそうに、 を抱いたサマサが突っ このこお腹すいてるんじゃない?」 込む。 《ミスト・ウォ **ル** は解

「ハガネ、なんか食べ物」

「ん? 何でもいいのかな」

いる。 ニク)と岩塩をすり込んであるのでそそられる香り。 といって出したのは鹿肉の串焼き、 ハーブ (ローズマリーとニン 湯気まで出て

持ちはある。岩塩もその一つ。そして刷り込んで馴染ませるのもイ 家政夫? メージでなら焼き加減までイメージで加工可能。 なんだかんだで半分以上の荷物を取り込んだままなため、 なんというか万能 色々手

' それ私も欲しいかも」

「バウッ」

こっちにはソーセージをだして食べさせてやる。 串焼きは後2本だ して一人1本、 いい臭いに釣られてサマサさんどころかアスターまでお目覚め。 村民Aさんとアルケも夜食タイム。

れでこっちのだけど」 方は改装して炊事場になってる。 「食べ終わってからでいいけど女性陣をこっちに案内して、 暗いから今日は探検はなしね。 倉庫の そ

後に続くアルケ。 といいながら村民Aさんをブロックの入り口から押し込む、 精霊光球はいい感じで先回り。 その

なのでそういう感じで引率任せた」 「とりあえずこんな感じなら寝床になるんじゃないかな?

えーっと、 そのあたり諦めたが納得というか疑問な村民Aさんが尋ねる。 何とかやってみます。 っていうかいつも私ですよね?」

h ? たまたまなんだけどなぁ。 なんかちょうどい いとこに認

識できる娘がいたからね、 と押し付けちゃうけど?」 名前聞いてないけど聞いちゃったらもっ

いだろうけど。 誰でもいいとぶっちゃけるアルケ。 実際、 誰に任せても大差は無

「そんなわけだからよろしくね」

本はアルケが掠め取る。 とっくに食べ終わったのを見て更に2本串焼きを追加するハガネ、

* * *

とに、その前に。 女性陣を任せたので北面の堀のU字ブロック化工事を済ませるこ

「道具で不足とかあった?」

り口に積み上げられた石材も取り込だ八ガネが聞く。 倉庫前に積み上げられた鍋や鍬を残らず取り込み、 さらに広場入

なかったし」 「シャベル、 もっこが今の3倍は欲しいかも。 今日も少し足り

アルケが答える。

どうにかなるし」 全部3倍作っといて、アレは棍棒というか石斧としても使えるから シャベルは男性向きの重さだったみたいだけど他は使えてるね。 んじゃ適当に出しとく、 石製でどうにかなりそうだった?

そういうことなら鉄は温存しといていいかな いながらバラバラゴロゴロと出し積みあがる道具類。

あっ ちょっとサマサが顔しかめている。 さりできるのはい いけどなんというか豪快よねぇ ハガネとしては意外な反応。

が綺麗に掘り進められている。 られていた。 堀を見ると壁面は斜面になってい 長さ的にはまだ80 mほどではあるが5×5mの直線 る以外はかなり綺麗に掘り進め

酷いことにはなりにくいかな」 「底も押し固めてくれてるみたいだし、 これならこのままでも後で

にあった土砂を取り込み壁面との隙間み詰め、 ロックで壁を作る、 出来上がっている部分に一辺5mのU字ブロックを置き接合、 こちらは倉庫と同じ一辺2m。 横倒しにしたU字ブ

出来上がった壁と堀を横から見て把握したサマサが言う。 この形ってかなり使い勝手いいね」

とか積み上げるのもわかりやすいしね」 イメー ジし やすいから作るのも置くのも簡単だし、 組み合わせる

縦にふたつあわせて積み6mの塔を建てておく。 底面に50c のぐらいならもつかな? のブロックを敷き圧力分散も期待してある。 狭間を5m間隔で開けて壁面は完成、 一箇所だけU字ブロッ 杭打ちはしてない m 厚 ク

るので実際は7 3mごとに 30 c m厚の天板を挟み、 , mほど。 最上階には柵だけつけて あ

繊維 内側に階段をつけそれぞれの階に狭間もつけてある。 のみでどこまで持つか不明であるのだが。 鉄筋なし、

うもそれなりにやってくれるんじゃないかと思うんだけど」 とりあえず見本はこんな感じでいいかな、 これ見たら延長上のほ

部 村長と顔役とは話したけれど、ここの倉庫群の南は それを生かして大きめに囲うことにしてあるよ 川沿い の湾曲

人り口はここ とアルケ。 湾曲部で2面、 今作業した北面と川とをつなぐ北西の計5面。 橋とそこにつながる道で一面

し南北に押しつぶした形の5角形になるように掘る予定。 南の2面は後回しにして川を利用する形にすることもできる。

うなところも 形もい しし し わ いいですね」 かりやすい、 なにより出来なくてもどうにかなりそ

感心しているサマサ。

北東見に行くから」 それじゃぁ明日以降はここは任せていい? ハガネ連れて北西と

類の作成だけでもしてまわるつもりでいる。 まわった方が、か。 により顔を見てまわった方がいいと思っている。 とアルケ。伝令出してはいるけど実際見てみたいのもあるし、 ここまでの工事をするかどうかはともかく道具 いせ、 顔を見せて

「また村民Aさん捕まえていくの?」

サマサ。 る相手の方が説明省けて楽なのもある。 勝手に行くより道案内他で村民つけたほううがい ただ、 偏ることを心配する いし わかって

ゃ ってもいたしねぇ」 いっそ名前聞いちゃおうかな? ١١ い娘だし既に祭り上げられち

わりあい人事のように言うアルケ。

首飾りを普通なのに交換したらそういうのも収まると思うけど」

* * *

は無いが。 かうのはブロックを積み上げただけの塔。 皆が寝静まっ た後、 やっぱり気になるから起き出したハガネが向 見上げる限り壊れそうに

地盤とかも気になるし壁面の強度も気になるしなぁ

込むと一体化した塔の全てが取り込まれる。 自分で作り出しただけに詳細まで把握済み。 ならば、 触れて取り

できるとは思ったけどできるとさすがに驚きますね」

ボン繊維の増化。 材料がもったいないし」 「建物の強化として思いつくのはこのぐらいかな、他にもあるけど 折角なのでイメージで徹底的に強化、というより一体成型とカ カーボンの物干し竿のようなものを芯にする。

とりあえずは安心できるか。 残るは地盤。 地下10mからレンガブロックの柱を立ち上げ接合。

り進んで杭との接合面を一体化もしておく。 下に出す、これもカーボンの物干し竿を芯にして強化したもの。 き埋めの心配は無い。10m取り込んだところでいっきに柱を体の 下を大きめに取り込みモルタル噴き付けの要領で抑えていくので生 4箇所済んだところで一体化した塔を置きなおす。 土台側面から掘 塔の設置予定地の四隅、 ちょうど壁の下を掘り下げて しし 計

各30置いておく。 ついでに一階にタワーシールドにモーニングスター 全部石製カーボン強化済み。 3 m の槍を

第28話 (後書き)

2m角や3m角、5m角は外寸で正立方体の3面切りとったような U字ブロック イメージとしては用水路(三面水路)に使われているような物。 厚みは30cmほどを想定。

た。 広場に出ると村のおばさん中心に炊き出しが行なわれ てい

ている。 るのもいいところ。 なにより椀の一つで腹が膨れるし、 を通せばどうにかなるので、大人数の食事を朝から作るのにも向い 菜と一緒に炒め煮したものを更に水でのばしたもの。 振舞われ むろん、 て いたのは汁物に米を入れ ご婦人方の腕前なので大変おいしく出来ているが。 朝の冷え込みもあってあっ て煮た粥、 大鍋に干し肉 全部入れて火

を刻んで皿に入れてやっている。 をもらっている。 も食べさせながらなので遠慮なく2杯、 鍋は火からおろし、 アスター にはハガネがこっそり出した生鹿肉 今は湯を沸かしてある。 サマサは1杯食べた後白湯 アルケは ハガネ . の筋 の

らう。 側にある入り口の向かい側が旅籠の屋敷森の一角 を広くする作業も行なわれる。 全体を浅 は石材の回収斑は昨日の半分に。 かわりに掘削作業斑を増員しても からこちらに届けられるはずだ。 男性陣は既に半数は食事を終わり作業に向かい始めている、 地縄張 くでも掘り進めることを優先してもらう。 りは既に昨日してある、 南部の伐採斑 今日は一気に掘り下げるより の木材も今日の昼ごろ それ以外に街道 を伐採して視界 今日

担当に返す。 た台に伏せて並べる。 しそうだ。 ケも白湯をもらい、 受け取っ たおばさんが軽く湯を入れてゆすぎ脇におい まだまだこれから朝食という者も多い 木の椀を濯ぎながら飲んだあと炊き出 ので忙

移動する姿が見られる。 分けもされておりこちらは掘削斑の補助だろうか、もっこをもって とに川へ向かう斑や、道具を手に掘りへ向かう班など。 昨日から来ている人は既に班分けされているようで7~10人ご の反対側では顔役ほか数人が仕事の振り分けをしていた。 女性陣の班

つけてくれない?」 私とハガネは各拠点をまわろうと思っているんだけど誰か

長にアルケが聞く。 彼らは村の次の代表者候補といったところだろ 顔役たちが取り仕切る様子を少し離れたところで見守って 顔役は次期村長なのかもしれない。

ございません。 「おはようございますアルキオネ様。 早々に動かれますか、 申し

それはそうと馬でまわられますか? で乗馬もできる者をと」 そうなりますと、手すきの

め必要もなければ機会も限られるから仕方ないのだが。 らまず乗れるが全員というわけではない。 男は兵役前に訓練するので全員乗れる、 村から出ることが無いた 女は牧場周りに住む者な

「ん、丁度よい所に、エルフィナっこちらに来なさい」

そこには幸せそうな顔でお椀を持ち木匙をくわえている村民Aさ 村長に再度呼びかけられそのまま駆けてくる。

「なんですかそんひょーっ」

さっきまでそこで寝ていたのでよく覚えている。 ざらついた質感だ が継ぎ目の無 魔法で作ったという建屋のことを思い出していたのだが。 いて椀と匙を取り落としてしまってる。 アルケ達に驚いたのでなく 隣にいるアルケとハガネを見て昨晩のことを思い出したのか、 い壁と床、 天井も同じ素材で作られていた。 じっさい

た娘たちと色々見ても不思議だっ むしろ皆の家より余程頑丈そうで安心できた。 たがちょっ と硬い 以外の不満は無

「エルフィナって言うのね、名前」

ガネが取り込み、 取り落とした椀と匙を拾い立ち上がったアルケ、 手渡す前にミントティを淹れて渡す。 その二つは即八

「これ飲むと落ち着くわよ」

驚かないほうが無理がある。 空のはずの椀にすっとする香りのミントティー りがとうございます? どうやって??」 が入っているので

「村長も飲む?」

でも同じものを一口。 アルケはそう言って磁器風の湯のみに入れたものを手渡し、 自分

' 魔法。何も問題は無いよ」

で取り込んだり出したりしているだけだが。 実際は肩 の上のハガネが右手の平の付け根まで体を伸ばし、 そこ

けてって頼んだんだけど」 今日は他の拠点を見て回ろうかと思ってね、 村長に誰か案内に 付

ィ、右手に鹿肉サンドを持ちほおばっているのでちょっとモゴモゴ 民Aさん)を見やりながら。 マトを煮込んだものでかなり濃厚。 肉が挟まれている。 てハガネが出 した喋り方だが。 ひとくち飲 んで、 したもの。 鹿肉サンドは物足りなさそうなアルケを感じ取っ 味付けは鹿の骨の髄とニンニク、 あっおい 暖められた黒パンにタマネギスライスと鹿 しい 本人は左手に湯のみに入ったミントテ などと呟い てるエル タマネギ、 フィナ

ハガネ、 これ美味しいね。 こんどクルスがいるときにもお願い

エル フィ ナちゃ ん落ち着いたかな? お腹すい てるならコレ

る?」

お仕事前のご褒美だよ、連れまわすけど疲れたとは言わせない」 受け取るのを見届けて宣言。 何気なく鹿肉サンドをもう一つ手に持ち差し出す。

ぱくあっっ、なんかいろいろ諦めましたし」

もきゅもきゅ

バタバタ ぱくもきゅ、ぱくもきゅ

「色気より食い気なのかしら、この娘」

『ゴハンで釣れるなら簡単かも』

にはそろそろなのですが」 「ふむ、そういえばまだ浮いた話も出ておらんかったはず。 年齡的

しとっ

に12歳以下は対象外ですよ」 「今、集落にいる男の人はおじさんばっかりじゃ無いですか、 それ

もねらっとるのかい。 「お前さんの家の周りだとそうだったかなぁ、今年帰ってくる者で 確か何人か年頃の男が兵役から帰ってくるはず」 それならワシからも口を利いてやろうかの?

「いや、 んにもして無いというか.....」 あのぉ、 なんというかまだちょっと早いというか、 まだな

パンっっと手を叩き。「はいはい、なんかごちそうさま?」

残るけどできるのは伝言ぐらいかな。 それじゃ村長、 エルフィナちゃ ん借りてくわ。 いろいろ作るのは私だし」というでくわ。こっちはサマサ

ルキオネ様、 そういえば弓と矢が昨日の夜に届い ておりました

すぐ側の倉庫の入り口に立てかけてあった弓と矢筒を持ってくる。

「そういえば頼んでたね、ちょっと借りるよ」

『ハガネ、お願い』

『了解、取り込んですぐ複製して返すよ。

矢の素材が足りないのは移動中にどうにか考える』

アルケが受け取りおよそ5分後に再び現れた弓と矢を返す。

ありがとう、 これは元の持ち主に返しといて」

うまく作れるか、 利用した三枚羽、 りかその逆に回るのはわかる。 単純にカーボン繊維の張り合わせで 鳥の羽に持ち合わせが無い。 ハガネは解析し複製した弓を思案中、 作ったとしてその物が見えているのもどうか。 どちらかを揃えて付けられていた。 取り込んだ矢は鳥の羽の裏表の反りを 矢に関 しては矢羽の素材 放てば時計回 \mathcal{O}

なくとも素材の加工に合成や接着は八ガネに勝てるものはい 小太刀や大太刀のようにうまくいく可能性も無いとは言えない。 確実であるし。 の思考でどこまで職人に迫れるものかは不明であるが、 既に意識は再構成と改良に向いている。 知識を継いだとはいえ素 今までの ない 少

木の椀と匙のほか磁器の湯飲みを二つ押し付けられている。 「ルフィナを伴い旅籠の厩へ向かうアルケを見送る村長。 手には

「よろしくお願いいたします」

さて、 と手の中の物を見やる。 木の椀はともかく磁器の湯飲みは

どうしたものかと。

ょうか。 かりですが、なんとしてでもご期待にこたえねばなりますまい」 「この二つだけでも街へ持ってゆけばいくらの値がつくことやら。 そう呟きながら差配を終えた顔役たちのところへ向かう。 村の資源や労力をつぎ込んだとていくらでも取り戻せましょう 鉄や塩どころでなく村に無い野菜類の種を得ることも可能でし 先渡しされた物だけでも金額で考えるのが馬鹿らしい物ば

* * *

る 各拠点を回って様子見、さらに道具か武器でも置いてくる予定であ にアスターと散歩に出ていた。 いろいろ作り出すハガネとアルケは アルケが村長を捕まえて案内役の交渉をしている時、 では私に何ができるのか?という問いの答えだ。 サマサは

為という側面が大きいか、 にも良く食べさせたらそのぶん運動させるのはよいことだし 犬を飼う以上必須の行動。 アスターは女のこだし。子犬の成長の為 縄張りの巡回というより排泄の

言い、 話しかけ仕事を押し付けた格好ではあるがそのことにやんわり礼を という感じで昨日は旅籠の廻りを一周した、 実際作業していた川原では男衆にも声をかけ労い。 当然、出会う村人に

たまわり大きめにすることを了承させたりした。 おかげでか、砦の地縄張りには参加したさい、 彼らの想定よりふ

と思っている。 今日も昨日と同じくの んびり散歩する風を装い、 作業を見守ろう

[`]なんともまぁ凄い代物だな」

昨日の続きをと堀に集まった村人の一人が言う。

だけ厚みがあるとそう簡単にぶち破れるものでは無いだろうな 女どもが寝とった小屋と同じ素材かのう、 | 見脆そうじゃがこれ

角にたっとる塔も同じ素材のようだが、 中に階段があるしそれぞ

れに窓もある」

「それによ、中に大盾に棍棒と槍も置いてあったそうだ」

「魔法、と言っておられたが」

これだけのものをあっという間に作れるのなら....

明されていたかと、皆さん軍歴もおありでしょうしそのあたりは」 っても仕方ないかもしれませんが。 かするのは時間がかかるそうです。 村人たちのざわめきに割ってはいるサマサ。 作るのは簡単な方らしいですよ、 男の方々はある程度は事情を説 それに、そうですね、あまり言 でも物を集めたり土地をどうに

村の者でやるのが筋だ」 おう、 皆まで言ってもらわなくてもわかるよ。 それに村のことは

「知らせてくれた上、手伝っ てもらうとは望外」

何もなければそれでよし、 何かあったときに元のままならたとえ

部族でも、 な

今までが結界に頼りすぎではあっ た のだからなぁ

うまじゃろ そうだの、夜半に入り込まれたら小集落のひとつふたつはあっと

男たちのうち50代の数人から。

こういったことは砦の補修で慣れているからな」

伊達に他の倍以上兵役や軍にいっとらんよ」

お前は他の5倍はいっとたろ、 嫁と子の世話誰がみたとおもっと

最後に一つ、 余計な突込みが入っているようだが。

そういってアスターと散歩に戻る。 では皆さん、 それを聞き、 きょうもよろしくお願 ただにっこり微笑み返すサマサ。

* * *

繰り返している。 無いだろうか。 い木を削りだし動物の腸と思われるものを張ってある割合簡単なも のごとくカバンに収まって取り込んだ物でいろいろ作成し実験を 大きさは立てて大人の腰あたりでどちらかと言うと小ぶりでは フィナを先頭に馬で北西に向かうアルケとハガネ。 おそらく樹海の中に持ち込むためなのだろうけれど。 今取り掛かっているのは弓。 ここの弓は1本の硬 ハガネは

なる棍棒や、構造をまねてうまくいったと思える太刀とは違うところ 加減も弓としては大事なところである。 るようだ。 『最後はいくつかサンプル作って試し射ちしてもらわないと確実と いかないよな。 アレなら左右揃えればい グリップは中央、 上部に比べ下部が太く硬めになっている。このあたりの いっそのことクロスボウでもつくっちゃおうか? 細くした皮ひもを巻きつけ樹脂を塗りこん いし ただ頑丈であればどうに で

方説 き集め検討 られるようになるはずなも魅力だ。 てないのもあったはず。 矢羽も張り合わせた薄板一枚挟むだけでい しなきゃややこしいかもしれないけど簡単な訓 しながら方向性を決める。 何より直接照準で精度はい 断片的に浮かび上がる記憶をか い かもしれ いはず。 練 で命中させ ないし、

えとか かもしれない。 や刺又とかもあるんだよな、 くらでもできるけど説明しなきゃならないものが多い 取り込んだままだから作り のは

ロスボウも一つだけ作っとくか、 使い方は アル ケさんにイ

ただの骨でしかないしね。 骨でもい うだし、 素材 の方はどうするか、 いけどゴブリンの骨が大量にあるし分解して再構成 コンポジットボウまねて骨とか張り合わせるかな? そういや腱もあるけど。 全部カーボンだと弾力ありすぎに なりそ したら

にしておくと取り回しは楽かもしれないし。 使えなくも無 ネは金属で。先端にフットバーも付けておく、バイポットみたい ようにいじくれるから削りだしで、それも圧縮神木。 は普通に作るなら板材の張り合わせが楽だろうけど、ここは好きな に中央付近まで前にだしておこうか、 ン繊維で巻いた上で合成、 ベー スは何 かの骨、それにほぐした筋を伸ばして貼り付けカーボ いし。ついでだからグリップはブルパップ方式みた 弦もそのままカーボン繊維とする。 終端を曲げた肘の内側ぐら 引き金 とバ

調整しなければならないだろうけど。 だろうしね。 アルケさんの腕力なら指差すようにして照準してもらえばい クロスボウはこのぐらいにしておこう。 実際に試して ける

らもコンポジットボウもつくっておこう。 素材の差で強度やバランスが同じとは限らないのが問題か。 の方は狂いがあるとうまく飛ばないことが予想されるし。 さて、 して調整が必要であるし。 本命は弓のほうだけれど。 そのまま複製してはみたもの どちらも一つずつ、 一応こち こちら 何度 Ó

弓用には これを1 考えたとおり張り合わせた薄板を矢羽とした。 以上に問題となる矢に関しては、 0本。 複製 したものと同じサイズで作成、 鏃をブレード状にしたものも10本。 クロスボウ用の矢は最初 ただ今のところ矢羽は 鏃は矢と同じ径の石 実験用 に用意

オールカーボンのリムもありかなと思いましたが製作物はコンポジ

見される。 西へ抜ける道に沿う形であり、その両端に倉庫がいくつかまとまっ た数があった。 中央付近に位置し、 屋があつまる。 北西の集落、 ミルストニス川とニティニーネ川に挟まれた平地の それ以外にもわき道の先にある家屋や倉庫なども散 そこは中央の集落ほどではな 集落の家屋は中央からの入り口である東から北 いがそこそこ の 数の

ティニーネ川の対岸、 かかり、 で下流の北東の集落まで続く。 らから見る限り穏やかな里山にしか見えない。 西へ抜けた道はニティニー 山越えの道の入り口であったところである。 わずかばかり森のに入っ 森にのまれる前であればそこに橋が ネ川にぶつかった後そのまま沿う形 たあたりでありこち 村の結界は二

が茂り這い回る。 いる。 も半月後には忙しくなる。 頭を垂れた稲穂が黄色く色いている。 る。この付近の道の側の耕作地はイモだろうか、 その境界沿いの道を4名の少年が天秤棒を槍のように担ぎ歩い 目は常に対岸に向けられており異常が無いか目を光らせてい 川沿いからは遠く見える村の水田は水が抜かれ、 収穫まであと1 畝一面に濃緑の葉 白 0 7

代で水筒 の前 しばらく歩 にヘロナマウトへ の水を飲み、 ĺ١ た後、 兵役に向かう予定 先頭の少年 見張りと交代する。 今年15歳、 の合図で小休止、 何事もなければ冬 2 名 交

5 ため早い方が ている点、両岸の草の繁みやこちら側 いことをどう伝えるか考えていた。 の教育係とし いだろう。 て随行している。 となると中間地点で予定している大休止の時が 少年たちが森にばかり気を取られ 別に試験というわけではない の耕作地にも注意せねばなら

る_、 番の兵役で十分だろう、 突き当たったところであり、 そのおかげで全員で休憩することも可能。 沿 しし の道の中間点はモー 今は軽く指摘し慣れさせればい 付近の者が数名常駐することにし タリス村の中央集落からまっすぐ北 こってり絞る 7

昼の哨戒は組まれている。 ゴブリ ン ^ の警戒は訓練のスパイス、 年少者の訓 練の 一環とし

* * *

た。 北西の倉庫群に着いたアルケとエルフィナが見たものはバカだっ

りる。 がら作業する者の内、 にアザらしき跡がついていること。 ないのは取れ にボロボロになっている。 顔役と村娘 規模が小さい分ぐるりと取り囲むのもすぐの様だ、 かけ の伝令隊のおかげかこちらでも掘削作業ははかどっ た袖やほつれた頭髪から。 男性陣の様子がおかしい。 作業が荒くて汚れたといった雰囲気では 決定的なのは数人の 具体的に いうと妙 しかしな 7

役とおぼ を抱えて吼えている。 倉庫群に囲まれ しき男と同年代 た広場の中央、 それを窘めるのか説教中なの の者が向かい合っている。 ひときわ大きな体格の男が娘さん かは 不明だが顔

入り口付近にいた年配の男に聞く。なにをやってる?」

だけですので。 これは巫女様、 作業も哨戒の方も今のところ問題は無いのですが」 お恥ずかしいところを。 騒いでおるのはあのバカ

いんだけど、っていうかあの娘さんなんか項垂れてるのがね」 「巫女とかやめて、 なんかむずがゆいし。 作業とか進んでるならい

はあ、 捕まえて吼えとるだけなのですが」 今朝こちらに来た娘を見初めて結婚をせまっておるという

なんか聞こえるけどずいぶん恥ずかしい思想の持ち主ね

にもいかず」 「たしか18 になるのですが、 アレなものですから兵役に出すわけ

逃げ出すだろうからてを出すまでも無い? の子実戦経験もないんじゃない?」 「ゴブリンの10や20ぐらい蹴散らしてやる? なんというか....、 俺をみるだけで あ

者にはかなわんのですが」 ありさまで。この集落ですと今兵役にいっとる者や軍に行っておる くことも不可能でして。訓練では敵なしなのもバカに拍車をかける 膂力だけはあるのですが、 なにぶんバカですので狩にも連れ で 行

力外なだけでなく邪魔者か。 それで作業してるおじさん達がボロボロなわけね。 しかも娘さん抱えるとは許しがたいね」 とりあえず戦

'八ガネ、棍』

る するりと右手に出現した石製モーニングスターを、 軽く投げつけ

バカの顔面にHit。

さすがバカ。 いてえ、なにしやがるっ」 さすがに娘さんから手を離し顔面を押さえる、 両手で顔覆うとは

刺又』

ಭ 一気に踏み込み首めがけ突きいれ、 そのまま倉庫の壁まで押し込

を出すとは許しがたい、 「バカは邪魔なだけ、 しかも弱いのに吼えるし。 これ以上邪魔するなら玉抜くよ?」 さらに娘さんに手

うるせぇ、 はなしやがれクソアマ」

力自慢の割りに押し返せもしないじゃない?」

「クソがっ、ちょうしにのんじゃねぇ。

唸れ筋肉っ! 《マッスル・ヒート》!」

ಭ 迸る漢汁 (汗) が陽光にきらめきえもいわれぬ香りがあたりを包 暑苦しい掛け声とともに膨れ上がる肉、 およそ150%増し。

刺又を両手で掴み、 さらに増量される肉と漢汁で柄を握り潰す。

多少はやるのか、 しかしむさすぎる。 娘さんはやれん」

『ハガネ、突棒』

はいさー、っていうか臭すぎるよね。 体臭技

 \Box なんか陽炎まで出てるわ、 臭すぎるため距離をとり、 どんだけ迸らせてるのよ』 突付きまくる。

アゴ下に突き入れ、そこに伸ばした手を払い、 バカの筋力は凄くはあるが、 その分スピードは著しく欠ける。 隙を見て膝にも打

撃を入れる。

とめとくか。 やたら頑丈みたいね、 邪魔だし』 めんどくさくなって来たから何処かに縫い

んじゃない?』 『刺又の大きいのでどう? 首と手足に打ち込んどけばうごけない

『倉庫に刺しても壊れそうだけどね、 なんかない?』

ば壊れないだろうし』 『んじゃU字ブロックでも出そうか。 縫いとめた後で強化しなおせ

瞬、後ろを振り返り周囲を確認。

人垣が出来てはいるが距離は十分。

アルケの真後ろに出現した物を見て驚くバカ、 ゴスッっと逆さにした3m角のU字ブロックを出現させる。 むろん周囲で見守

る村人も驚いているが。

替え、 その隙に突棒を横薙ぎ後頭部を引っ掛け引き込みつつ位置を入れ 再度突付きまくり壁際まで追い詰める。

『ハガネっ、縫い止めるっ!』

最後に首が絞まるギリギリまで打ち込む。 ね飛ばし大の字になるよう手首を縫い止め。 突棒を脇に放り投げ、大型化した刺又で右手、左手と絡みつけ跳 ついで両足も同様に。

げではがれることも無い。 U字ブロックはヒビが入りはしているが炭素繊維メッシュのおか

「案外丈夫に出来てるのね」

'臭いけど近寄って、ヒビうめとくし』

掘り、 選んでお だけでも強化 倉庫 らく付き添われて水浴び、バカが臭かったし た娘さんがたにお茶の準備などもしてもらう。 いなかんじで手に取り試したりしてもらうのがい 力 ×4に農機具倉庫×2を四角く囲むように一辺12 今3辺が終わるところのようだ。 の処理を年配の村人に任せ、 いてもらうことにする。 被害にあった娘さんは休憩 しておくこととし、その間に適当に作り出した武器を 北西の顔役と状況確認。 取りあえず出来ている部分 こういうのは休憩み なので他の手の空い いからね 0 mほどで おそ

突棒と刺又も たいのでハンターさんに集合しておいてもらうように頼んでおく。 棍棒、タワーシールド、バックラーをそれぞれ40。 した のは鉄製の槍とショートソードそれぞれ 10ずつ置いておく。 弓はあとで使えるかみてもらい 1 ó 他に石製の つい でに

も設置、 ある。 ていたようで直線的に掘られ、転圧もほどほどにかかっていたのも 堀と壁の設置はずいぶんなれたので手早く終了。 堀の5m角も壁の2m角もある意味規格品。 杭代 わ りのブロック設置が一番手間取った。 各コーナー うまく伝達で ㅎ

顔にアザ作られた人けっこういたせいだろう。 ので二三日そのままにしておこうかなどという声も聞こえてい 広場に戻るとバカは未だ説教中、 一晩でおとなしくなりそうに る

要だろう。 ているようだ。 武器選んでもらってる人たちは何人かで組み手のような格好で試 丁度バカ打ちのめすのが見本となったようだ。 突棒や刺又を手にしている人もいるので説明は不

Ļ 少し離れたところにハンター 外見でわかりやすい。 が数名、 ハーフとはいえワー キャ vy

トボウ。各人に手渡す。 「ハンターさん方に試してもらいたいのはこういうのなんだけど」 取り出したのは手本とした弓のコピー 品とゴブ骨コンポジッ

矢のほうなんだけどね、こういうのでも使える?」 と見せたのは矢羽のない矢。

手に取り具合を確かめるハンターさんたち。

「バランスはいいようですね、これだとたぶん大丈夫だと思います

度ではないかと」 「試し射ちすればよくわかりますがね、 おそらく飛距離が落ちる程

弓も素材が違うようだし試してみたいね」

弓と矢の出来具合の確認が先。 に抱えてもらっている。 矢筒なども必要なのかもしれないが、 板を貼りつけ的にする。 ちょうどいい壁が出来ているのでバカを縫いとめた反対側に木の 矢の方はまとめて100本ほど出して一人 今は

木の無垢のは普段使っているものに近いな」

が響いている。 かわるがわる試し射ちながら。 的に当るたびにカツカツという音

限られることになる。 この黒いのはなかなか強いがその分やっかいかもしれん 引く力を要求される分、 遠くまで飛ばせるだろうが使えるものが

な。 3 0 曲射は狙って打つものではないしそのときに修正すればい m直射で頭を狙って胸上のあたりか、 慣れればどうにかなる いだ

どの道数がそろはねば意味無いからな」

概ね合格はもらえているようだ。

ますよ」 その出来でよければ木と石さえあれば数はおいていくことが出来

少々セールストーク気味のアルケ。

ついでだからこれ試してみる?』

使い方はイメージでレクチャー済み。 ハガネが出したのはここに来るまでに作っておいたクロスボウ。

くまでめり込んでいる。 ガスンッ。と短い矢ではあるがひときわ大きな音を立て、 弦を引きボルトを置いて指差すように狙い、 軽く引き鉄を絞る。 筈の近

「これは引くのに力いるね」

てもらう?』 アルケさんに合わせて作ったつもりだからね、 もっと軽い の試し

無垢とコンポジットの中間ほどの張力にしたもの。 そして出て来たのは一般的なライフルタイプのクロスボウ。 木の

直射専用だけどね、ちょっと試してみる?」 そういって横にいたハンターの一人にボルトと共に手渡す。

「機械弓ですか」

だけで使ってみせる。 受け取ったハンターは一応知りはしていたようで、 軽く説明した

「私が見たのはもっと大型で攻城兵器でしたが」

ガスッっとアルケの時よりは控えめな音とともにボルトが的に食

い込んでいる。

力はありますし狙えれば弓より正確に当てられそうですね」 小型化されているようですが重いので少々扱いがたいですな、 威

に狙い フットバーを踏み、 やす 事も把握したようだ。 両手で弦を掴み背筋で引きながら、 その割 1)

台に置ければ娘さんでも使えないかな?」 狭間をちょっと工夫して置けるようにしたの出してみようか?』

巾になっている。 今回の狭間は横長、 試し射ちを一旦中断させて、 クロスボウを載せてねらいを付けられる程度の ドカっと横置きU字ブロックを設置。

はいはい、驚いてるのはわかるけどここの溝に載せて打ってみて

狭間の隙間をポンポンと叩いて促す。

は元の自分のものと予備に気に入ったものを1張りずつ配布、 まとめて1 エルフィナさんに試し射ちさせてみたりしてそれぞれ調整。 弓の方 この後、 張力を変更した物をいくつか試し、 000本どかっと渡し管理は任せる。 脇に付き添っていた 矢は

せる。 20丁にボルトを1000本。 さらに村娘さん用にクロスボウ (ピストルタイプ) 張力は弱め これも指導含めハンターさん方に任

第30話 (後書き)

ハンターさん方の普段の装備 (狩猟時)

ショートボウ×1、矢×8~15

ショートソード×1 (山刀)ショートスピア×1 (1 ·5 m程)

水筒、携帯食、綱、傷薬等

槍か剣はどちらか、3~5人で組んで小型の獣を取るか大型獣向け

の罠を設置し回収する。

村からせいぜい2~3kmで十分取れるぐらい獣が多い、 その分危

険種も多いので普段は深入りしない。

PDF小説ネット発足にあたって

ビ対応 行し、 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きイ 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 の縦書き小説 います。 ・ンター そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 存書籍 は 2 タ 0 いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n4870v/

Blood of Dragon

2011年10月6日10時42分発行